



取扱説明書

製品名称

I/O コンフィグレータ (NFC 版)

対応型式 / シリーズ / 品番

EX600-WEN※ (無線ベース)

EX600-WPN※ (無線ベース)

EX600-WSV※ (無線リモート)

EXW1-BMJA※ (小型無線ベース)

EXW1-BECAC (小型無線ベース)

EXW1-BENAC1 (小型無線ベース)

EXW1-BPNAC1 (小型無線ベース)

EXW1-RDXNE4※※ (小型無線リモート)

EXW1-RDYNE4※※ (小型無線リモート)

EXW1-RDM※E3※※ (小型無線リモート)

EXW1-RL※PA※C (小型無線リモート)

SMC株式会社

目次

1.	はじめに	3
1.1	使用許諾契約書	3
1.2	I/O コンフィグレータ (NFC 版) とは	4
1.3	SMC 無線システム (システム構成)	6
1.4	システム互換性	7
2.	I/O コンフィグレータ (NFC 版) の基本操作	13
2.1	I/O コンフィグレータ (NFC 版) のダウンロード	13
2.2	I/O コンフィグレータ (NFC 版) の起動	15
2.3	画面構成	15
2.4	モニタモードと管理者モード	17
2.5	設定やモニタリングの基本操作フロー	19
2.6	各種画面の説明	21
3.	無線ユニットシステムの設定	26
3.1	設定操作の流れ	26
3.2	機器情報の読み取りと把握	27
3.2.1	個体識別情報の入力 (タグ編集)	28
3.3	リモートユニット設定	29
3.4	ベースユニット設定	31
3.5	ペアリング	40
3.5.1	ペアリング手順	41
3.6	ダミーリモート	47
3.7	Software Control	48
3.8	設定ファイルの利用	50
3.9	初期値の読み出し	55
3.10	製品の初期化	56
4.	入出力モニタリング	58
4.1	入力	58
4.2	出力	59
4.3	入出力詳細情報	60
4.4	強制出力	61
4.4.1	強制出力の条件	61
5.	I/O コンフィグレータ (NFC 版) 画面詳細	66
5.1	情報タブ	66
5.1.1	モジュール情報エリア	66
5.1.2	システム構成エリア	67
5.1.3	詳細情報エリア	68
5.1.4	情報タブ詳細情報	68
5.2	入/出力モニタタブ	75
5.2.1	入力タブ	75
5.2.2	出力タブ	76
5.2.3	IO 詳細	77
5.2.4	情報タブ詳細情報	79
5.3	設定タブ	85
5.3.1	設定項目エリア	86
5.3.2	設定画面エリア	87

5.4	イベントタブ	110
5.5	無線タブ.....	112
5.6	パラメータタブ.....	113
6.	無線システムパラメータ一覧.....	114
7.	こんなときは.....	137
8.	仕様・技術情報・補足情報	139
8.1	用語集	139

1. はじめに

1.1 使用許諾契約書

SMC株式会社(以下「SMC」と記載します)は、お客様(法人または個人のいずれであるかを問いません)に、本使用許諾契約書(以下「本契約書」と記載します)に基づいて提供する本ソフトウェア「I/O Configurator」(以下「本ソフトウェア」と記載します)を使用する権利を下記条項に基づき許諾します。

本契約書の条項をご確認の上、ご同意いただける場合のみご使用ください。本契約書の条項に同意されない場合は、本ソフトウェアを使用しないでください。

第1条(許諾事項)

- 1 本ソフトウェアは、SMC無線システム製品(以下「対応製品」と記載します)用のソフトウェアであり、お客様は、この契約の内容に従うことを条件に、対応製品でのみ使用することができます。
- 2 お客様は、前項の目的で使用する場合に限り、本ソフトウェアをパソコン内に保存することができます。

第2条(禁止事項)

- 1 お客様は、第1条2項の場合を除き、本ソフトウェアを複製することはできません。
- 2 お客様は、第三者に本ソフトウェアの一部または全部について、有償及び無償を問わず、譲渡または貸与することはできません。
- 3 お客様は、本ソフトウェアに対して、変更を加えること、翻案及び翻訳を行うことまたはリバースエンジニアリング及びリバースコンパイルを行うことはできません。
- 4 お客様は、本ソフトウェアを対応製品以外では、使用することはできません。
- 5 本ソフトウェアは、SMCが提供する対応製品のファームウェア以外は使用することはできません。

第3条(注意事項)

- 1 対応製品をご使用になる場合は、必ず、当該商品の各カタログ及びマニュアルに記載されている「安全上のご注意」、「共通注意事項」、「製品個別注意事項」及び「製品の仕様」をお読みください。
- 2 SMCは、本ソフトウェアの内容または対応製品の仕様を予告なしに変更する場合があります。

第4条(免責)

本ソフトウェアの使用等により生じた、いかなる損害についてもSMCは一切責任を負いません。

第5条(契約の終了)

- 1 お客様が本契約に違反した場合及びSMCが契約終了が適切と判断した場合、通知なく一切の補償をせずに本契約は終了いたします。
- 2 本契約が終了した場合に、お客様は、本ソフトウェア及び複製物を破棄しなければなりません。

第6条(本ソフトウェアに関する権利)

本ソフトウェアの著作権その他一切の権利はSMCが有しており、著作権法等の法律及び国際条約により保護されています。

第7条(準拠法及び管轄裁判所)

- 1 本契約は、日本の法律に準拠します。
- 2 本契約に関して裁判上の紛争が生じたときは、東京地方裁判所又は東京簡易裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

1.2 I/O コンフィグレータ (NFC 版) とは

I/O コンフィグレータ (NFC 版) は、パソコンから NFC リーダ/ライタを経由して、無線システムの状態の確認や無線ユニットの各パラメータ設定などを行うことができます。状態の確認はログインすることなく (モニターモードで) 行えます。パラメータの設定などは、ログインして (管理者モードで) 行う必要があります。

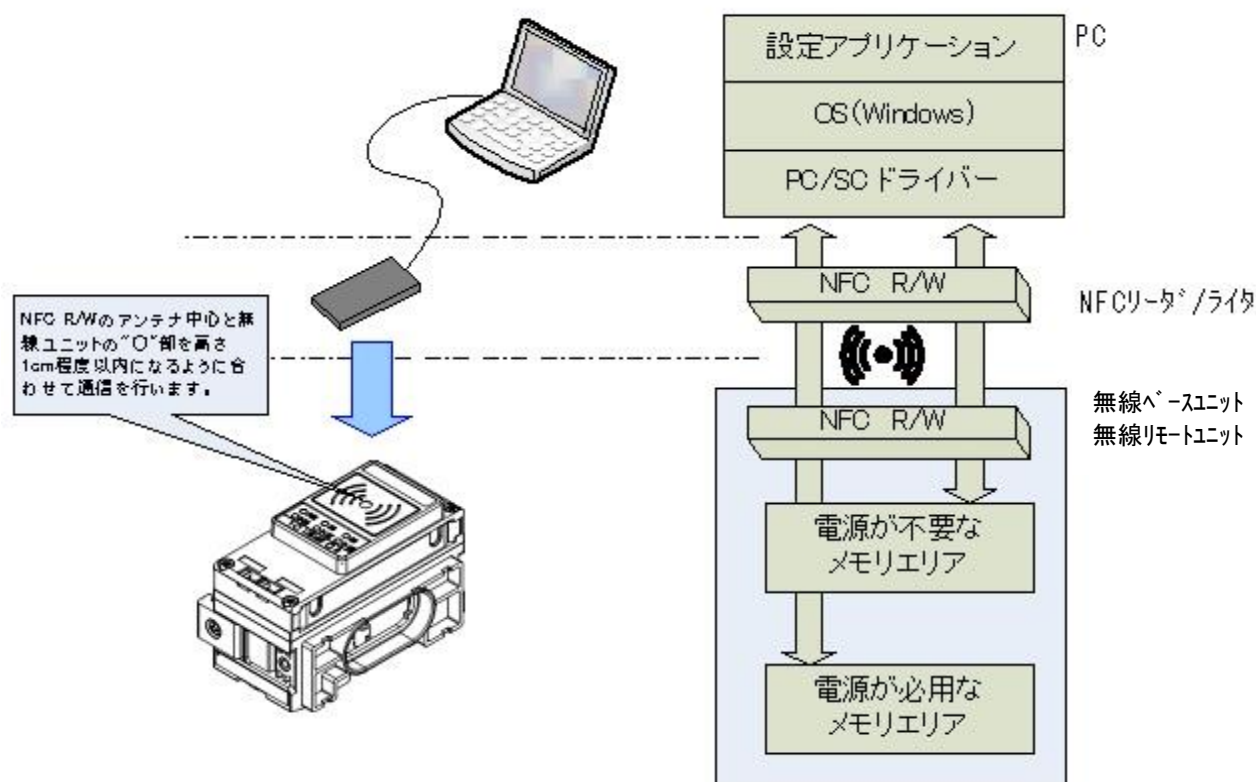
モニターモードでは以下のことを行えます。

- ・無線ユニットのパラメータ確認
- ・無線システムの内容や状態確認

管理者モードでは以下のことを行えます。

- ・無線ユニットのパラメータ設定
- ・無線システムの内容変更
- ・無線ベース/リモートユニットのペアリング

I/O コンフィグレータ (NFC 版) で設定可能なパラメータには、本体の電源を入れない状態で読書き可能なパラメータと、電源を投入している状態でのみ読書き可能なパラメータの 2 種類があります。



* 設定アプリケーションで認識可能な NFC リーダ/ライタは PC 一台あたり一台です。

PC 一台に対して複数台の NFC リーダ/ライタは接続しないでください。

I/O コンフィグレータ (NFC 版) と無線ユニットの接続イメージ

* : I/O コンフィグレータ (Web 版) について

本取扱説明書では、設定の概要説明のため I/O コンフィグレータ (NFC 版) を用いた場合について記述しております。

I/O コンフィグレータ (Web 版) では、「EX600-W シリーズの無線ベース」のパラメータ設定、および「EX600-W シリーズの I/O 機器」のパラメータ設定ができます。

* : Windows の設定言語を切替えることにより、日本語、英語、中国語にてご使用いただけます。

I/O コンフィグレータ（NFC 版）は、以下の製品に対応しています。

EX600-WEN※（無線ベース（マニホールドタイプ））

EX600-WPN※（無線ベース（マニホールドタイプ））

EXW1-BMJA※（小型無線ベース）

EXW1-BECAC（小型無線ベース）

EXW1-BENAC1（小型無線ベース）

EXW1-BPNAC1（小型無線ベース）

EX600-WSV※（無線リモート（マニホールドタイプ））

EXW1-RDXNE4※※（小型無線リモート）

EXW1-RDYNE4※※（小型無線リモート）

EXW1-RDM※E3※※（小型無線リモート）

EXW1-RL※PA※C(小型無線リモート)

無線システムをお使いいただくには、無線ベースとリモート間の「ペアリング」が必要です。I/O コンフィグレータ（NFC 版）を使用して、設定してください。

なお、ただちに本ソフトウェアを使用して無線システムの構築を行いたい場合は、「2.4 モニタモードと管理者モード」、「2.5 設定やモニタリングの基本操作フロー」、および「3 無線ユニットシステムの設定」を合わせてご確認ください。

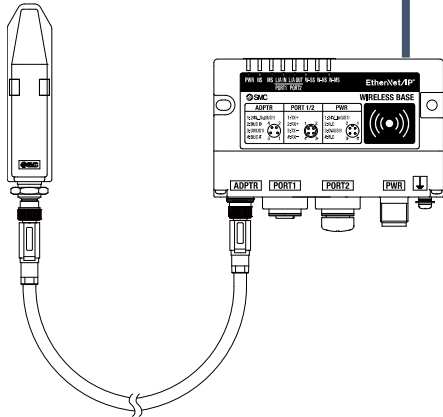
1.3 SMC 無線システム (システム構成)



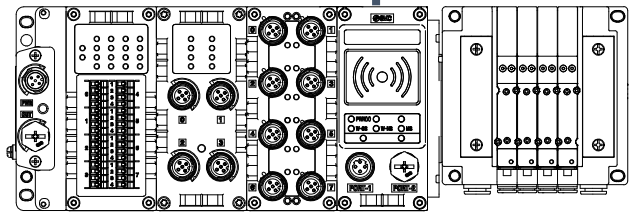
EX600-W シリーズ、EXW1 シリーズの
通信プロトコルに対応した PLC

<ベース>

EXW1 シリーズ



EX600-W シリーズ

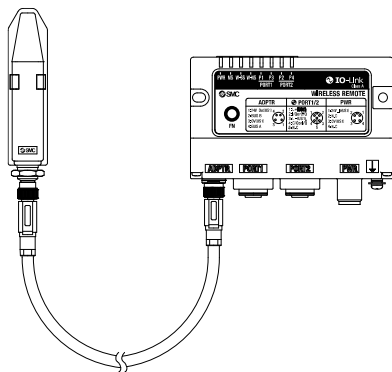


設定等は EX600-WEN/WPN※の取扱説明書
をご確認ください。

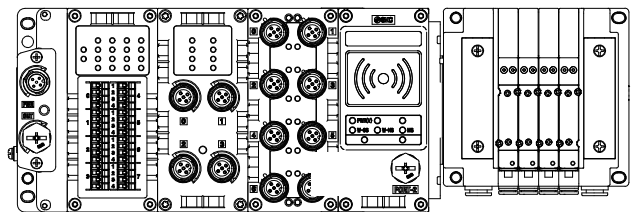


<リモート>

EXW1 シリーズ



EX600-W シリーズ



設定等は EX600-WSV※および接続されるデジ
タル/アナログユニットの取扱説明書をご確
認ください。

接続入出力機器

1.4 システム互換性

EX600-W シリーズとの混在使用について

EX600-W シリーズと混在して使用することも可能ですが、混在して使用した場合は、従来の無線システムの仕様に準拠した動作となります。下記機能が制限される場合がありますのでご注意ください。

- ・ 通信距離
製品の組合せにより通信距離が異なります。詳細は次ページ表を確認ください。
- ・ プロトコル
無線通信バージョンです。詳細はベースのシステム設定を確認ください。
- ・ 周波数チャンネル選択機能(F.C.S.)
使用する周波数チャンネルを選択する機能です。
※選択できる周波数チャンネル数は使用国で異なります。詳細は製品品番をご確認ください。

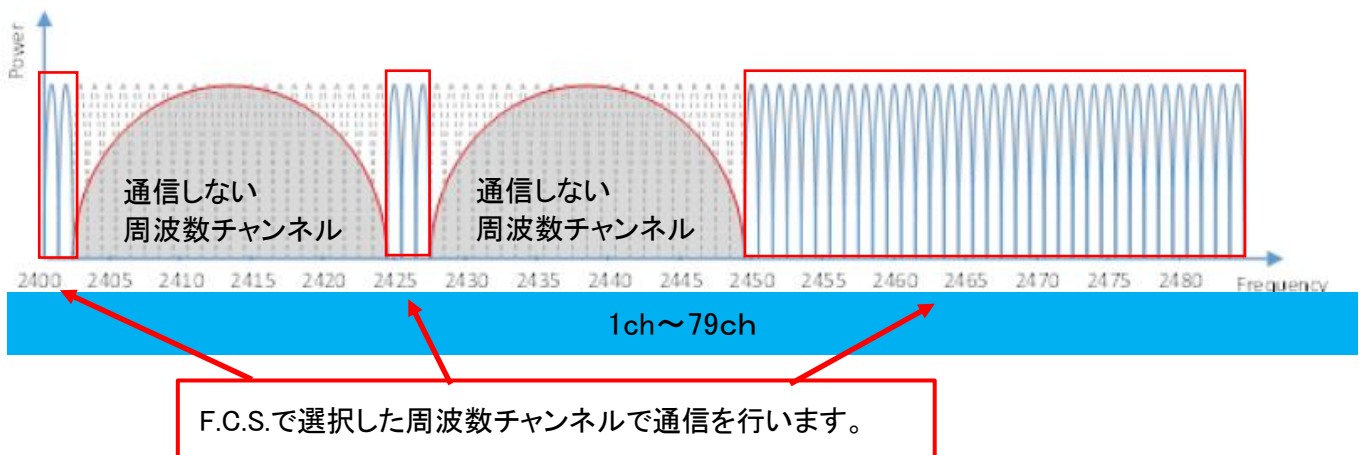
選択可能周波数チャンネル数	適用国
最低 5 個、最大 79 個のチャンネル	米国/カナダ/韓国/ブラジル/台湾/アルゼンチン/メキシコ 以外の電波法認証取得国
最低 15 個、最大 79 個のチャンネル	米国/カナダ/韓国/ブラジル/台湾/アルゼンチン/メキシコ を含む電波法認証取得国

※選択しなければデフォルト 79 個のチャンネルで通信を行います。

※最新の情報は、下記ウェブサイトのカatalogをご確認ください。

URL <https://www.smcworld.com>

下図は、2.4GHz 帯において、ワイヤレス LAN を 2ch 使っている場合を想定したイメージ図になり



- ・ 無線出力レベル設定機能
無線出力レベルを下げて SMC 無線機器が他の無線機器に与える影響を少なくする機能です。本設定はベースおよびペアリングされた無線アダプタ接続のリモートに反映されます。詳細はベースのシステム設定を確認ください。
- ・ 無線通信タイムアウト時間
無線通信(リトライを含む)が障害物等の要因で成功しなかった場合、設定された時間後に通信失敗と判断して無線通信を切断、再接続を行う機能(設定)です。

下記システム構成例を参照ください。詳細は各製品の取扱説明書を確認ください。

No.	システム構成例		通信距離	対応機能			
	無線ベース	無線リモート		プロトコル	周波数チャンネル選択機能(F.C.S.)	無線出力レベル設定機能	WEB機能
1	EXW1	EXW1+EXA1	最大 100m	V.2.0※1	○※2	○※2	○
	EXW1	EXW1	最大 100m	V.1.0/V.2.0※1	○※2	○※2	○
2	EXW1	EXW1+EX600	※3	V.1.0	×	×	○
3	EXW1	EX600	最大 10m	V.1.0	×	×	○
4	EX600	EXW1	最大 10m	V.1.0	×	×	○※4
5	EX600	EXW1+EX600	最大 10m	V.1.0	×	×	○※4
6※5	EX600	EX600	最大 10m	V.1.0	×	×	○

※1：詳細はベースのシステム設定を確認ください。

※2：プロトコル V.2.0 で使用可能です。

※3：EXW1 シリーズ間は最大 100m、EXW1 シリーズ-EX600-W シリーズ間は最大 10m になります。

※4：EXW1-R※の設定/モニタ機能に制限があります。

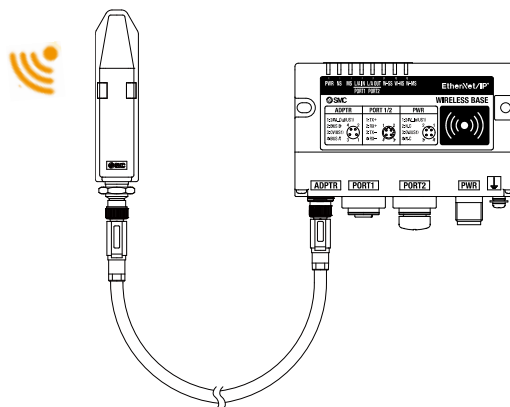
※5：EX600-W シリーズの構成になりますので、ご使用製品の取扱説明書を確認ください。

○システム構成例 1

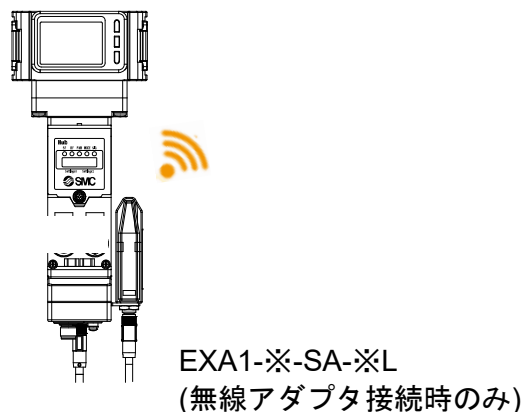
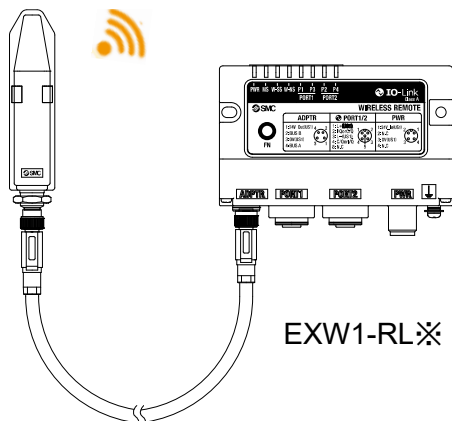
無線ベース : EXW1-BENAC1

無線リモート : EXW1 シリーズ、EXA1 シリーズ(EXW1-※-SA-※L のみ)

<無線ベース>



<無線リモート>

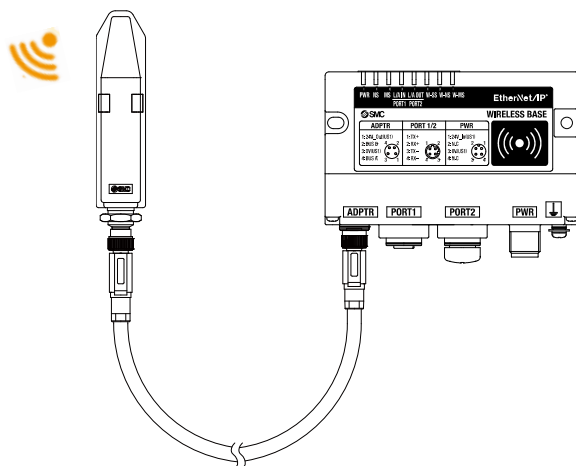


○システム構成例 2

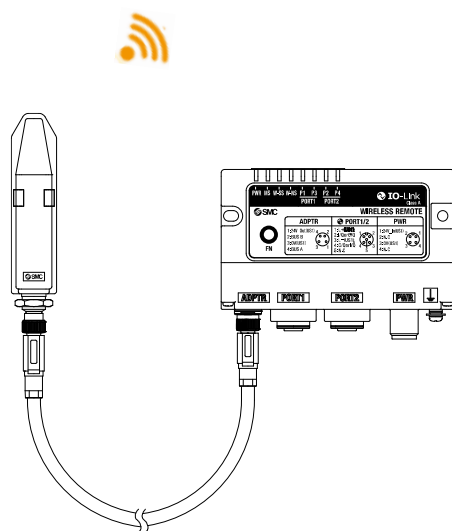
無線ベース : EXW1-BENAC1

無線リモート : EXW1 シリーズ、EX600-W シリーズ

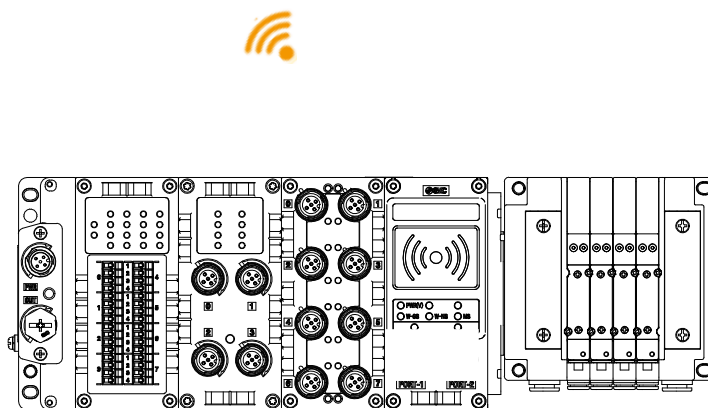
<無線ベース>



<無線リモート>



EXW1 シリーズ



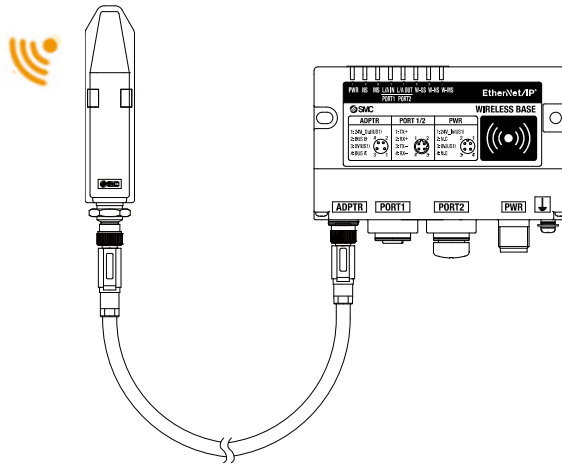
EX600-W シリーズ

○システム構成例 3

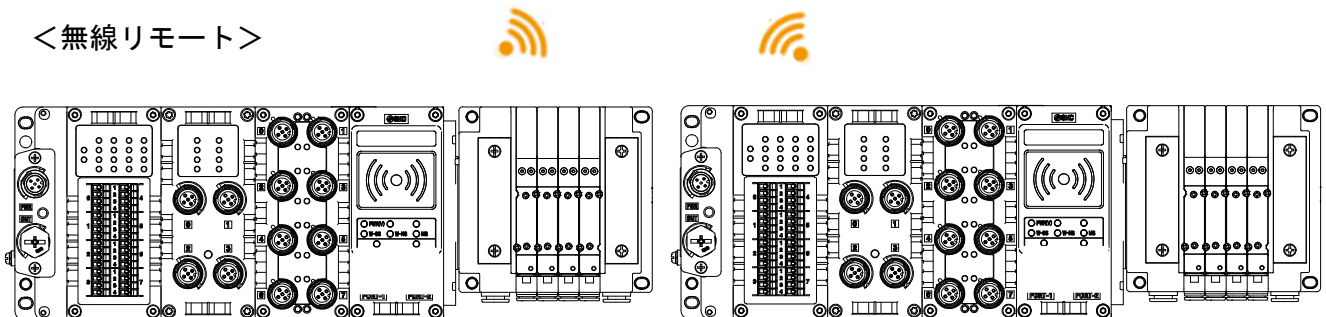
無線ベース : EXW1-BENAC1

無線リモート : EX600-W シリーズ

<無線ベース>



<無線リモート>



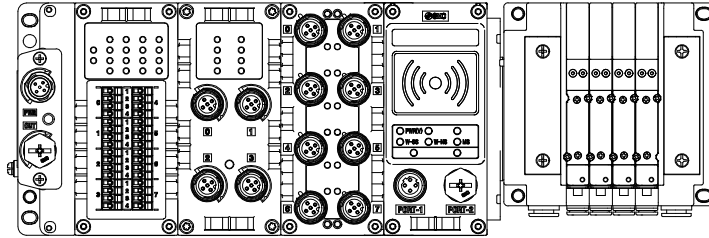
EX600-W シリーズ

○システム構成例 4

無線ベース : EX600-W シリーズ

無線リモート : EXW1 シリーズ

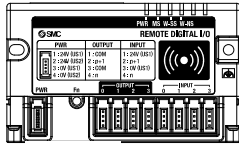
<無線ベース>



EX600-W シリーズ



<無線リモート>



EXW1-RD※



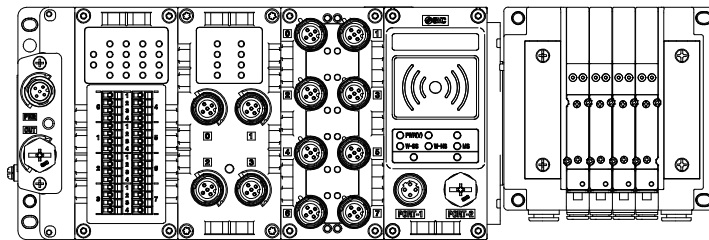
EXW1-RL※

○システム構成例 5

無線ベース : EX600-W シリーズ

無線リモート : EXW1 シリーズ、EX600-W シリーズ

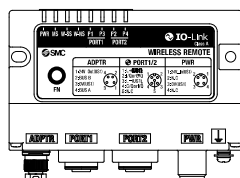
<無線ベース>



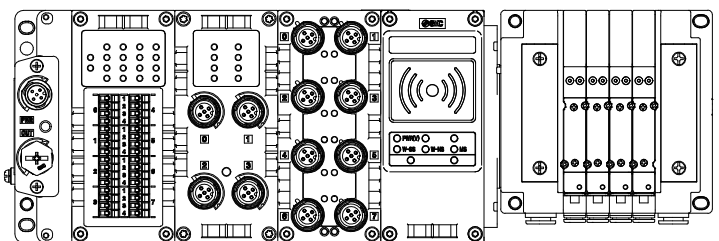
EX600-W シリーズ



<無線リモート>



EXW1 シリーズ



EX600-W シリーズ

○システム構成例 6

無線ベース : EX600-W シリーズ

無線リモート : EX600-W シリーズ

EX600-W シリーズのシステム構成はご使用製品の取扱説明書を参照ください。

2. I/O コンフィグレータ（NFC 版）の基本操作

2.1 I/O コンフィグレータ（NFC 版）のダウンロード

- (1) SMC Web トップページ(<https://www.smcworld.com>)より、「設計ツール/ダウンロード」を選択し、「取扱説明書/設定ファイル」をクリックします。



- (2) 「フィールドバス機器シリアル伝送システム」を選択します。



(3) 対象の製品が対応しているプロトコルを選択します。(例：「EtherNet/IP™対応」の場合)

The screenshot shows the SMC website interface. At the top, there is a navigation bar with 'HOME', '製品情報', '資料/ダウンロード', '海外情報', '会社情報', and 'サポート/イベント/お問合せ'. Below this is a search bar with '製品検索' and 'サイト内検索' options. The main content area is titled '取扱説明書' (Manual) and features a sidebar on the left with a tree view of product categories. The 'フィールドバス機器' (Fieldbus Device) category is expanded, and 'EtherNet/IP™対応' is selected and highlighted with a red box. The main content area displays the title '取扱説明書' and a search bar with '名称・シリーズ名検索' and 'アルファベット検索' options. Below the search bar, the title 'フィールドバス機器シリアル伝送システム' is visible, and the 'EtherNet/IP™対応' option is selected.

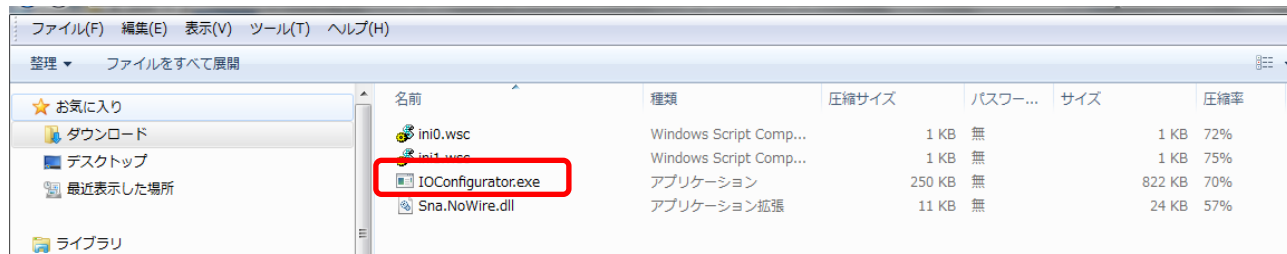
(4) フィールドバス機器シリアル伝送システムページ下部までスクロールし、I/O Configurator (NFC 版)の「設定ファイル」をクリックすると、ダウンロードが始まります。

I/O Configurator (NFC版) (SMC無線システム EX600-W/EXW1用) Ver. 2.9.0	EX600-WEN EX600-WPN EX600-WSV EXW1-BMJ EXW1-RD# 初期設定アプリケーション	設定ファイル	日本語、英語、中国語対応 EXW1-NT1対応
I/O Configurator (NFC版) (SMC無線システム EX600-WEN/PN/SV用) Ver. 2.60	EX600-WEN EX600-WPN EX600-WSV 初期設定アプリケーション	日本語 英語 設定ファイル	日本語、英語、中国語対応
I/O Configurator (NFC版) (SMC無線システム EX600-WEN/PN/SV用) Ver. 2.20	EX600-WEN EX600-WPN EX600-WSV 初期設定アプリケーション	日本語 英語 設定ファイル	日本語、英語、中国語対応
I/O Configurator (NFC版) (SMC無線システム EX600-WEN/SV用) Ver. 2.00	EX600-WEN EX600-WSV 初期設定アプリケーション	日本語 英語 設定ファイル	EX600-WPN非対応 日本語、英語、中国語対応

最新バージョンの I/O Configurator (NFC 版)に加えて、旧バージョンの I/O Configurator (NFC 版)もダウンロードできます。ご使用の機器に合わせたバージョンをダウンロードしてください。最新バージョンをご使用いただくと、旧バージョンで対応している機種を含めて、すべての機種について設定を行えます。

2.2 I/O コンフィグレータ（NFC 版）の起動

- (1) ダウンロードされた zip ファイルを解凍します。
- (2) 「IOConfigurator.exe」をダブルクリックします。I/O コンフィグレータ（NFC 版）が起動します。




「IOConfigurator.exe」をデスクトップなどに移動したい場合は、フォルダごと移動するか、「IOConfigurator.exe」のショートカットを作成して、ショートカットから呼び出して使用してください。

2.3 画面構成

I/O コンフィグレータ（NFC 版）を起動すると、次の画面が表示されます。



・基本機能項目

No.	項目	内容
1	バージョン情報 ボタン	<p>[?] マークをクリックすると、I/O コンフィグレータ (NFC 版) のソフトウェアバージョンが表示されます。</p> 
2	リフレッシュボタン	<p>リフレッシュボタンは、画面に表示されている無線ベース/リモートモジュールの情報を更新するために使用します。画面に表示されている情報は自動更新されないため、タブの移動後やパラメータ設定後などに必ずリフレッシュボタンを押してください。</p> <p>リフレッシュボタンはすべての画面に表示されます。</p>
3	電源ステータス	<p>無線ユニットの電源の状態が表示されます。無線ベース/リモートの電源が通電状態の場合は「電源オン」、非通電の場合は「電源オフ」が表示されます。</p>
4	R/W 接続状態 ステータス	<p>パソコンと NFC リーダ/ライタ間の接続状態が表示されます。</p> <p>R/W 検出 : 無線ユニットとの NFC 通信が可能な状態です。 R/W 未検出 : NFC リーダ/ライタの認識や USB 接続されていない状態です。 または No Driver</p>
5	動作モード切替 ボタン	<p>I/O コンフィグレータ (NFC 版) の右下にあるラジオボタンで「モニタモード」と「管理者モード」を切り替えることができます。</p>

2.4 モニタモードと管理者モード

I/O コンフィグレータ (NFC 版) を使用するユーザには、使用できる機能に応じて、「モニタモード」と「管理者モード」が用意されています。

- ・ モニタモード

無線ユニットの情報や I/O マップ、パラメータ設定の読み込みが可能なモードです。パラメータ設定の保存や強制出力機能は使用できません。

- ・ 管理者モード

すべての機能が使用できるモードです。

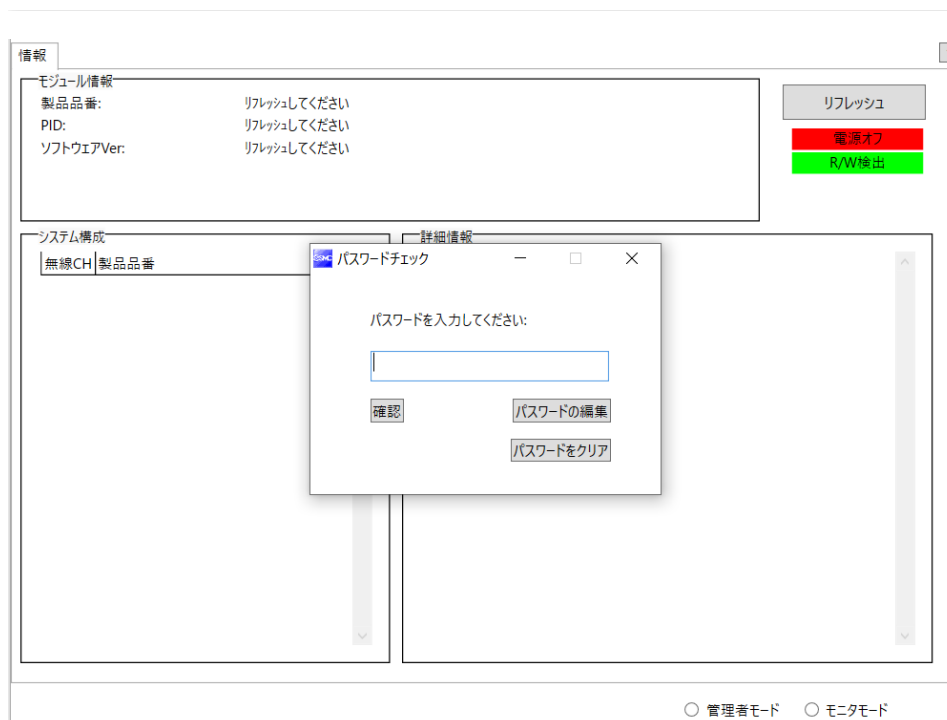
管理者モードへのログイン方法

管理者モードへログインするためにはパスワードを入力する必要があります。

パスワードは任意のパスワードが設定可能です。不正利用を抑止するため、初めてご利用の際に、製品出荷時のパスワードを変更することをお勧めします。

- (1) [管理者モード] ラジオボタンを選択します。
- (2) NFC リーダ/ライタを無線ユニットの NFC アンテナ近接エリアにかざした状態でパスワードを入力して、[確認] ボタンをクリックします。

製品出荷時のパスワード : admin



[パスワードの編集] をクリックするとパスワードを変更する画面が表示されます。任意のパスワードに変更してください。

NFC リーダ/ライタを無線ユニットにかざした際、Windows OS のバージョンによっては、タスクバーに「スマートカードは認識できません」「デバイスドライバソフトウェアは正しくインストールされませんでした。」などのエラーメッセージが表示されることがありますが、リーダー/ライタの動作に支障はありませんので、そのままご利用いただけます。

詳しくは、Microsoft 社 Web ページ (<https://support.microsoft.com/ku/976832/>) をご覧ください。

・エラー発生時の対処方法

読み込みエラー：NFC リーダ/ライターがパソコンに接続されているか確認ください。

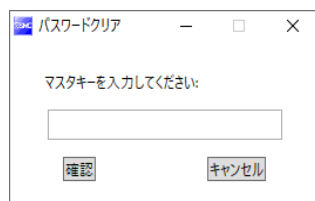
NFC アンテナ近接エリアに NFC リーダ/ライターをかざしているか確認ください。

フリーズ時：パソコンから NFC リーダ/ライターを取り外して、再接続してください。

上記の処置をした後、[リフレッシュ] ボタンをクリックしてください。

パスワードを忘れた場合は [パスワードをクリア] から設定したパスワードを削除することが可能です。ボタンをクリックするとパスワードクリア画面が立ち上がります。パスワード入力欄にマスタキーを入力するとパスワードがクリア (パスワード無しに設定) され、パスワードを入力しなくても管理者モードに入れるようになります。

マスタキー：ADMIN



パスワードクリア

マスタキーを入力してください

確認 キャンセル

2.5 設定やモニタリングの基本操作フロー

各種設定を行う際は、管理者モードに切り替えて操作を行います。管理者モードは、無操作のまま 300 秒が経過するとタイムアウトし、モニタモードに戻ります。

管理者モード中は、「管理者モード」表示の右側に、タイムアウトまでの秒数がカウントダウン表示されま

ず。

管理者モード: 300[秒] モニタモード



- ・ NFC の通信は、常時アクセスしない方式のため、パラメータを読み込む際は、必ず「リフレッシュ」ボタンをクリックして、画面の表示内容を更新してください。
- ・ 変更したパラメータは、本体の電源再投入後、または「リセット」ボタンを押すことにより有効となります。また、パラメータ設定後に確定の時間が必要なため、2 秒間ユニットの電源を切らないでください。
- ・ 無線ベースユニットと無線リモートユニットでは設定内容が異なります。パラメータを設定するユニットを変更した場合は、必ず「リフレッシュ」ボタンをクリックして、表示されているパラメータを更新してください。

○モニタリング時の操作フロー

モニタリング時操作フローの概略を下記に示します（モニタモードで操作）。

① 確認したいタブを選択



② 確認したい設定項目を表示させる



③ [リフレッシュ] をクリック



④ 現在の設定内容や数値を確認

○設定変更時の操作フロー

設定変更時操作フローの概略を下記に示します（管理者モードで操作）。

① 確認したいタブを選択



② 確認したい設定項目を表示させる



③ [リフレッシュ] をクリック



④ 現在の設定内容や数値を確認



⑤ 必要な項目や数値の設定を変更



⑥ [保存] をクリック



⑦ [リセット] をクリック（設定内容が本体に反映されます）



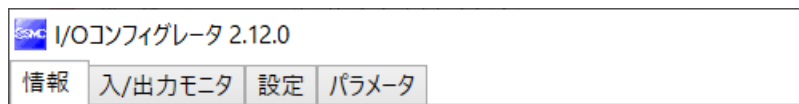
⑧ [リフレッシュ] をクリック



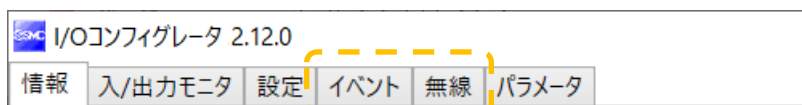
⑨ 更新された設定内容や数値で正しく設定が反映されているか確認

2.6 各種画面の説明

I/O コンフィグレータ（NFC 版）は、[情報]、[入/出力モニタ] [設定] および [パラメータ] の4つのタブで構成されています。



EXW1 シリーズの無線ベースユニットでは、[設定] タブの右側に [イベント] および [無線] タブが表示されます。



ここでは、それぞれのタブの概要を説明します。詳細については、「5. I/O コンフィグレータ（NFC 版）画面詳細」を参照してください。

●情報タブ

情報タブでは、無線ユニットの情報、システム構成を確認できます。



情報 | 入/出力モニタ | 設定

モジュール情報			
製品品番:	EX600-WEN#	MACアドレス:	00:23:C6:26:0B:4F
PID:	0EE1401E	IPアドレス:	0.0.0.0
ソフトウェアVer:	9.0.2	サブネットマスク:	0.0.0.0
モジュール入/出力占有点数:	16 / 16 byte	システム入/出力占有点数:	160 / 160 byte
ワライ/登録リモート数:	0 / 0 台		

リフレッシュ
電源オン
R/W検出

システム構成	
無線CH	製品品番
--	EX600-WEN#

詳細情報	
製品品番:	EX600-WEN#
PID:	0EE1401E
タグ:	EX600-WEN#
診断情報:	00 00 00 00 OK
通信切断時出力動作:	CLEAR
入/出力オフセット:	10 / 0
入/出力サイズ:	16 / 16 byte
-- 有効:	0 / 4 byte
-- 空き:	16 / 12 byte
入力データ:	--
出力データ:	00 00 00 00
平均RSSI:	-72 dBm

タグの編集

●入/出力モニタタブ

無線ユニットの入/出力データをモニタすることができます。

状態表示領域の上にあるタブをクリックすることで、表示を入力側と出力側で切り替えることができます。CC-Linkに対応したベースユニット（EXW1-BMJA※）では、BitエリアとWordエリアで表示を切り替えることが可能です。

画面内に表示される任意のアドレス行をダブルクリックすることで、診断情報や入/出力の詳細を確認できます。

情報 入/出力モニタ 設定

リフレッシュ

電源オン

R/W検出

入力 出力

アドレス	無線CH	PID	データ (byte)	データ (bit)	詳細
0	--	0EE1401E	0x00	00000000	システム診断データ
1	--	0EE1401E	0x00	00000000	システム診断データ
2	--	0EE1401E	0x00	00000000	システム診断データ
3	--	0EE1401E	0x00	00000000	システム診断データ
4	--	0EE1401E	0x00	00000000	リモート接続情報
5	--	0EE1401E	0x00	00000000	リモート接続情報
6	--	0EE1401E	0x00	00000000	リモート診断情報
7	--	0EE1401E	0x00	00000000	リモート診断情報
8	--	0EE1401E	0x00	00000000	リモート登録情報
9	--	0EE1401E	0x00	00000000	リモート登録情報
10	--	0EE1401E	0x00	00000000	バス入力
11	--	0EE1401E	0x00	00000000	バス入力
12	--	0EE1401E	0x00	00000000	バス入力
13	--	0EE1401E	0x00	00000000	バス入力
14	--	0EE1401E	0x00	00000000	バス入力
15	--	0EE1401E	0x00	00000000	バス入力
16	--	0EE1401E	0x00	00000000	バス入力
17	--	0EE1401E	0x00	00000000	バス入力

情報 入/出力モニタ 設定 イベント 無線

リフレッシュ

電源オン

R/W検出

Rx Ry RWr RWw

アドレス	無線CH	PID	データ(byte)	データ(bit)	詳細
------	------	-----	-----------	----------	----

●設定タブ

設定タブでは、接続中の無線ユニットの設定を変更することができます。

「設定項目」欄に表示されるラジオボタンを選択することで、設定を行うエリアの表示が切り替わります。

情報 | 入/出力モニタ | 設定

設定項目:

ベースユニット設定 Ethernet設定 インポート設定 リセット

リモートユニット登録 システム設定 エクスポート設定

リフレッシュ

電源オン

R/W検出

ベースユニット設定

通信切断時出力動作: CLEAR

モジュール入力占有点数: 128 点/16 byte

モジュール出力占有点数: 128 点/16 byte

内パルプ「マネー」出力占有点数: 32 点/4 byte

無線通信動作: Active

保存

初期値読み出し

製品初期化

I/Oユニット割付方向:

モード1 モード2

情報 | 入/出力モニタ | 設定

設定項目:

ベースユニット設定 Ethernet設定 インポート設定 リセット

リモートユニット登録 システム設定 エクスポート設定

リフレッシュ

電源オン

R/W検出

Ethernet設定

MACアドレス: 00:23:C6:26:0B:4F

IPアドレス設定モード: マニュアル

IPアドレス: 192 . 168 . 0 . 1

保存

初期値読み出し

Port-1 Port-2

Auto MDI/MDI-X: オート オート

Duplex: Full Duplex Full Duplex

通信速度: オート オート

● イベントタブ

EXW1 シリーズの無線ベースユニットで表示され、無線ベースおよび無線リモートのイベント情報（エラーなど）を確認できます。

情報 | 入/出力モニタ | 設定 | イベント | 無線

BASE CLEAR EXPORT リフレッシュ

電源オン
R/W検出

タグ: EXW1-BMJABE

Timestamp	Unit	Channel	Error Code
-----------	------	---------	------------

● 無線タブ

EXW1 シリーズの無線ベースユニットで表示され、無線のログデータを確認できます。

情報 | 入/出力モニタ | 設定 | イベント | 無線

リフレッシュ

電源オン
R/W検出

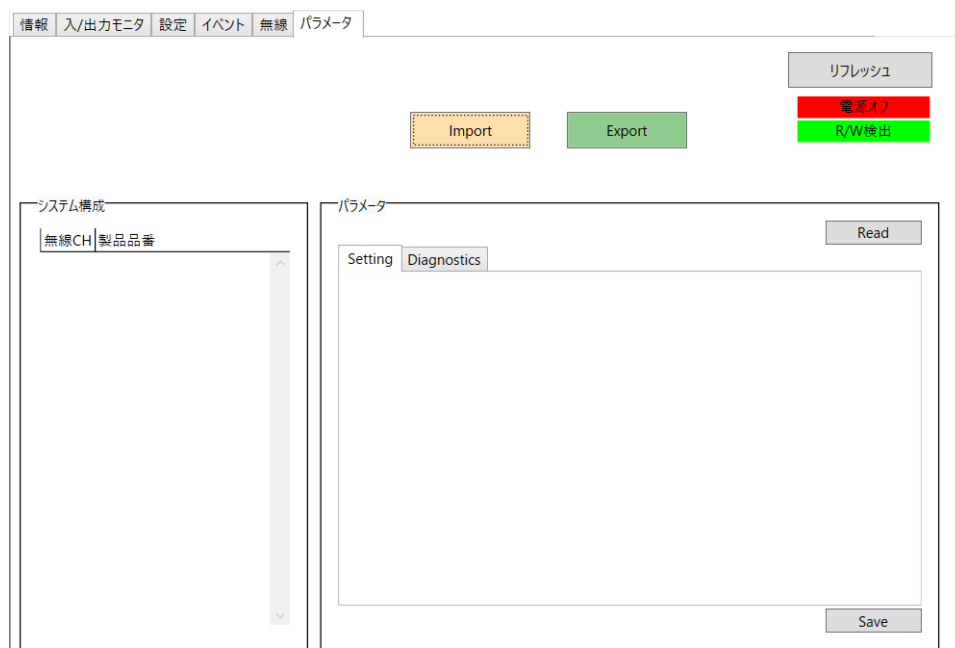
Recording EXPORT CLEAR

入力 出力

WCh	Send Packets	RSSI	PER	Comm Error
-----	--------------	------	-----	------------

●パラメータタブ

無線ベースおよび無線リモートのパラメータ設定を確認／変更できます。



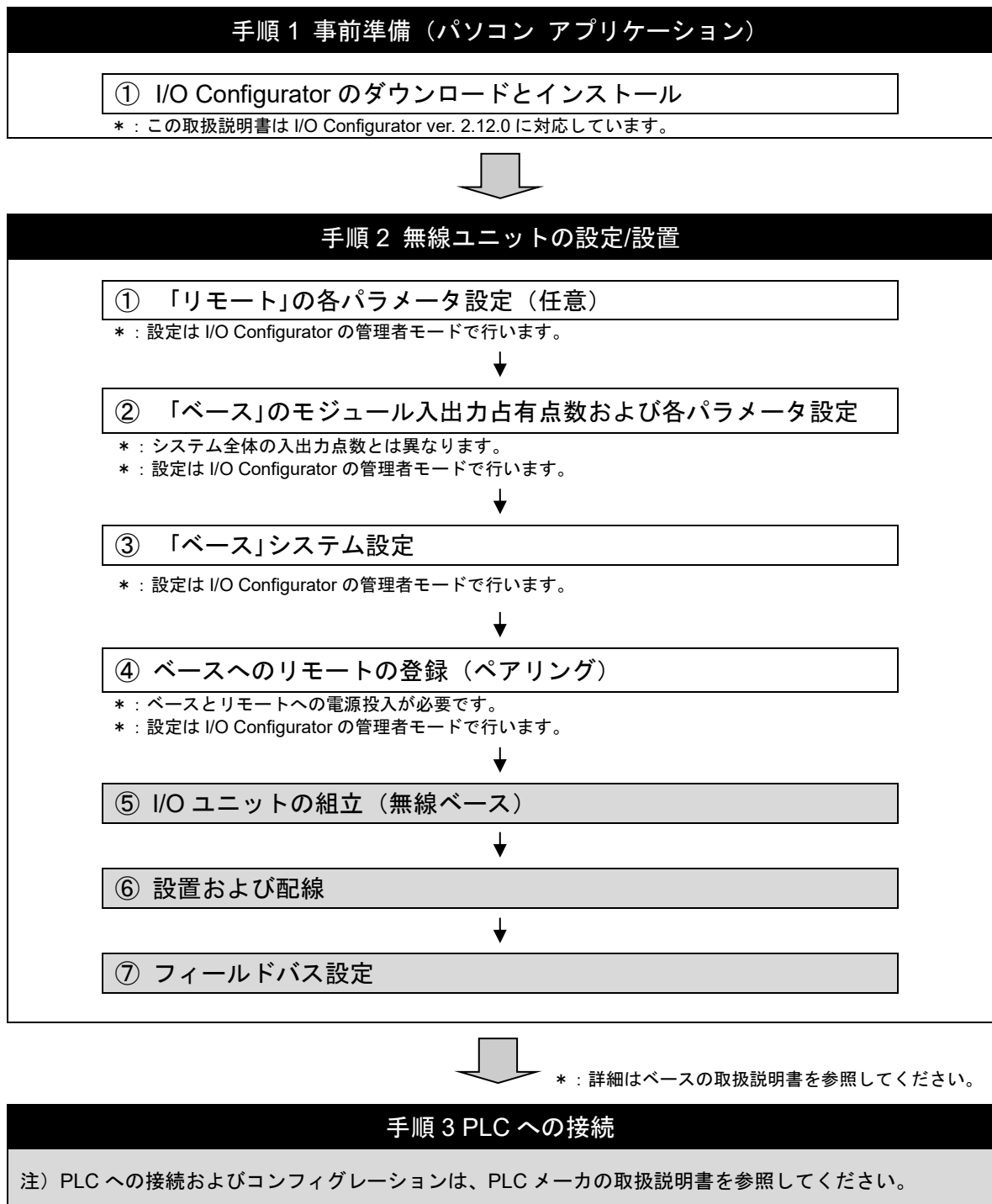
3. 無線ユニットシステムの設定

SMC 無線システム（ベースおよびリモート）が上位コントローラから制御可能になるまでのフローは下記になります。グレー網掛けの項目は、I/O Configurator を使用しません。それぞれ該当製品の取扱説明書を参照してください。

3.1 設定操作の流れ

無線ユニットシステムを使用するために、I/O Configurator（NFC 版）と NFC リーダ/ライタを使用して、無線ユニット（ベースおよびリモート）を設定してください。

以下の設定は、I/O Configurator（NFC 版）の管理者モードで行います。



3.2 機器情報の読み取りと把握

I/O Configurator を起動し、情報タブで NFC 読取を行うと、それぞれのユニットやシステムの情報を把握できます。表示されるパラメータは、ユニットにより異なります。

The screenshot displays the I/O Configurator interface with three main sections highlighted by dashed yellow boxes and labels:

- モジュール情報 (Module Information):** Located at the top, it contains fields for product number (EX600-WEN#), PID (0EE1401E), software version (9.0.2), MAC address (00:23:C6:26:0B:4F), IP address (0.0.0.0), subnet mask (0.0.0.0), and occupancy statistics (16/16 bytes for module, 160/160 bytes for system).
- システム構成 (System Configuration):** Located on the left, it shows a list of wireless channels (無線CH) and their corresponding product numbers (製品品番), including EX600-WEN#, EX600-WSV#, and EX600-WSVDY##-X41.
- 詳細情報 (Detailed Information):** Located on the right, it provides further details such as tag (EX600-WEN#), diagnosis information (00 00 00 00 OK), communication cut-off action (CLEAR), and various occupancy and power statistics.

Additional UI elements include a 'リフレッシュ' (Refresh) button, '電源オン' (Power On) and 'R/W検出' (R/W Detection) buttons, and a 'タグの編集' (Edit Tag) button.

●モジュール情報エリア

モジュール情報には無線ユニットの情報が表示されます。

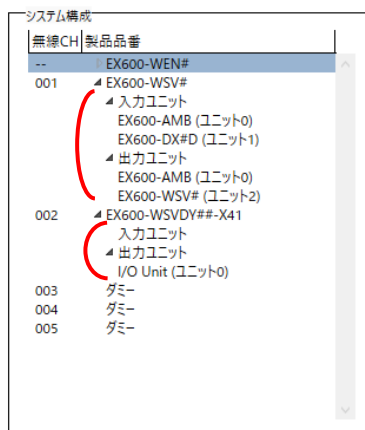
モジュール情報			
製品品番:	EX600-WEN#	MACアドレス:	00:23:C6:26:0B:4F
PID:	0EE1401E	IPアドレス:	0.0.0.0
ソフトウェアVer:	9.0.2	サブネットマスク:	0.0.0.0
モジュール入/出力占有点数:		システム入/出力占有点数:	
16 / 16 byte		160 / 160 byte	
オンライン/登録リモート数:	2 / 5 台		

表示項目によっては、無線ユニットの電源がオフの状態でも状態を確認できる項目があります。

● システム構成エリア

システム構成には無線ベース/リモートモジュールの構成情報が表示されます。エラーが発生している場合は、ユニット名の右に「エラー」と表示されます。

表示されている各無線ユニット（入力ユニット/出力ユニット）名称をダブルクリック、または左に表示される“▶”アイコンをクリックすることで、接続されている入出力ユニットの詳細を確認することができます。



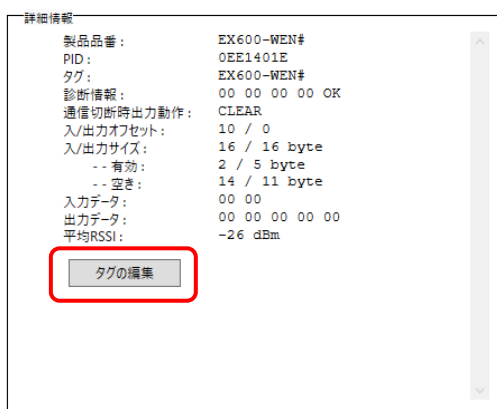
● 詳細情報エリア

詳細情報エリアには、システム構成エリアにて選択したユニットの詳細情報が表示されます。

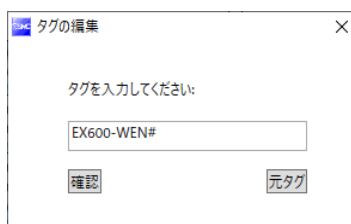
3.2.1 個体識別情報の入力（タグ編集）

編集タグは無線ユニットのみ設定が可能で、15文字までの半角英数字が入力できます。

(1) 画面下方の [タグの編集] をクリックします。



(2) 新しいタグ名を入力して [確認] をクリックします。



編集中に「元タグ」をクリックすれば編集前の状態に戻すことができます。

3.3 リモートユニット設定

必要に応じて、リモートユニットの各種パラメータを設定します。

- ・ 入出力点数および各パラメータ設定



・ 設定はリモートの電源投入時（またはリセット時）に反映されます。

● 入出力点数および各パラメータ設定

モジュールの入出力占有点数や各種パラメータを [リモートユニット設定] で設定します。設定対象のユニットによって、設定できるパラメータは異なります（詳細は「5.3 設定タブ」を参照してください）。

リモートユニット設定画面（EX600-WSV の例）

情報 | 入/出力モジュール | 設定

設定項目:

- リモートユニット設定
- バリング設定

インポート設定 リセット リフレッシュ

エクスポート設定 電源オン R/W検出

リモートユニット設定

通信切断時出力動作: CLEAR

モジュール入力占有点数: 128 点/16 byte

モジュール出力占有点数: 128 点/16 byte

内パルス監視モード出力占有点数: 32 点/4 byte

無線通信動作: Active

アナログ入力更新時間: 1s

I/Oユニット割付方向:

0 1 2 SI 2 1 0 SI

→ ←

モード1 モード2

保存 初期値読み出し 製品初期化

リモートユニット設定項目（小型無線ユニット EXW1-RDXNE4※※/ EXW1-RDYNE4※※/ EXW1-RDM※E3※※の例）

パラメータ名	設定値	初期値
モジュール入力占有点数*	16点(16bit)	16点(16bit)
モジュール出力占有点数*	16点(16bit)	16点(16bit)
無線通信動作	Active / Idle	Active
制御/入力用 (US1) 電源電圧低下検出	Enable / Disable	Enable
出力用 (US2) 電源電圧低下検出	Enable / Disable	Disable
上位通信切断時出力動作	Clear / Hold	Clear
無線通信切断時出力動作	Clear / Hold	EXW1-RDYNE4※ : Clear EXW1-RDM※E3※ : Hold

* EXW1-RDM※の入力/出力占有点数は 16 点(16bit) 固定ですが、下位 8bit のみ使用可能です。

リモートユニット設定項目（マニホールドタイプ無線ユニット EX600-WSV※の例）

パラメータ名	設定値	初期値
通信切断時出力動作	Clear / Hold / Software Control	Clear
モジュール入力占有点数	0~128点(0~16byte)	128点/16byte
モジュール出力占有点数	0~128点(0~16byte)	128点/16byte
内バルブマニホールド出力占有点数	0~32点(0~4 byte)	32点/4byte
無線通信動作	Active / Idle	Active
アナログ入力更新時間	0.1/0.2/0.5/1/2/5/10/30/60 s	1s
I/O ユニット割付方向	モード1 / モード2	モード1

3.4 ベースユニット設定

ベースユニットの設定を行います。PLC との通信環境設定やユニット設定などを行ってください。

- ・ PLC との通信環境設定（[Ethernet 設定]、[CC-Link 設定]）
- ・ 入出力点数及び各パラメータ設定
- ・ システム設定
- ・ OPC UA 設定

● Ethernet 設定

EtherNet/IP に対応したベースユニットを使用する場合に設定します。

設定できる各種パラメータは下記のとおりです（詳細は「5.3 設定タブ」を参照してください）。

Ethernet 設定項目（小型無線ベース EXW1-BENCA1 の例）

パラメータ名	設定値	初期値
MAC アドレス	-	-
IP アドレス設定モード	マニュアル / DHCP / Remote Control	マニュアル
IP アドレス	値を入力	192.168.0.1
サブネットマスク	値を入力	255.255.255.0
デフォルト ゲートウェイ	値を入力	0.0.0.0
Auto MDI/MDI-X	オート / MDIX / MDI	オート
Duplex	Full Duplex(全二重) / Half Duplex(半二重)	Full Duplex
通信速度	オート / 100 Mbps / 10 Mbps	オート

Ethernet 設定項目（マニホールドタイプ無線ユニット EX600-WEN の例）

パラメータ名	設定値	初期値
MAC アドレス	-	-
IP アドレス設定モード	マニュアル / DHCP / Remote Control	マニュアル
IP アドレス	値を入力	192.168.0.1
Auto MDI/MDI-X	オート / MDIX / MDI	オート
Duplex	Full Duplex(全二重) / Half Duplex(半二重)	Full Duplex
通信速度	オート / 100 Mbps / 10 Mbps	オート



・「Ethernet 設定」は、EtherNet/IP に対応したベースユニットのみ表示されます。

●CC-Link 設定

CC-Link に対応したベースユニットを使用する場合に設定します。

設定できる各種パラメータは下記のとおりです（詳細は「5.3 設定タブ」を参照してください）。

CC-Link 設定項目（小型無線ユニット EXW1-BMJA※の例）

パラメータ名	設定値	初期値
動作モード	1～8	2
通信速度	156k/625k/2.5M/5M/10Mbps	156kbps
局番	1～64 局	値なし



・ [CC-Link 設定] は、CC-Link に対応したベースユニットのみ表示されます。

●入出力点数及び各パラメータ設定

モジュールの入出力占有点数や各種パラメータを [ベースユニット設定] で設定します。

ベースユニット設定画面 (EX600-WEN の例)

設定できる各種パラメータは下記のとおりです (詳細は「5.3 設定タブ」を参照してください)。

ベースユニット設定項目 (マニホールドタイプ無線ユニット EX600-WEN※ / EX600-WPN※の例)

パラメータ名	設定値	初期値
通信切断時出力動作	CLEAR / HOLD / Software Control	CLEAR
モジュール入力占有点数	0~128 点 (0~16byte)	128 点/16byte
モジュール出力占有点数	0~128 点 (0~16byte)	128 点/16byte
内パルプマニホールド出力占有点数	0~32 点 (0~4 byte)	32 点/4byte
無線通信動作	Active / Idle	Active
I/O ユニット割付方向	モード1 / モード2	モード1



EXW1 シリーズの無線ベースユニットでは、[ベースユニット設定] は表示されません。

●システム設定

必要に応じて、各パラメータの設定を変更します。

システム設定設定画面（EXW1-BMJA※の例）

設定できる各種パラメータは下記のとおりです。設定対象のユニットによって、設定できるパラメータは異なります（詳細は「5.3 設定タブ」を参照してください）。

システム設定項目（小型無線ベース EXW1-BMJA※）

パラメータ	設定値	初期値
I/O 割付	固定割付	固定割付
診断割付	詳細	詳細
アナログ出力更新時間*1	0.1/0.2/0.5/1/2/5/10/30/60 s	1 s
上位通信切断時出力動作	Clear/Hold/Individual	Clear
無線通信タイムアウト時間	20/40/100/200/500/1,000/2,000/5,000 msec	500 msec
無線通信切断時入力情報	Clear/Hold	Hold
無線通信動作	Active/Idle	Active
プロトコル	V.1.0/V.2.0	V.1.0
時刻情報*2	—	未同期

*1：無線リモートに接続されているアナログ入力ユニットのデータ更新時間の設定は、無線リモートユニット毎に設定する必要があります。

*2：[時刻同期] ボタンをクリックすることで、設定を行っている PC のシステム時刻と同期、その時点から日時をカウント開始します。



- ・プロトコルの初期値は V.1.0 に設定されていますので、EXW1 シリーズのみで構成された無線システムで、無線通信速度 1Mbps、周波数チャンネル選択機能（F.C.S.）を使用したい場合は、ペアリングする前にプロトコルを V.2.0 に変更してください。

システム設定項目（小型無線ベース EXW1-BECAC）

パラメータ	設定値	初期値
I/O 割付	自動割付	自動割付
診断割付	なし/簡易/詳細	詳細
リモート登録台数	15 台/31 台/63 台	15 台
無線通信タイムアウト時間	100/200/500/1,000/2,000/5,000 msec	500 msec
無線電波レベル	High/Middle/Low	High
無線通信動作	Active/Idle	Active
プロトコル	V.1.0/V.2.0	V.2.0

システム設定項目（小型無線ベース EXW1-BENAC1）

パラメータ	設定値	初期値
I/O 割付	固定割付/自動割付	固定割付
システム入力点数	16, 128, 256, 512, 768, 1024, 1280, 2048~11264 点 (1024 点単位) 2, 16, 32, 64, 96, 128, 160, 256~1408 バイト (128 バイト単位)	2048 点/ 256 byte
システム出力点数	16, 128, 256, 512, 768, 1024, 1280, 2048~11264 点 (1024 点単位) 2, 16, 32, 64, 96, 128, 160, 256~1408 バイト (128 バイト単位)	2048 点/ 256 byte
診断割付	なし/簡易/詳細	詳細
リモート登録台数	15 台/31 台/63 台/127 台	15 台
無線通信タイムアウト時間	100/200/500/1,000/2,000/5,000 msec	500 msec
無線電波レベル	High/Middle/Low	High
無線通信動作	Active/Idle	Active
プロトコル	V.1.0/V.2.0	V.2.0
時刻情報*1	—	未同期

*1：[時刻同期] ボタンをクリックすることで、設定を行っている PC のシステム時刻と同期、その時点から日時をカウント開始します。

システム設定項目（小型無線ベース EXW1-BPNAC1）

パラメータ	設定値	初期値
I/O 割付	自動割付	自動割付
診断割付	なし/簡易/詳細	詳細
リモート登録台数	15 台/31 台/63 台	15 台
無線通信タイムアウト時間	100/200/500/1,000/2,000/5,000 msec	500 msec
無線電波レベル	High/Middle/Low	High
無線通信動作	Active/Idle	Active
プロトコル	V.1.0/V.2.0	V.2.0
時刻情報*1	—	未同期

*1：[時刻同期] ボタンをクリックすることで、設定を行っている PC のシステム時刻と同期、その時点から日時をカウント開始します。



- ・プロトコルの初期値は V.2.0 に設定されていますので、EX600-W シリーズの無線リモートと組合せて使用する場合は、ペアリングする前にプロトコルを V.1.0 に変更してください。

システム設定項目（マニホールドタイプ無線ベース EX600-WEN※ / EX600-WPN※の例）

パラメータ	設定値	初期値
I/O 割付	固定割付/自動割付	固定割付（EX600-WEN※） 自動割付（EX600-WPN※、固定）
システム入力点数	16, 128~1280 点 (2 byte~160 byte) 128 点 (16 byte) 単位	1280 点/160 byte
システム出力点数	16, 128~1280 点 (2 byte~160 byte) 128 点 (16 byte) 単位	1280 点/160 byte
診断割付	なし/簡易/詳細	詳細
リモート登録台数	0/15/31/63/127 台 (EX600-WEN※) 0/15/31 台 (EX600-WPN※)	15 台
アナログ出力更新時間※ ¹	0.1/0.2/0.5/1/2/5/10/30/60 s	1 s

*1 アナログ入力更新時間の設定は、無線リモートユニットごとに行います。「3.3 リモートユニット設定」を参照してください。

● OPC UA 設定

必要に応じて、各パラメータの設定を変更します。

システム設定設定画面（EXW1-BPNAC1 の例）

設定できる各種パラメータは下記のとおりです。

OPC UA 設定項目

パラメータ		設定値	初期値	備考
Security Mode		Sign & Encrypt, Sign, None	Sign & Encrypt	
Security Policy	Basic256Sha256	✓ (有効)	有効	※常に✓ (有効)
	Aes128_Sha256_RsaOaep	✓ (有効)	有効	※常に✓ (有効)
	Basic256	有効 (非推奨) / 無効	無効	
	Basic128Rsa15	有効 (非推奨) / 無効	無効	
Anonymous Login		有効 (非推奨) / 無効	無効	
OPCUA Write Enable		有効/無効	無効	※PLC からの出力が無効になります。



・「OPC UA 設定」は、OPC UA に対応したベースユニットのみ表示されます。

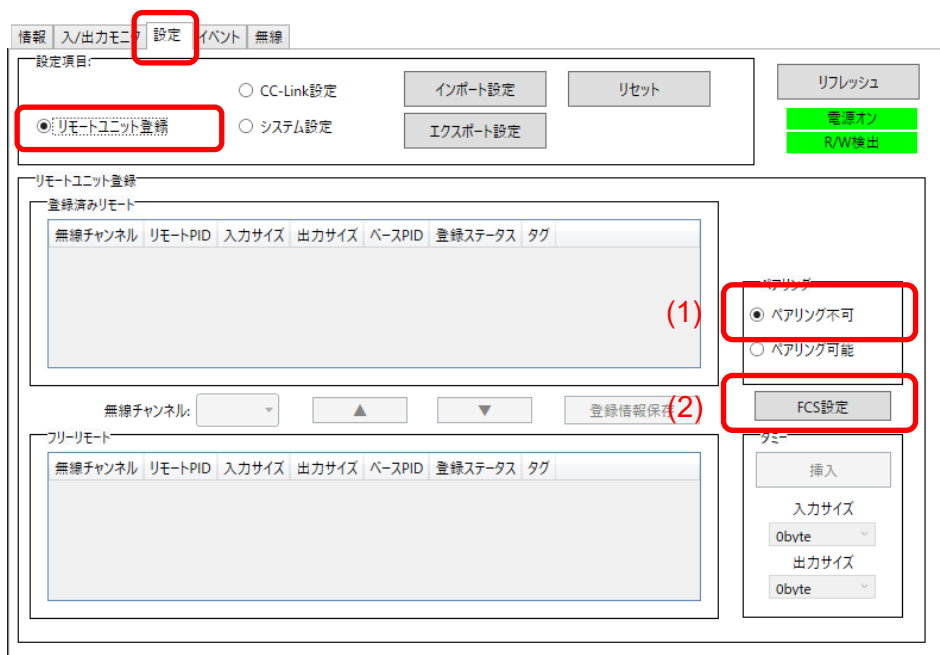
●周波数チャンネル選択機能（F.C.S.：Frequency Channel Select）

EXW1 シリーズの無線ベースユニットでは、使用する周波数チャンネルを選択できます。
プロトコル V.2.0 のみ対応となります。[システム設定] にてプロトコルを V.2.0 に設定してください。

* 選択できる周波数チャンネル数は使用国で異なります。詳細は製品取扱説明書をご確認ください。

* 選択しなければデフォルト 79ch で通信を行います。

[設定] タブの [リモートユニット登録] から設定します。



(1) 「ペアリング」を [ペアリング不可] に設定します。
ペアリング設定の詳細は、「3.5 ペアリング」を参照してください。

(2) [FCS 設定] をクリックします。

設定は [Frequency Channel Select Window] で行います。



No.	表示	内容
(1)	Read ボタン	現在の設定内容を表示します。
(2)	W-LAN Channel 表示	W-LAN の Channel に対応した周波数を一括で選択できます。 ※上記例の場合 W-LAN Channel : CH. 10 が選択されています。
(3)	W-CH 表示	周波数を 1 チャンネル毎に選択できます。 ※上記例の場合 2419、2426~2428、2446~2468[MHz]が使用しないチャンネルになります。 なお、2446~2468[MHz]は上記(1)の W-LAN Channel : CH.10 に相当します。
(4)	Clear ボタン	デフォルト値(79 個のチャンネルを使用)を表示します。
(5)	Apply ボタン	表示内容を設定に反映します。

・表示色について

色	内容	備考
緑	選択した W-LAN チャンネル (W-LAN Channel 領域) 有効な周波数チャンネル (W-CH 領域)	
黄	アダプタイズチャンネル	無効な周波数チャンネルに設定不可
灰	無効な周波数チャンネル	



- ・W-LAN Channel 選択時、CH 内にアダプタイズチャンネルが含まれる場合、選択できません。
選択する場合、製品を初期化または登録リモートを全て削除し、F. C. S. を設定後にペアリングを行ってください。
- ・周波数チャンネル数を 5~7 で使用する場合、隣り合う周波数を 3MHz あける必要があります。
- ・周波数チャンネル数を 8~14 で使用する場合、隣り合う周波数を 2MHz あける必要があります。
- ・周波数チャンネル数を 15 以上で使用する場合、隣り合う周波数を選択できます。

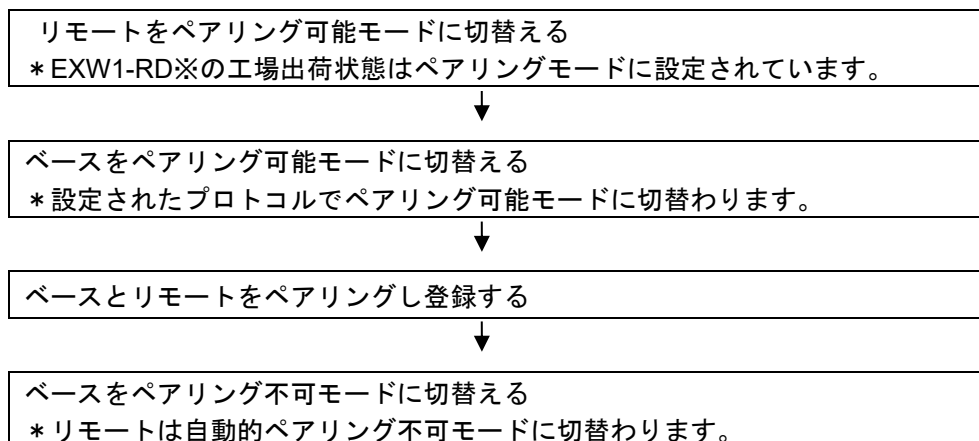
3.5 ペアリング

ベースとリモート間で無線通信を行うためにはペアリングが必要となります。

ベースとリモート間のペアリングは、ベース及びリモートをペアリング可能モードに切替えて行います。

ベースとリモート間でペアリングを行い登録することで、無線通信が可能になります。

○ペアリンク設定時の操作フロー



- ・ペアリング設定にて動作モードを切り替え後、[リセット] ボタンによるリセット動作または電源の再投入をすることでモードが切り替わり、リモートとの登録もしくは接続待ち状態に移行します。
- ・周波数チャンネル選択機能(F.C.S.)を利用する場合は、ペアリング前に設定してください。ペアリングを完了するとアダプタイズチャンネルが固定されるため FCS 設定時に選択できる周波数が限定されます。



- ・登録はベース/リモート共に電源を投入した状態で行ってください。
- ・ペアリング可能モード時は入出力の制御が無効となります。
必ず設備非稼働時に動作モードを切り替えてください。
- ・リモートのモジュール入出力占有点数は無線登録時の設定値がベースに反映されます。
EX600-WSV リモートのモジュール入出力占有点数を変更する場合は再度無線登録を実施してください。

設定変更後、「リセット」ボタンを押すもしくは電源の再投入にて設定値が反映されます。

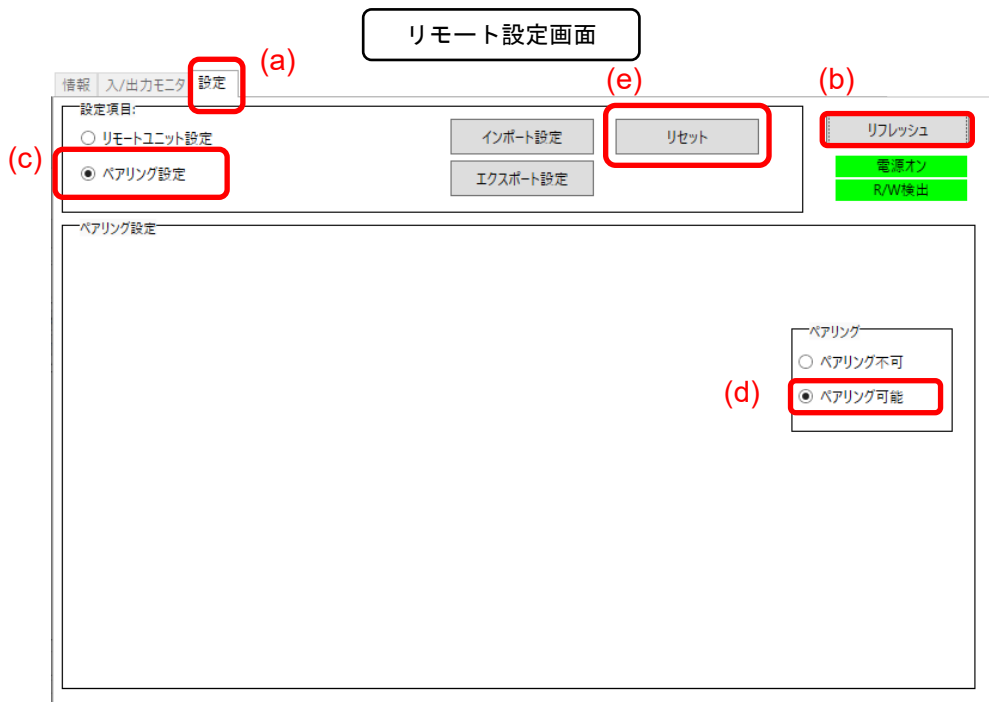
3.5.1 ペアリング手順

(1) リモートをペアリング可能モードに切替える

リモートに NFC 接続して (a) [設定] タブを選択、(b) [リフレッシュ] をクリックします。

(a) [設定] タブの (c) [ペアリング設定] から (d) [ペアリング可能] を選択し、(e) [リセット] をクリックします。

ペアリング可能モードに移行すると、W-MS の LED 表示が赤色/緑色交互に点滅します。



(2) ベースをペアリング可能モードに切替える

NFC リーダを、ベースと通信可能な状態にしてください。

- (a) [設定] タブを選択、
- (b) [リフレッシュ] をクリックします。
- (c) [リモートユニット登録] から (d) [ペアリング可能] を選択し、
- (e) [リセット] をクリックします。

ベースの設定画面

The screenshot shows the 'Base Settings' interface. At the top, there are tabs for '情報', '入/出力モニタ', '設定', 'イベント', and '無線'. The '設定' tab is selected and highlighted with a red box (a). Below the tabs, there are buttons for 'インポート設定', 'リセット', and 'エクスポート設定'. The 'リセット' button is highlighted with a red box (e). To the right, there are buttons for 'リフレッシュ', '電源オン', and 'R/W検出'. The 'リフレッシュ' button is highlighted with a red box (b). Under '設定項目', there are radio buttons for 'リモートユニット登録' (selected) and 'システム設定'. The 'リモートユニット登録' option is highlighted with a red box (c). Below this, there is a table for '登録済みリモート' with columns: '無線チャンネル', 'リモートPID', '入力サイズ', '出力サイズ', 'ベースPID', '登録ステータス', and 'タグ'. The 'ペアリング' section has radio buttons for 'ペアリング不可' and 'ペアリング可能' (selected). The 'ペアリング可能' option is highlighted with a red box (d). Below the table, there are buttons for '登録情報保存' and 'FCS設定'. At the bottom, there is a 'フリーリモート' section with a table containing two entries:

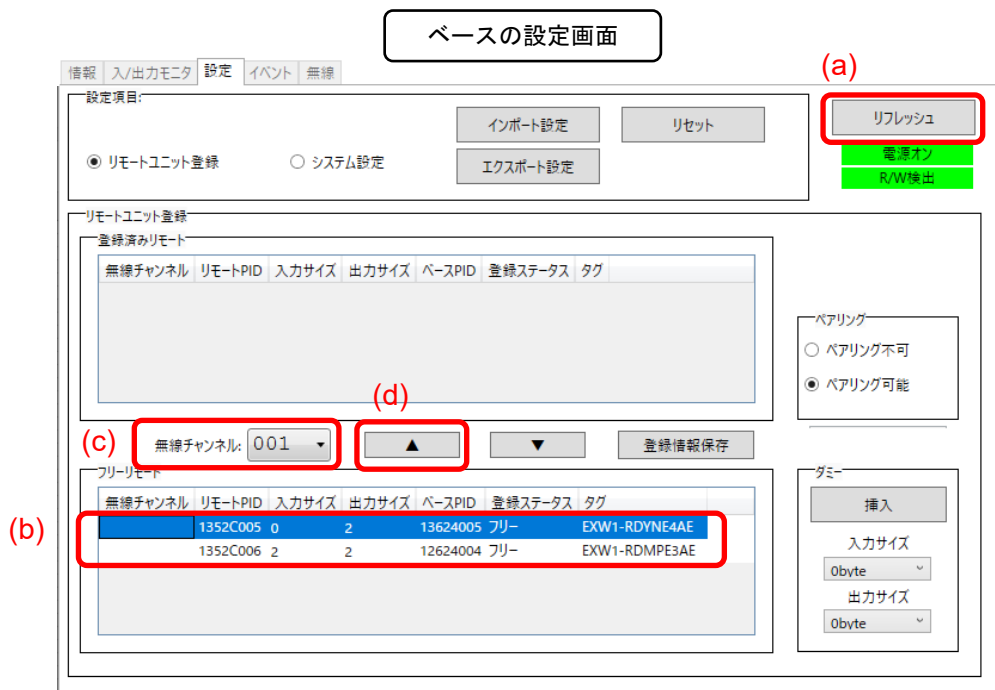
無線チャンネル	リモートPID	入力サイズ	出力サイズ	ベースPID	登録ステータス	タグ
	1352C005	0	2	13624005	フリー	EXW1-RDYNE4AE
	1352C006	2	2	12624004	フリー	EXW1-RDMPE3AE



・EXW1 シリーズの無線ベースユニットでは、[システム設定] で設定したプロトコルでペアリング可能モードに切り替わります。あらかじめ、ペアリングするリモートに応じたプロトコルを設定した上で、ペアリング可能モードへ切り替えてください。

(3) ベースとリモートをペアリングし登録する

- (a) [リフレッシュ]をクリックすると、フリーリモート欄にペアリング可能モード中のリモートが表示されます。
- (b) 登録したいリモートを選択、(※必要に応じ入力/出力サイズを設定します)
- (c) 無線チャンネルを設定し、
- (d) ▲をクリックしてください。



- ・ペアリングしたいリモートが表示されない場合は、再度 (a) [リフレッシュ]をクリックしてください。
- それでも表示されない場合は、下記をご確認ください。
1. リモートがペアリング可能モードに切替わっていない
 2. リモートの電源が入っていない
 3. 別のベースと登録または登録待ち状態になっている

・入力／出力サイズ設定

プロトコル V. 2.0 において、入力／出力占有バイトが可変するリモート（EXW1-RL※PA※C など）の設定が可能です。設定する入力／出力サイズの範囲については各製品取扱説明書を参照ください。

設定項目:

OPC UA設定 Ethernet設定 インポート設定 リセット リフレッシュ

リモートユニット登録 システム設定 エクスポート設定

電源オン
No driver

リモートユニット登録

登録済みリモート

無線チャンネル	リモートPID	入力サイズ	出力サイズ	ベースPID	登録ステータス	タグ

無線チャンネル: [] ▲ ▼ 登録情報保存

ペアリング

ペアリング不可
 ペアリング可能

FCS設定

フリーリモート

無線チャンネル	リモートPID	入力サイズ	出力サイズ	ベースPID	登録ステータス	タグ
	1A13006E	38	38		フリー	EXW1-RLBPA7C029

無線チャンネル: [] ▲ ▼ 登録情報保存

出力サイズ: 38, 40, 42, 44, 46, 48

ダミー

挿入

入力サイズ: [Obyte]

出力サイズ: [Obyte]

登録済みリモート欄に、指定した無線チャンネルで登録したいリモートが移動します。登録ステータスが登録待ちとなっていることを確認し、[登録情報保存]をクリックしてください。

ベースの設定画面

設定項目:

リモートユニット登録 システム設定 インポート設定 リセット リフレッシュ

エクスポート設定

電源オン
R/W検出

リモートユニット登録

登録済みリモート

無線チャンネル	リモートPID	入力サイズ	出力サイズ	ベースPID	登録ステータス	タグ
001	1352C005	0	2	1362400	登録待ち	EXW1-RDYNE4AE

無線チャンネル: [002] ▲ ▼ 登録情報保存

ペアリング

ペアリング不可
 ペアリング可能

FCS設定

フリーリモート

無線チャンネル	リモートPID	入力サイズ	出力サイズ	ベースPID	登録ステータス	タグ
	1352C006	2	2	13624003	フリー	EXW1-RDMPE3AE

無線チャンネル: [] ▲ ▼ 登録情報保存

ダミー

挿入

入力サイズ: [Obyte]

出力サイズ: [Obyte]

(a) [リセット]、(b) [リフレッシュ] を順にクリックし、登録ステータスが登録済みになることを確認してください。

ベースの設定画面

設定項目:
 リモートユニット登録 システム設定

インポート設定 リセット リフレッシュ
エクスポート設定

リモートユニット登録

無線チャンネル	リモートPID	入力サイズ	出力サイズ	ベースPID	登録ステータス	タグ
001	1352C005	0	2	13624003	登録済み	EXW1-RDYNE4AE

無線チャンネル: [] ▲ ▼ 登録情報保存

フリーリモート

無線チャンネル	リモートPID	入力サイズ	出力サイズ	ベースPID	登録ステータス	タグ
	1352C006	2	2	12624004	フリー	EXW1-RDMPE3AE

ペアリング
 ペアリング不可
 ペアリング可能

FCS設定

ダミー
挿入
入力サイズ: Obyte
出力サイズ: Obyte

* 下は 2 台のリモートモジュールが CH1 と CH2 登録された例になります。

ベースの設定画面

設定項目:
 リモートユニット登録 システム設定

インポート設定 リセット リフレッシュ
エクスポート設定

リモートユニット登録

無線チャンネル	リモートPID	入力サイズ	出力サイズ	ベースPID	登録ステータス	タグ
001	1352C005	0	2	13624003	登録済み	EXW1-RDYNE4AE
002	1352C006	2	2	13624003	登録済み	EXW1-RDMPE3AE

無線チャンネル: 003 ▲ ▼ 登録情報保存

フリーリモート

無線チャンネル	リモートPID	入力サイズ	出力サイズ	ベースPID	登録ステータス	タグ
---------	---------	-------	-------	--------	---------	----

ペアリング
 ペアリング不可
 ペアリング可能

FCS設定

ダミー
挿入
入力サイズ: Obyte
出力サイズ: Obyte

ダミーリモートは必要に応じて登録を適宜設定してください。

- (4) ベースのペアリング可能モードを解除（ペアリング不可モード）
NFC リーダを、ベースと通信可能な状態にしてください。
- (a) ペアリング不可モードを選択し、
- (b) [リセット]をクリックし、ベース本体がリセットされ、登録したリモートと接続されることを確認してください。

The screenshot shows a settings menu with tabs for '情報' (Info), '入/出力モニタ' (Input/Output Monitor), '設定' (Settings), 'イベント' (Event), and '無線' (Wireless). The '設定' tab is active, showing options for 'リモートユニット登録' (Remote Unit Registration) and 'システム設定' (System Settings). A red box labeled '(b)' highlights the 'リセット' (Reset) button. Below this, the 'リモートユニット登録' section contains a table of registered remote units and a radio button selection for pairing mode. A red box labeled '(a)' highlights the 'ペアリング不可' (Pairing Disabled) option. The table has the following data:

無線チャンネル	リモートPID	入力サイズ	出力サイズ	ベースPID	登録ステータス
001	0010402C	16	8	18628002	登録済み
002	16D2E713	0	2	18628002	登録済み

Below the table, the '無線チャンネル' (Wireless Channel) is set to '003'. There are also sections for 'フリーリモート' (Free Remote) and 'ダミー' (Dummy) settings.

3.6 ダミーリモート

ダミーリモートを設定することで、あらかじめ予約領域を確保して、システム設定後もマップを変更せずにリモートを追加登録可能です。ダミーリモートの登録はベースで行います。

無線チャンネル	リモートPID	入力サイズ	出力サイズ	ベースPID	登録ステータス
001	09514F0F	16	8	18628002	登録済み
002	ダミー	0	8	18628002	登録済み
003	16D2E710	2	0	18628002	登録済み
004	ダミー	2	2	18628002	登録済み
005	21230001	0	2	18628002	登録済み

(a) 無線ベースユニットの動作モードを変更

- (a)-1 無線ベースユニットのリモートユニット登録の“ペアリング可能”設定にする。
- (a)-2 「リセット」ボタンをクリックもしくは電源を再投入し、設定を反映させる。
- (a)-3 「リフレッシュ」ボタンを押し、表示内容を更新させます。

(b) ダミーリモートの入力/出力点数を設定

ダミーリモートの入力点数および出力点数の設定を行います。

(c) ダミーリモートを任意の無線チャンネルへ割付け

任意の無線チャンネルを選択し、「挿入」ボタンを押すことで設定した内容のダミーリモートが登録済み

表示ボックスに表示されます。

(この時点ではダミーリモートの登録は完了していません。ステータスが登録待ち表示)

(d) ダミーリモートの登録情報を確定

「登録情報保存」ボタンを押して、登録情報を反映させます。

(登録が正常に完了した場合、ダミーリモートのステータスが登録済みに切り替わります。)



- ・ダミーリモートの登録は、あらかじめ入力/出力点数を設定する必要があります。設定した入力/出力点数と異なる点数を持つリモートを登録した場合、入出力マップの変更が必要となります。ご注意ください。

3.7 Software Control

「ベース/リモートユニット設定」の「通信切断時出力動作 : Software Control」は、パルス出力や出力ユニットの Ethernet 通信切断時出力動作を 1 点単位で「CLEAR」、「HOLD」、「SET」の中から選択できます。また、1 点単位の通信切断時出力動作の設定値は、出力のあるユニットにそれぞれ保存されます。

設定値	内容
HOLD	通信切断時直前の値を維持
CLEAR	通信切断時出力を 0
SET	通信切断時出力を 1

* : 「通信切断時出力動作」を「Software Control」に設定しているときに「情報タブ」の「詳細情報」から編集が可能になります。

「通信切断時出力動作」の「Software Control」を設定するには「設定タブ」の「ベースユニット設定」または「リモートユニット設定」から変更してください。

* : 無線通信切断時の出力動作は、Software Control 設定に関わらず「HOLD」となります。

◆「通信切断時出力動作」の設定手順

(1) 出力ユニットの詳細情報を表示します。

(詳細情報の表示方法に関しては、「5.1.2 システム構成エリア」を参照してください。)

(2) [編集] をクリックするとユニット通信切断時出力動作の設定画面が表示されます。

- (3) アルファベットは現在の通信切断時出力動作の状態を表しています。
 設定可能な値は「C」: CLEAR、「H」: HOLD、「S」: SET の3種です。半角8文字で入力を行ってください。
 任意の値を入力した後、「保存」をクリックしてください、状態が保存されます。

* : 「通信切断時動作」が CLEAR と HOLD に設定されている場合は以下のように表示されます。

通信切断時出力動作: CLEAR

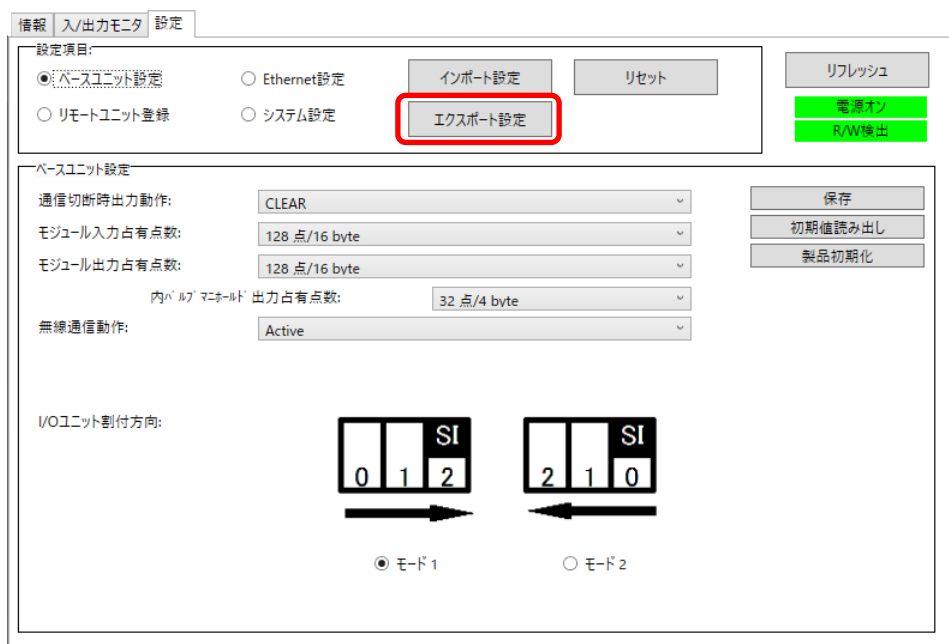
通信切断時出力動作: HOLD

3.8 設定ファイルの利用

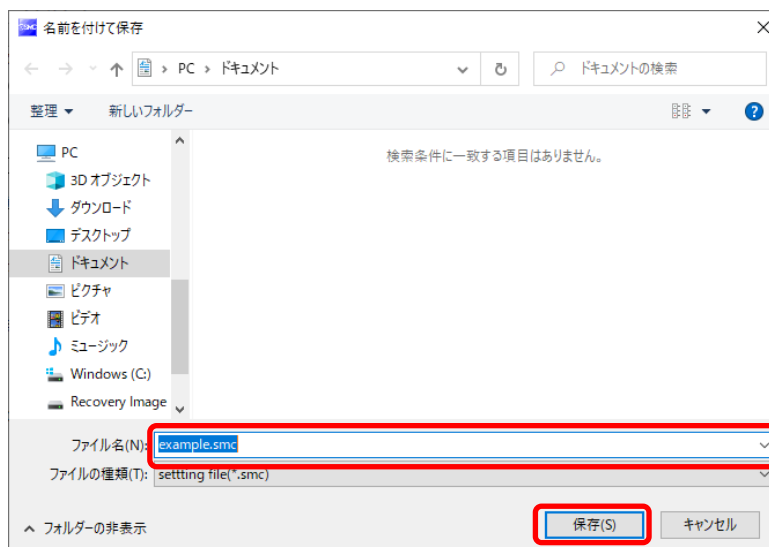
設定タブの[エクスポート設定]を使用することで、現在 NFC リーダ/ライタと接続されたユニットの設定を「.smc」というファイル形式で PC に保存することができ、次項で説明する設定のインポートを使用して別のユニットに設定を反映させることが可能です。

◆設定のエクスポート手順

(1)「エクスポート設定」をクリックします。



(2) ファイル名を入力し、保存を行ってください。

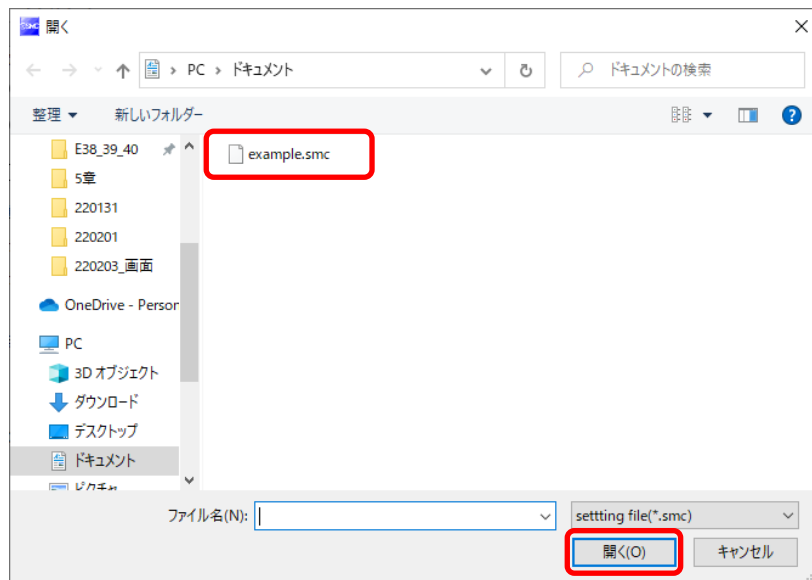


◆設定のインポート手順

(1)「インポート設定」ボタンをクリックします。



(2) ファイルを選択し開くをクリックします。設定のインポートを実行するかどうかの確認では「はい」を選択してください。



・エクスポート/インポート設定一覧 (EX600 シリーズ)

項目		ベース		リモート
		EX600-WEN※	EX600-WPN※	EX600-WSV※
ベース設定/リモート設定	通信切断時出力動作	○	○	○
	モジュール入力占有点数	○	○	○
	モジュール出力占有点数	○	○	○
	バルブマニホールド出力占有点数	○	○	○
	無線通信動作	○	○	○
	アナログ入力更新時間	—	—	○
	I/O ユニット割付方向	○	○	○
	制御/入力用 (US1) 電源電圧低下検出	—	—	—
	出力用 (US2) 電源電圧低下検出	—	—	—
リモート登録/ペアリング設定	ペアリング不可/可能	—	—	—
Ethernet 設定	IP アドレス設定モード	○	—	—
	IP アドレス	○	—	—
	Auto MDI/MDI-X	○	—	—
	Duplex	○	—	—
	通信速度	○	—	—
システム設定	I/O 割付	○	—	—
	システム入力点数	○	—	—
	システム出力点数	○	—	—
	診断割付	○	○	—
	リモート登録台数	○	○	—
	アナログ出力更新時間	○	○	—

・エクスポート/インポート設定一覧 (EXW1 シリーズ ベース)

項目		EXW1-BMJA※	EXW1-BECAC	EXW1-BENAC1	EXW1-BPNAC1
リモート登録/ ペアリング設定	ペアリング不可/可能	—	—	—	—
	FCS 設定	○	○	○	○
Ethernet 設定	IP アドレス設定モード	—	—	○	—
	IP アドレス	—	—	○	—
	Subnet Mask	—	—	○	—
	Default Gateway	—	—	○	—
	Auto MDI/MDI-X	—	—	○	—
	Duplex	—	—	○	—
	通信速度	—	—	○	—
OPC UA 設定	Security Mode	—	—	○	○
	Security Policy	—	—	○	○
	Anonymous Login	—	—	○	○
	OPCUA Write Enable	—	—	○	○
CC-Link 設定	動作モード	○	—	—	—
	通信速度	○	—	—	—
	局番	○	—	—	—
システム設定	I/O 割付	○	○	○	○
	システム入力点数	—	—	○	—
	システム出力点数	—	—	○	—
	診断割付	○	○	○	○
	アナログ出力更新時間	○	—	—	—
	上位通信切断時出力動作	○	—	—	—
	無線通信タイムアウト時間	○	○	○	○
	無線通信切断時入力情報	○	—	—	—
	無線出力レベル	—	○	○	○
	無線通信動作	○	○	○	○
	プロトコル	○	○	○	○
	時刻情報	—	—	—	—
情報タブ	タグ	○	○	○	○

・エクスポート/インポート設定一覧 (EXW1 シリーズ リモート)

項目		EXW1-RDXNE4※	EXW1-RDYNE4※	EXW1-RDM※E3※※
リモート設定	通信切断時出力動作	—	—	—
	モジュール入力占有点数	○	○	○
	モジュール出力占有点数	○	○	○
	内バルブマニホールド出力点数	—	—	—
	無線通信動作	○	○	○
	制御/入力用 (US1) 電源電圧低下検出	○	○	○
	出力用 (US2) 電源電圧低下検出	—	○	○
	上位通信切断時出力動作	—	○	○
	無線通信切断時出力動作	—	○	○
リモート登録/ ペアリング設定	ペアリング不可/可能	—	—	—
	FCS 設定	—	—	—
情報タブ	タグ	○	○	○

3.9 初期値の読み出し

[設定] タブ(リモートユニット登録とペアリング設定を除く)で、現在開いている画面のパラメータを初期値に戻したい場合や確認したい場合、[初期値読み出し] をクリックしてください。

設定を反映させるためには、電源が ON 状態 であれば電源を再投入か [リセット] をクリック、OFF 状態 であれば電源を投入してください。

The screenshot shows the '設定' (Settings) tab in the SMC configuration software. The '設定項目' (Setting Items) section has 'ベースユニット設定' (Base Unit Setting) selected. The 'リセット' (Reset) button is highlighted with a red box. Below, the 'ベースユニット設定' (Base Unit Setting) section contains several dropdown menus for communication and module settings. The '初期値読み出し' (Initial Value Load) button is also highlighted with a red box. At the bottom, there are diagrams for 'I/Oユニット割付方向' (I/O Unit Allocation Direction) showing 'モード1' (Mode 1) and 'モード2' (Mode 2).

◆初期値読み出しの対象

- ・無線ベース：ベースユニット設定、Ethernet 設定、CC-Link 設定、システム設定、OPC UA 設定
- ・無線リモート：リモートユニット設定

3.10 製品の初期化

製品の初期化を行いたい場合は、[設定] タブの [ベースユニット設定] か [リモートユニット設定] にある [製品初期化] をクリックしてください。

The screenshot shows the '設定' (Settings) tab in the SMC configuration software. The 'ベースユニット設定' (Base Unit Settings) section is active. The '製品初期化' (Product Initialization) button is highlighted with a red rectangle. Other visible buttons include 'リセット' (Reset), 'インポート設定' (Import Settings), 'エクスポート設定' (Export Settings), 'リフレッシュ' (Refresh), '電源オン' (Power On), and 'R/W検出' (R/W Detection). The 'ベースユニット設定' section includes dropdown menus for '通信切断時出力動作' (Output Action on Communication Disconnection), 'モジュール入力占有点数' (Module Input Occupied Points), 'モジュール出力占有点数' (Module Output Occupied Points), and '無線通信動作' (Wireless Communication Action). Below these are diagrams for 'I/Oユニット割付方向' (I/O Unit Allocation Direction) showing 'モード1' (Mode 1) and 'モード2' (Mode 2).



- ・製品の初期化は、実行の確認後に設定の保存と反映、画面情報の更新が行われます。誤って実行した場合は元に戻せません。ご注意ください。
- ・EXW1-RD※では、製品初期化を実行するとペアリングモードに移行します。

初期化される項目は I/O コンフィグレータ (WEB 版) で設定できる値も一部含まれます。
設定値の初期化対象は以下の表を参照してください。

I/O コンフィグレータ (NFC 版) 初期化項目 (EX600 シリーズ)

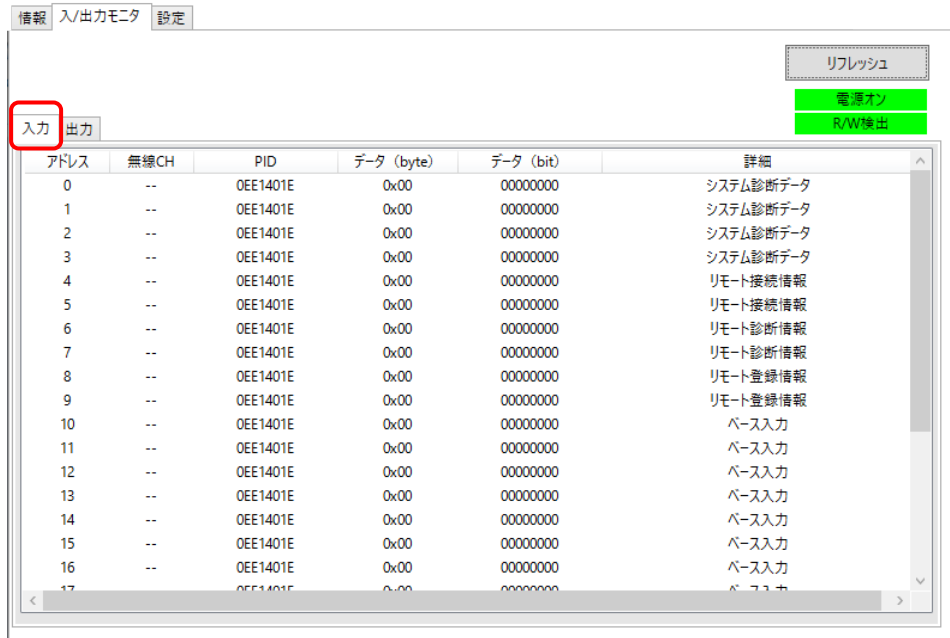
初期化項目			ベース		リモート
			EX600-WEN※	EX600-WPN※	EX600-WSV※
設定 タブ	ベース/リモート ユニット設定	通信切断時出力設定	○	○	○
		自局入力サイズ	○	○	○
		自局出力サイズ	○	○	○
		バルブマニホールド出力点数	○	○	○
		無線通信動作	○	○	○
		アナログ入力更新時間	-	-	○
		I/O ユニット割付方向	○	○	○
		制御/入力用 (US1) 電源電圧低下検出	-	-	-
		出力用 (US2) 電源電圧低下検出	-	-	-
	リモートユニット 登録	ペアリングモード	○	○	○
		ベース登録情報	-	-	○
	ペアリング設定	ペアリングモード	○	○	○
		リモート登録情報	○	○	-
	Ethernet 設定	IP アドレス設定モード	○	-	-
		IP アドレス	○	-	-
		Auto MDI/MDI-X	○	-	-
		Duplex	○	-	-
		通信速度	○	-	-
	システム設定	I/O 割付	○	-	-
		システム入力点数	○	-	-
		システム出力点数	○	-	-
診断割付		○	○	-	
リモート接続台数		○	○	-	
アナログ出力更新時間		○	○	-	
情報 タブ	詳細情報	タグ	○	○	○

4. 入出力モニタリング

〔入/出力モニタ〕タブで、入/出力データをモニタできます。

4.1 入力

無線ユニットの入力マップ情報を表示します。



・入力画面表示

表示	内容
アドレス	入力マップのアドレスを表示します。
無線 CH	無線ユニットのチャンネルを表示します。 (無線ベースの無線チャンネルは「--」と表示されます。)
PID	無線ユニットのPIDを表示します。
データ (byte)	入力データを byte で表示します。
データ (bit)	入力データを bit で表示します。
詳細	入力データの詳細を表示します。

4.2 出力

無線ユニットの出力マップ情報を表示します。

情報 入/出力モニタ 設定

強制出力オン

リフレッシュ

電源オン

R/W検出

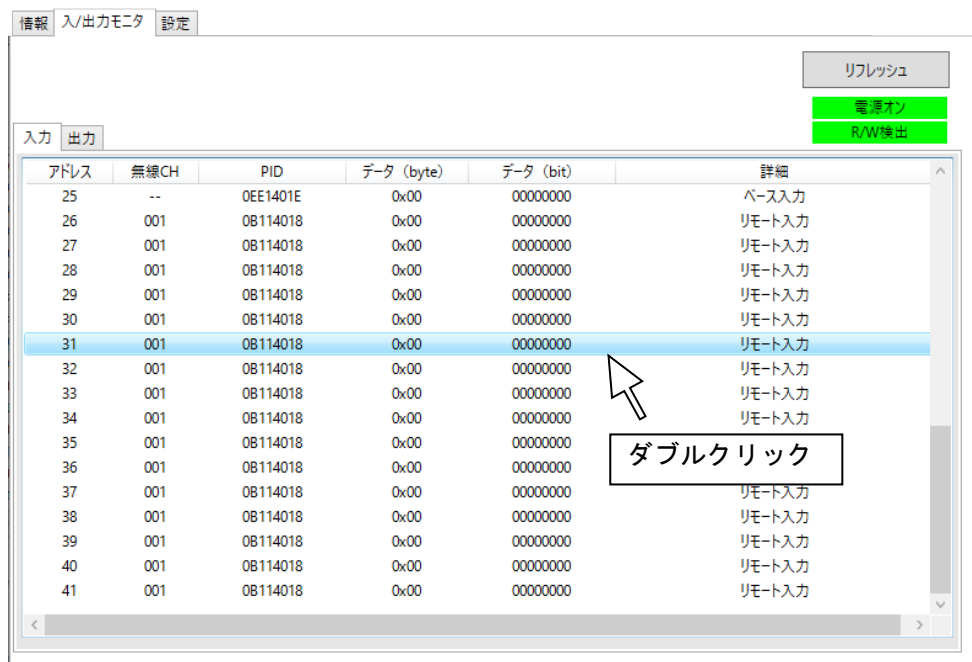
入力	出力	アドレス	無線CH	PID	データ (byte)	データ (bit)	詳細
0		0	--	0EE1401E	0x00	00000000	ベース出力
1		1	--	0EE1401E	0x00	00000000	ベース出力
2		2	--	0EE1401E	0x00	00000000	ベース出力
3		3	--	0EE1401E	0x00	00000000	ベース出力
4		4	--	0EE1401E	0x00	00000000	ベース出力
5		5	--	0EE1401E	0x00	00000000	ベース出力
6		6	--	0EE1401E	0x00	00000000	ベース出力
7		7	--	0EE1401E	0x00	00000000	ベース出力
8		8	--	0EE1401E	0x00	00000000	ベース出力
9		9	--	0EE1401E	0x00	00000000	ベース出力
10		10	--	0EE1401E	0x00	00000000	ベース出力
11		11	--	0EE1401E	0x00	00000000	ベース出力
12		12	--	0EE1401E	0x00	00000000	ベース出力
13		13	--	0EE1401E	0x00	00000000	ベース出力
14		14	--	0EE1401E	0x00	00000000	ベース出力
15		15	--	0EE1401E	0x00	00000000	ベース出力

・出力画面表示

表示	内容
強制出力オン	クリックすることで強制出力モードに切り替わります。 * : 操作に関しては「4.4 強制出力」を参照してください。
アドレス	入力マップのアドレスを表示します。
無線 CH	無線ユニットのチャンネルを表示します。 (無線ベースの無線チャンネルは「--」と表示されます。)
PID	無線ユニットのPIDを表示します。
データ (byte)	出力データを byte で表示します。
データ (bit)	出力データを bit で表示します。
詳細	出力データの詳細を表示します。

4.3 入出力詳細情報

無線ユニットに接続された入/出力ユニットの任意のアドレス行をダブルクリックすることで IO 詳細画面が開きます。



各ビットエラーの内容により背景色が変わります。背景色区分は[>>]をクリックすることで確認できます。



IO 詳細は、ユニットごとに異なります。詳しくは「5.2.3 IO 詳細」を参照してください。

4.4 強制出力

4.4.1 強制出力の条件

I/O コンフィグレータ (NFC 版) から無線ベース/リモートに直接出力命令を行うことができます。
強制出力機能の使用条件は次の通りです。

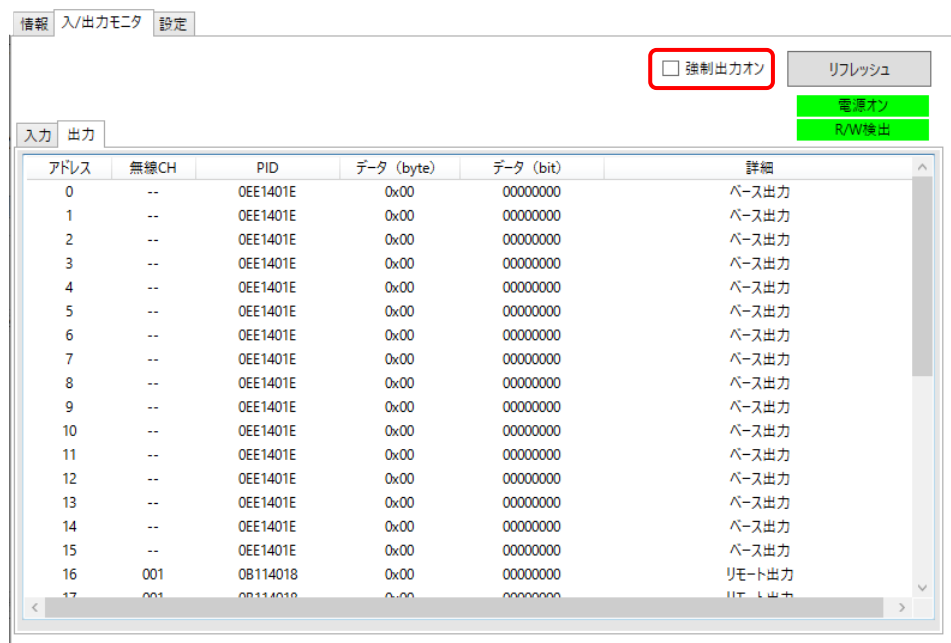
	【無線ベースからの強制出力】	【無線リモートからの強制出力】
強制出力条件	管理者モードでのログイン 上位 PLC と接続が確立していないこと	管理者モードでのログイン 無線ベースと無線接続していないこと
強制出力対象	無線ベース/リモート	無線リモート

強制出力の手順 (デジタルユニット)

強制出力は、強制出力モードで実行します。データは Bit 単位、byte 単位のどちらでも出力できます。

【Bit 単位データの強制出力】

[入/出力モニタ] タブをクリックし、[出力] タブに切り替えます。画面右上方にある [強制出力オン] チェックボックスをオンにします。強制出力をオンにする確認ダイアログで [はい] を選択します。



下画面は強制出力モードへの変更が完了した状態です。強制出力させたい出力ユニットを選択し、ダブルクリックします。

情報 入/出力モニタ 設定

強制出力オン リフレッシュ

電源オン
R/W検出

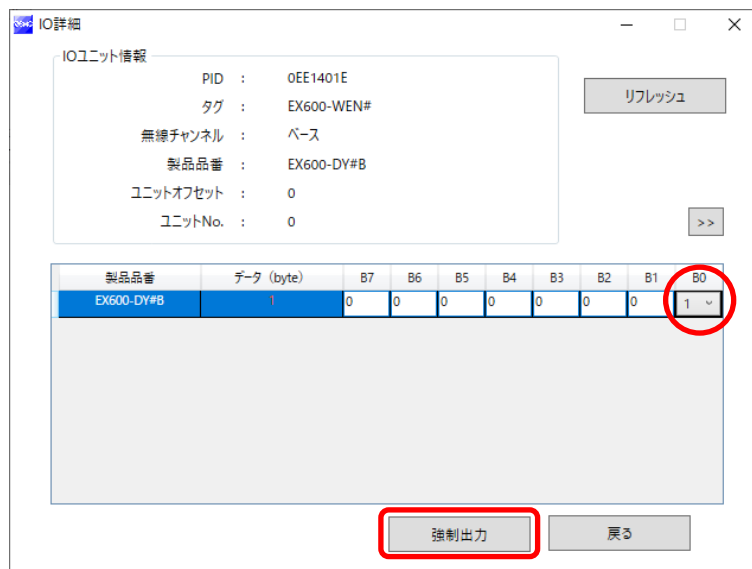
入力 出力

アドレス	無線CH	PID	データ (byte)	データ (bit)	詳細
0	--	0EE1401E	情報なし	情報なし	ベース出力
1	--	0EE1401E	情報なし	情報なし	ベース出力
2	--	0EE1401E	情報なし	情報なし	ベース出力
3	--	0EE1401E	情報なし	情報なし	ベース出力
4	--	0EE1401E	情報なし	情報なし	ベース出力
5	--	0EE1401E	情報なし	情報なし	ベース出力
6	--	0EE1401E	情報なし	情報なし	ベース出力
7	--	0EE1401E	情報なし	情報なし	ベース出力
8	--	0EE1401E	情報なし	情報なし	ベース出力
9	--	0EE1401E	情報なし	情報なし	ベース出力
10	--	0EE1401E	情報なし	情報なし	ベース出力
11	--	0EE1401E	情報なし	情報なし	ベース出力
12	--	0EE1401E	情報なし	情報なし	ベース出力
13	--	0EE1401E	情報なし	情報なし	ベース出力
14	--	0EE1401E	情報なし	情報なし	ベース出力
15	--	0EE1401E	情報なし	情報なし	ベース出力
16	001	0B114018	情報なし	情報なし	リモート出力
17	001	0B114019	情報なし	情報なし	リモート出力

ダブルクリック

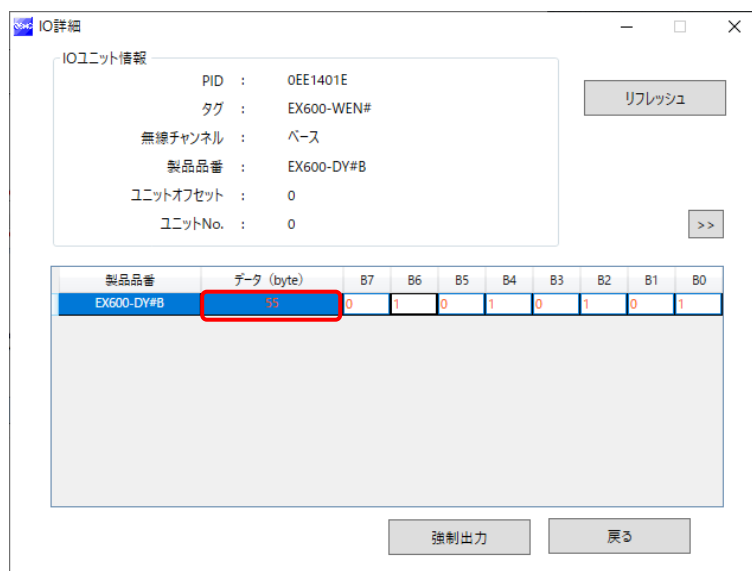
表示された「IO 詳細」画面で、強制出力させたい Bit (B0~B7) に「1」を設定し、画面の下方にある [強制出力] をクリックすると設定した値が出力されます。

強制出力で出力機器を駆動するには、出力用電源の供給が必要です。出力用電源については SMC 無線システム製品取扱説明書を参照してください。



【Byte 単位データの強制出力】

「データ (byte)」に 0x00~0xFF の値を入力し、[強制出力] をクリックすると Byte 単位の値が出力されます。



強制出力（アナログユニット）

アナログユニットの強制出力では、出力したい機器のレンジに応じた値を入力してください。アナログレンジの切り替えはIOコンフィギュレータ（WEB版）から行うことができます。値を入力後「強制出力」をクリックするとアナログ値が出力されます。

強制出力で出力機器を駆動するには出力用電源の供給が必要です。出力用電源についてはSMC無線システム製品取扱説明書を参照してください。

IO詳細

IOユニット情報

PID : 0B114018
タグ : EX600-WSV#
無線チャンネル : 1
製品品番 : EX600-AMB
ユニットオフセット : 16
ユニットNo. : 0

リフレッシュ

0.00 => 1.00

CH0: 0.02 V (OK)
CH1: 0.00 V (OK)

強制出力 戻る

入力した値が設定範囲外の場合は、下記のダイアログが表示されます。再度値の入力を行ってください。

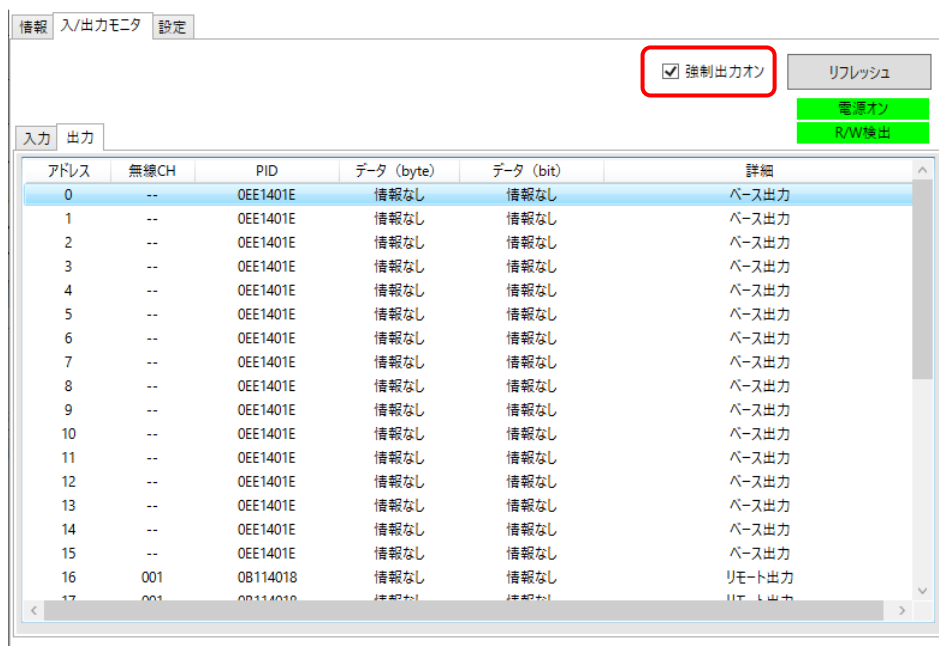
×

アナログ強制出力設定範囲外

OK

強制出力モードの解除

[強制出力オン] チェックボックスをオフにすると強制出力モードが解除されます。強制出力モードをオフする確認ダイアログで [はい] を選択します。続いて表示される確認画面で再び [はい] をクリックすると強制出力モードが解除されます。[リフレッシュ] をクリックして画面の情報を更新してください。無線ユニットの電源をオフにすることでも強制出力モードを解除することができます。



- 入/出力モニタから強制出力モードを解除した場合、無線ベースとリモートでは解除後の動作が異なります。
無線ベース： 強制出力モードで設定した値が解除後も保持されます
無線リモート： 強制出力モードで設定した値は保持されません

5. I/O コンフィグレータ（NFC 版）画面詳細

5.1 情報タブ

情報タブはモジュール情報、システム構成、詳細情報の3つのエリアで構成されています。

The screenshot shows the '情報' (Information) tab with three sub-sections:

- モジュール情報 (Module Information):** Displays product ID (EX600-WEN#), PID (0EE1401E), software version (9.0.2), MAC address (00:23:C6:26:0B:4F), IP address (0.0.0.0), and subnet mask (0.0.0.0). It also shows module I/O usage (16/16 byte) and system I/O usage (160/160 byte). Buttons for 'リフレッシュ' (Refresh), '電源オン' (Power On), and 'R/W検出' (R/W Detection) are present.
- システム構成 (System Configuration):** A list of wireless units with columns for '無線CH' (Wireless Channel) and '製品品番' (Product ID). The list includes 'EX600-WEN#' and 'EX600-WSV#'.
- 詳細情報 (Detailed Information):** Provides a more granular view of the module information, including diagnosis status (00 00 00 00 OK), clear button, and various I/O statistics like '有効' (Valid) and '空き' (Free) data sizes.

5.1.1 モジュール情報エリア

モジュール情報エリアには、無線ユニットの情報が表示されます。

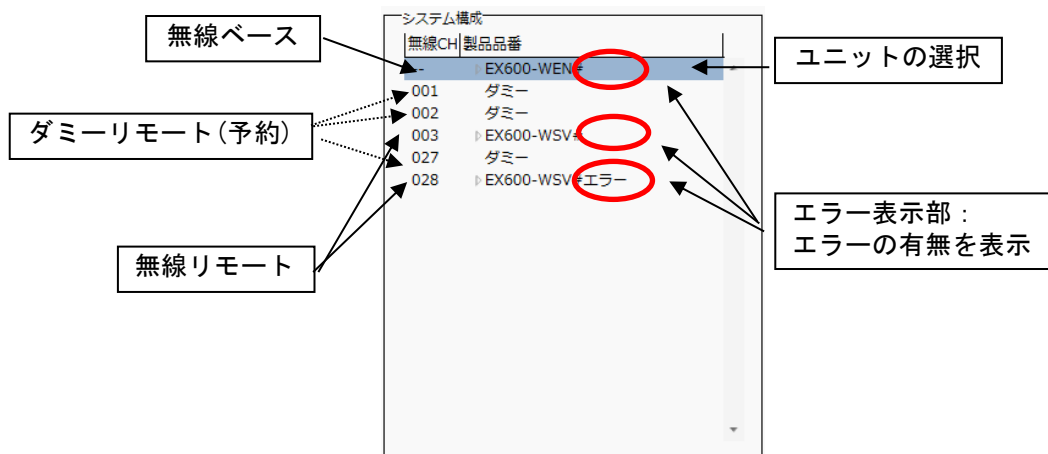
モジュール情報			
製品品番:	EX600-WEN#	MACアドレス:	00:23:C6:26:0B:4F
PID:	0EE1401E	IPアドレス:	0.0.0.0
ソフトウェアVer:	9.0.2	サブネットマスク:	0.0.0.0
モジュール入/出力占有点数:	16 / 16 byte	システム入/出力占有点数:	160 / 160 byte
オンライン/登録リモート数:	2 / 5 台		

・モジュール情報表示

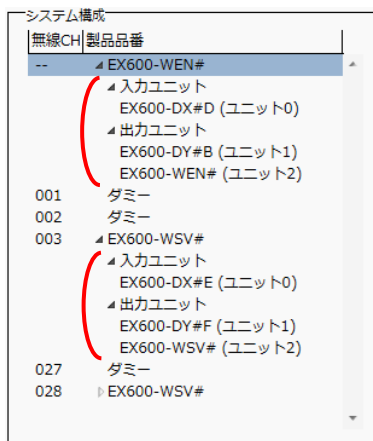
表示	内容	NFC アクセス	
		電源オン	電源オフ
製品品番	ユニットの製品品番を表示します。	可	可
PID	ユニットのPIDを表示します。	可	可
ソフトウェア Ver	ユニットのソフトウェアバージョンを表示します。	可	可
MAC アドレス	ユニットのMACアドレスを表示します。	可	可
IP アドレス	ユニットのIPアドレスを表示します。	可	不可
サブネットマスク	ユニットのサブネットマスクを表示します。	可	不可
モジュール入/出力占有点数	ユニットの制御可能入出力サイズを表示します。	可	不可
オンライン/登録リモート数	“オンライン状態のリモート台数/登録されているリモート台数”を表示します。	可	不可
システム入/出力占有点数	無線システムの入出力サイズを表示します。	可	不可

5.1.2 システム構成エリア

システム構成エリアには、無線ベース/リモートモジュールの構成情報が表示されます。

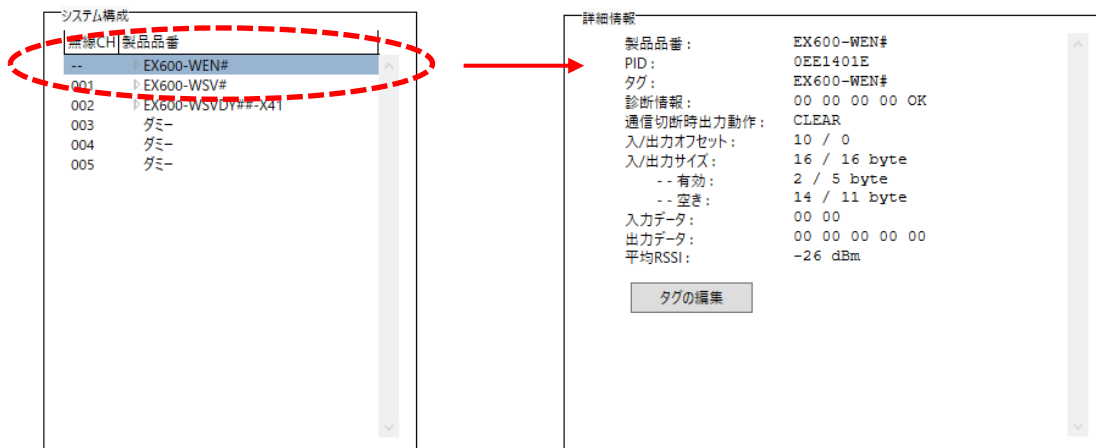


システム構成エリアに表示されている各無線ユニット（入力ユニット/出力ユニット）をダブルクリック、またはユニット名の左に表示される“▶”アイコンをクリックすることで、接続されている入出力ユニットを確認することができます。



5.1.3 詳細情報エリア

詳細情報エリアには、システム構成エリアにて選択したユニットの詳細情報が表示されます。



5.1.4 情報タブ詳細情報

5.1.4.1 無線ユニット（マニホールドタイプ）

1) 通信ユニット



・詳細情報表示（通信ユニット）

表示	内容
製品品番	無線ユニットの製品品番を表示します。
PID	無線ユニットのPIDを表示します。
タグ	無線ユニットのユーザメモを表示します。
診断情報	<p>無線ユニットの状態を4バイトの16進数の値で表示します。 ◆診断情報エラー時の表示</p> <p style="text-align: center;">*：各診断情報の詳細は、製品取扱説明書をご確認ください。</p>
通信切断時出力動作	無線ユニットの通信切断時の出力動作を表示します。
入/出力オフセット	入出力マップ上で選択中のユニットが割り付けられているアドレスの先頭位置を表示します。
入/出力サイズ	無線ユニットの制御入出力サイズを表示します。
--有効	無線ユニットで実際に使用されている入出力サイズを表示します。
--空き	無線ユニットの空いている入出力サイズを表示します。
入力データ	無線ユニットに入力されているデータを表示します。
出力データ	無線ユニットから出力されているデータを表示します。
平均 RSSI	無線ユニットの無線受信電波強度の平均値を表示します。

2) バルブ

情報		入/出力モータ		設定	
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <p>モジュール情報</p> <p>製品品番: EX600-WEN#</p> <p>PID: 0EE1401E</p> <p>ソフトウェアVer: 9.0.2</p> <p>モジュール入/出力占有点数: 16 / 16 byte</p> <p>オンライン/登録リモート数: 2 / 5 台</p> </div> <div> <p>MACアドレス: 00:23:C6:26:0B:4F</p> <p>IPアドレス: 0.0.0.0</p> <p>サブネットマスク: 0.0.0.0</p> <p>システム入/出力占有点数: 160 / 160 byte</p> </div> <div> <p>リフレッシュ</p> <p>電源オン</p> <p>R/W検出</p> </div> </div>					
<p>システム構成</p> <p>無線CH 製品品番</p> <ul style="list-style-type: none"> -- EX600-WEN# <ul style="list-style-type: none"> 入力ユニット 出力ユニット <ul style="list-style-type: none"> EX600-DY#B (ユニット0) EX600-WEN# (ユニット2) 001 EX600-WSV# 002 EX600-WSVDY#-X41 003 ダミー 004 ダミー 005 ダミー 			<p>詳細情報</p> <p>製品品番: EX600-WEN#</p> <p>ユニットNo.: 2</p> <p>診断情報: 0123 4567</p> <p>byte0 [NNNN NNNN]</p> <p>byte1 [NNNN NNNN]</p> <p>byte2 [NNNN NNNN]</p> <p>byte3 [NNNN NNNN]</p> <p>通信切断時出力動作: CLEAR</p> <p>入/出力オフセット: -- / 1</p> <p>入/出力サイズ: 0 / 4 byte</p> <p>入力データ: --</p> <p>出力データ: 00 00 00 00</p> <p>ユニット</p> <p>通信切断時出力動作-----></p> <p>設定 (ユニット) 編集</p>		

・詳細情報表示 (バルブ)

表示	内容
製品品番	無線ベース/リモートの製品品番を表示します。
ユニット No.	バルブの割付位置を表示します。選択中のデジタル入力ユニットの割付位置を表示します。 * : 割付位置に関しては、「5.3.2 設定画面エリア」の「I/O ユニット割付け方向」をご確認ください。
診断情報	<p>バルブの診断情報をビット単位で表示します。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>* : 診断内容 「N」: Normal エラー検知無し 「O」: Bit Open 負荷未接続検知 (初期状態では無効) 「S」: Bit Short 負荷出力短絡検知 「L」: Limit Over 接点動作回数上限検知 (初期状態では無効) 「P」: Power Short 負荷電源短絡検知</p>
通信切断時出力動作	バルブの通信切断時の出力動作を表示
入/出力オフセット	入出力マップ上で選択中のユニットが割り付けられているアドレスの先頭位置を表示します。
入/出力サイズ	バルブの入/出力サイズを表示します。入力サイズは 0 byte となります。
入力データ	入力ユニットのみの機能となるためバルブでは「--」と表示されます。
出力データ	バルブから出力されているデータを表示します。

5.1.4.2 IOユニット（デジタル）

デジタル入力ユニットの表示例（品番：EX600-DX※D）

情報		入/出力モニタ		設定	
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <p>モジュール情報</p> <p>製品品番: EX600-WEN#</p> <p>PID: 0EE1401E</p> <p>ソフトウェアVer: 9.0.2</p> <p>モジュール入/出力占有点数: 16 / 16 byte</p> <p>オンライン/登録リモート数: 2 / 5 台</p> </div> <div> <p>MACアドレス: 00:23:C6:26:0B:4F</p> <p>IPアドレス: 0.0.0.0</p> <p>サブネットマスク: 0.0.0.0</p> <p>システム入/出力占有点数: 160 / 160 byte</p> </div> <div> <p>リフレッシュ</p> <p>電源オン</p> <p>R/W検出</p> </div> </div>					
<p>システム構成</p> <p>無線CH 製品品番</p> <ul style="list-style-type: none"> -- EX600-WEN# <ul style="list-style-type: none"> 入力ユニット EX600-DX#D (ユニット1) 出力ユニット <ul style="list-style-type: none"> EX600-DY#B (ユニット0) EX600-WEN# (ユニット2) 001 EX600-WSV# 002 EX600-WSVDY#-X41 003 ダミー 004 ダミー 005 ダミー 			<p>詳細情報</p> <p>製品品番: EX600-DX#D</p> <p>ユニットNo.: 1</p> <p>診断情報: 0123 4567</p> <p>byte0 [NNNN NNNN]</p> <p>byte1 [NNNN NNNN]</p> <p>通信切断時出力動作: --</p> <p>入/出力オフセット: 10 / --</p> <p>入/出力サイズ: 2 / 0 byte</p> <p>入力データ: 00 00</p> <p>出力データ: --</p>		

デジタル出力ユニットの表示例（品番：EX600-DY※B）

情報		入/出力モニタ		設定	
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <p>モジュール情報</p> <p>製品品番: EX600-WEN#</p> <p>PID: 0EE1401E</p> <p>ソフトウェアVer: 9.0.2</p> <p>モジュール入/出力占有点数: 16 / 16 byte</p> <p>オンライン/登録リモート数: 2 / 5 台</p> </div> <div> <p>MACアドレス: 00:23:C6:26:0B:4F</p> <p>IPアドレス: 0.0.0.0</p> <p>サブネットマスク: 0.0.0.0</p> <p>システム入/出力占有点数: 160 / 160 byte</p> </div> <div> <p>リフレッシュ</p> <p>電源オン</p> <p>R/W検出</p> </div> </div>					
<p>システム構成</p> <p>無線CH 製品品番</p> <ul style="list-style-type: none"> -- EX600-WEN# <ul style="list-style-type: none"> 入力ユニット EX600-DX#D (ユニット1) 出力ユニット <ul style="list-style-type: none"> EX600-DY#B (ユニット0) EX600-WEN# (ユニット2) 001 EX600-WSV# 002 EX600-WSVDY#-X41 003 ダミー 004 ダミー 005 ダミー 			<p>詳細情報</p> <p>製品品番: EX600-DY#B</p> <p>ユニットNo.: 0</p> <p>診断情報: 0123 4567</p> <p>byte0 [NNNN NNNN]</p> <p>通信切断時出力動作: CLEAR</p> <p>入/出力オフセット: -- / 0</p> <p>入/出力サイズ: 0 / 1 byte</p> <p>入力データ: --</p> <p>出力データ: 00</p> <p>ユニット</p> <p>通信切断時出力動作-----></p> <p>設定 (ユニット) 編集</p>		

デジタル入出力ユニットの表示例（品番：EX600-DM※F）



・詳細情報表示（デジタルユニット）

表示	内容
製品品番	デジタルユニット（入力、出力、入出力）の製品品番を表示します。
ユニット No.	デジタルユニット（入力、出力、入出力）の割付位置を表示します。 * : 割付位置に関しては、「5.3.2 設定画面エリア」の「I/O ユニット割付け方向」をご確認ください。
診断情報	デジタルユニット（入力、出力、入出力）の診断情報をビット単位で表示します。 <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> ユニット内アドレス 例：byte1 の bit3 番目 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> 0123 4567 byte0 [NNNN NNNN] byte1 [NNNN NNNN] </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 10px;"> 診断内容 </div> </div> <p>* : 診断内容 「N」: Normal エラー検知無し 「O」: Bit Open 負荷未接続検知 (初期状態では無効) 「S」: Bit Short 負荷出力短絡検知 「L」: Limit Over 接点動作回数上限検知 (初期状態では無効) 「P」: Power Short 負荷電源短絡検知</p>
通信切断時出力動作	入力ユニットでは「--」と表示されます。 出力ユニット、入出力ユニットでは通信切断時の出力動作を表示します。
入/出力オフセット	入出力マップ上で選択中のユニットが割り付けられているアドレスの先頭位置を表示します。
入/出力サイズ	入力ユニットでは入力サイズを表示します。出力サイズは 0 byte となります。 出力ユニットでは出力サイズを表示します。入力サイズは 0 byte となります。 入出力ユニットでは入力サイズ、出力サイズをそれぞれ表示します。
入力データ	出力ユニットでは「--」と表示されます。 入力ユニット、入/出力ユニットに入力されているデータを表示します。
出力データ	入力ユニットでは「--」と表示されます。 出力ユニット、入/出力ユニットから出力されているデータを表示します。

5.1.4.3 IOユニット（アナログ）

アナログ入力ユニットの表示例（品番：EX600-AXA）

情報 入/出力モニタ 設定

モジュール情報
 製品品番: EX600-WEN# MACアドレス: 00:23:C6:26:05:4C
 PID: 0B21400A IPアドレス: 0.0.0.0
 ソフトウェアVer: 1.1.0 サブネットマスク: 0.0.0.0

モジュール入/出力占有点数: 16 / 16 byte システム入/出力占有点数: 160 / 160 byte

オンライン/登録リモート数: 2 / 5 台

リフレッシュ
電源オン
R/W抽出

状態表示:
エラー無し: (OK)
エラー有り: (エラー名)

システム構成
無線CH 製品品番
-- ▲ EX600-WEN#
 ▲ 入力ユニット
 EX600-DX#D (ユニット0)
 EX600-DM#F (ユニット2)
 EX600-AMB (ユニット3)
 EX600-AXA (ユニット5)
 ▼ 出力ユニット
001 ダミー
002 ダミー
003 ▼ EX600-WSV#
027 ダミー
028 ▼ EX600-WSV#

詳細情報
製品品番: EX600-AXA
ユニットNo.: 5
入/出力オフセット: 23 / --
入/出力サイズ: 4 / 0 byte
入力データ: CH0: 0.75 V (OK)
 CH1: 3 mA (OK)
出力データ: --

アナログ出力ユニットの表示例（品番：EX600-AYA）

情報 入/出力モニタ 設定

モジュール情報
 製品品番: EX600-WEN# MACアドレス: 00:23:C6:26:05:4C
 PID: 0B21400A IPアドレス: 0.0.0.0
 ソフトウェアVer: 1.1.0 サブネットマスク: 0.0.0.0

モジュール入/出力占有点数: 16 / 16 byte システム入/出力占有点数: 160 / 160 byte

オンライン/登録リモート数: 2 / 5 台

リフレッシュ
電源オン
R/W抽出

状態表示:
エラー無し: (OK)
エラー有り: (エラー名)

システム構成
無線CH 製品品番
-- ▲ EX600-WEN#
 ▼ 入力ユニット
 ▲ 出力ユニット
 EX600-DY#B (ユニット1)
 EX600-DM#F (ユニット2)
 EX600-AMB (ユニット3)
 EX600-AYA (ユニット4)
 EX600-WEN# (ユニット6)
001 ダミー
002 ダミー
003 ▼ EX600-WSV#
027 ダミー
028 ▼ EX600-WSV#

詳細情報
製品品番: EX600-AYA
ユニットNo.: 4
入/出力オフセット: -- / 6
入/出力サイズ: 0 / 4 byte
入力データ: --
出力データ: CH0: 0.75 V (OK)
 CH1: 0.75 V (OK)

アナログ入出力ユニットの表示例（品番：EX600-AMB）

・詳細情報表示（アナログユニット）

表示	内容
製品品番	アナログユニット（入力、出力、入出力）の製品品番を表示します。
ユニット No.	アナログユニット（入力、出力、入出力）の割付位置を表示します。 *：割付位置に関しては、「5.3.2 設定画面エリア」の「1/0 ユニット割付け方向」をご確認ください。
入/出力オフセット	入出力マップ上で選択中のユニットが割り付けられているアドレスの先頭位置を表示します。
入/出力サイズ	入力ユニットでは入力サイズを表示します。出力サイズは0 byte となります。 出力ユニットでは出力サイズを表示します。入力サイズは0 byte となります。 入出力ユニットでは入力サイズ、出力サイズをそれぞれ表示します。
入力データ	出力ユニットでは「--」と表示されます。 入力ユニット、入/出力ユニットに入力されているデータを表示します。
出力データ	入力ユニットでは「--」と表示されます。 出力ユニット、入/出力ユニットから出力されているデータを表示します。

5.2 入/出力モニタタブ

入/出力モニタタブでは、電源ステータスが「電源オン」時に無線ユニットの入/出力データをモニタすることが可能です。画面内に表示される任意のアドレス行をダブルクリックすることで診断情報や入/出力の詳細を確認できます。出力タブではユニットに強制的に出力をさせる【強制出力モード】が存在します。

5.2.1 入力タブ

無線ユニットの入力マップ情報が表示されます。

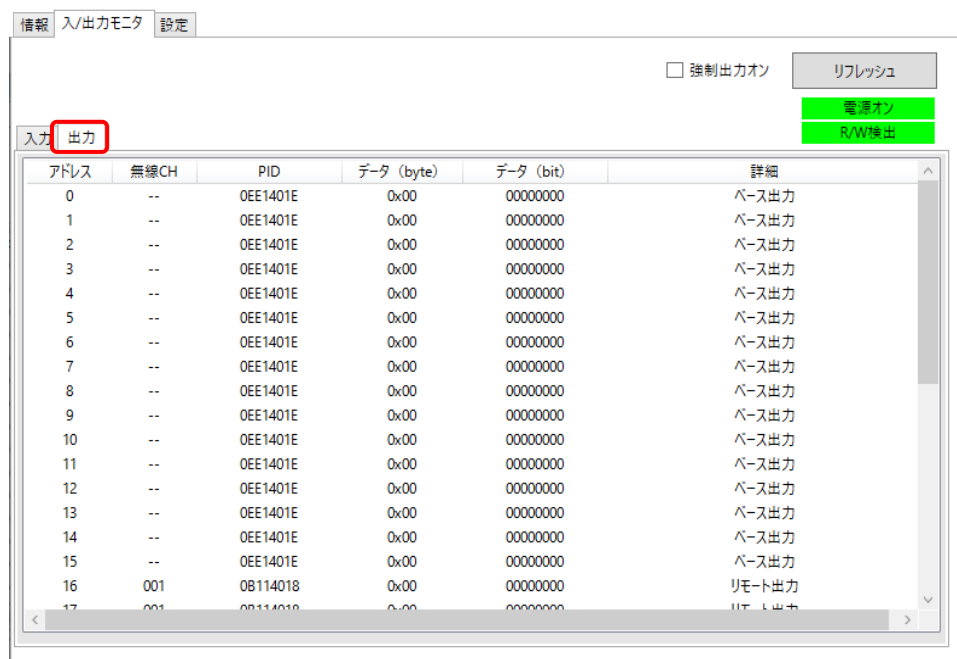
アドレス	無線CH	PID	データ (byte)	データ (bit)	詳細
0	--	0EE1401E	0x00	00000000	システム診断データ
1	--	0EE1401E	0x00	00000000	システム診断データ
2	--	0EE1401E	0x00	00000000	システム診断データ
3	--	0EE1401E	0x00	00000000	システム診断データ
4	--	0EE1401E	0x06	00000110	リモート接続情報
5	--	0EE1401E	0x00	00000000	リモート接続情報
6	--	0EE1401E	0x00	00000000	リモート診断情報
7	--	0EE1401E	0x00	00000000	リモート診断情報
8	--	0EE1401E	0x06	00000110	リモート登録情報
9	--	0EE1401E	0x00	00000000	リモート登録情報
10	--	0EE1401E	0x00	00000000	ベース入力
11	--	0EE1401E	0x00	00000000	ベース入力
12	--	0EE1401E	0x00	00000000	ベース入力
13	--	0EE1401E	0x00	00000000	ベース入力
14	--	0EE1401E	0x00	00000000	ベース入力
15	--	0EE1401E	0x00	00000000	ベース入力
16	--	0EE1401E	0x00	00000000	ベース入力
17	--	0EE1401E	0x00	00000000	ベース入力

・入力画面表示

表示	内容	表示種類
アドレス	入力マップのアドレスを表示します。	ベースユニットの場合：0~159 リモートユニットの場合：0~15
無線 CH	無線ユニットのチャンネルを表示します。 (無線ベースの無線チャンネルは「--」と表示されます。)	--, ch001~127
PID	無線ユニットのPIDを表示します。	ユニット固有値
データ (byte)	入力データを byte で表示します。	0x00~0xFF、情報なし
データ (bit)	入力データを bit で表示します。	00000000~11111111、情報なし
詳細	入力データの詳細を表示します。	ベースユニットの場合 ・システム診断データ ・リモート接続情報 ・リモート診断情報 ・リモート登録情報 ・ベース入力 ・リモート入力 ・リザーブ入力 ・接続エラー リモートユニットの場合 ・リモート入力

5.2.2 出カタブ

無線ユニットの出カマップ情報が表示されます。

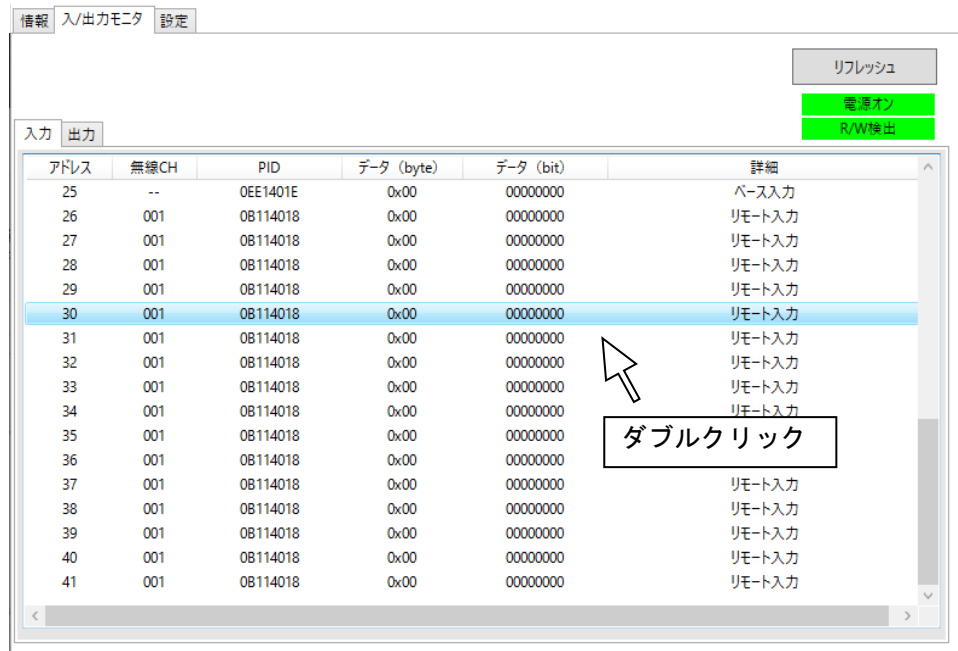


・出力画面表示

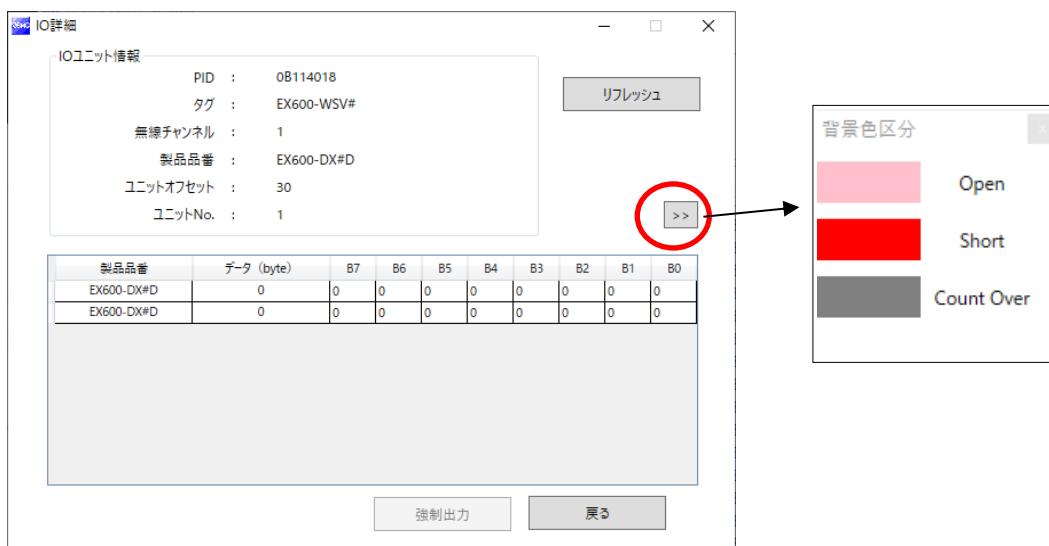
表示	内容	表示種類
強制出力オン	クリックすることで強制出力モードに切り替わります。 * : 操作に関しては、「4.4 強制出力」を参照してください。	チェック(レ)有 : 強制出力オン チェック(レ)無 : 強制出力オフ
アドレス	出カマップのアドレスを表示します。	ベースユニットの場合 ・ EX600-WEN※、EX600-WPN※ 0~159 ・ EXW1-BECAC 0~1472 ・ EXW1-BENAC1 0~1439 ・ EXW1-BPNAC1 0~1307 リモートユニットの場合 0~15
無線 CH	無線ユニットのチャンネルを表示します。 (無線ベースの無線チャンネルは「-」と表示されます。)	--, ch001~127
PID	無線ユニットのPIDを表示します。	ユニット固有値
データ (byte)	出力データをbyteで表示します。	0x00~0xFF、情報なし
データ (bit)	出力データをbitで表示します。	00000000~11111111、情報なし
詳細	出力データの詳細を表示します。	ベースユニットの場合 ・ ベース出力 ・ リモート出力 ・ リザーブ出力 ・ 接続エラー リモートユニットの場合 ・ リモート出力

5.2.3 IO 詳細




無線ユニットに接続された入/出力ユニットの任意のアドレス行をダブルクリックすることで IO 詳細画面が開きます。



IO 詳細画面では選択したユニットの IO ユニット情報や入/出力データを確認することができます。また、各ビットエラーの内容により背景色が変わります。背景色区分は[>>]をクリックすることで確認できます。



・「背景色区分」表記

背景色	表示	詳細内容
	Open	負荷未接続検知 * : 初期状態では無効になっています。有効にしたい場合は I/O コンフィグレータ (WEB 版) から行ってください。
	Short	短絡検知
	Count Over	接点動作回数上限検知 * : 初期状態は無効になっています。有効にしたい場合は I/O コンフィグレータ (WEB 版) から行ってください。

* : IO 詳細は、ユニットごとに異なります。

5.2.4 情報タブ詳細情報

5.2.4.1 無線ユニット（マニホールドタイプ（バルブ））

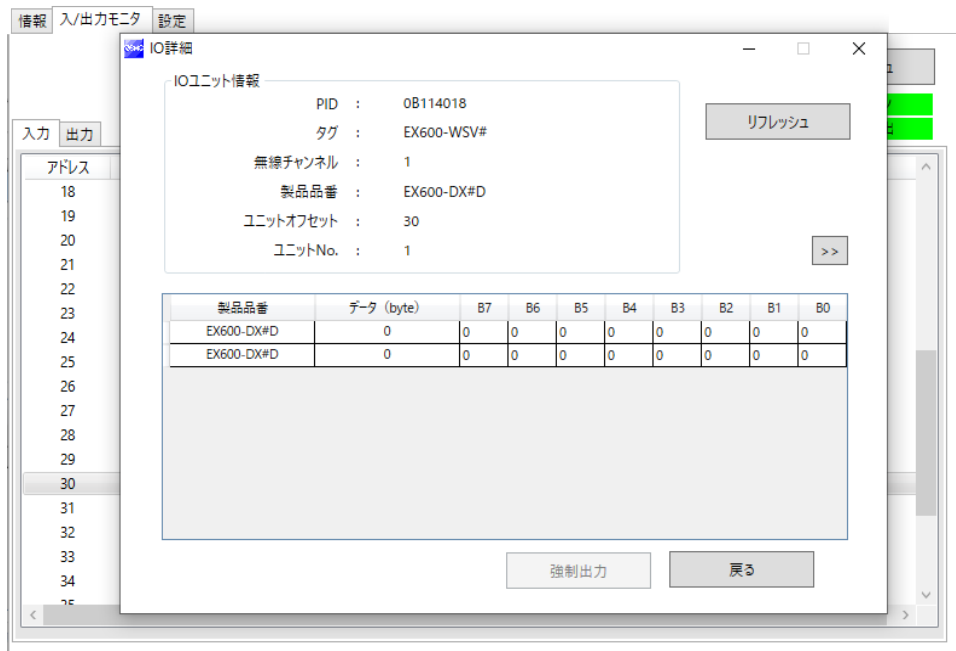


・ IO 詳細（マニホールドタイプ（バルブ））

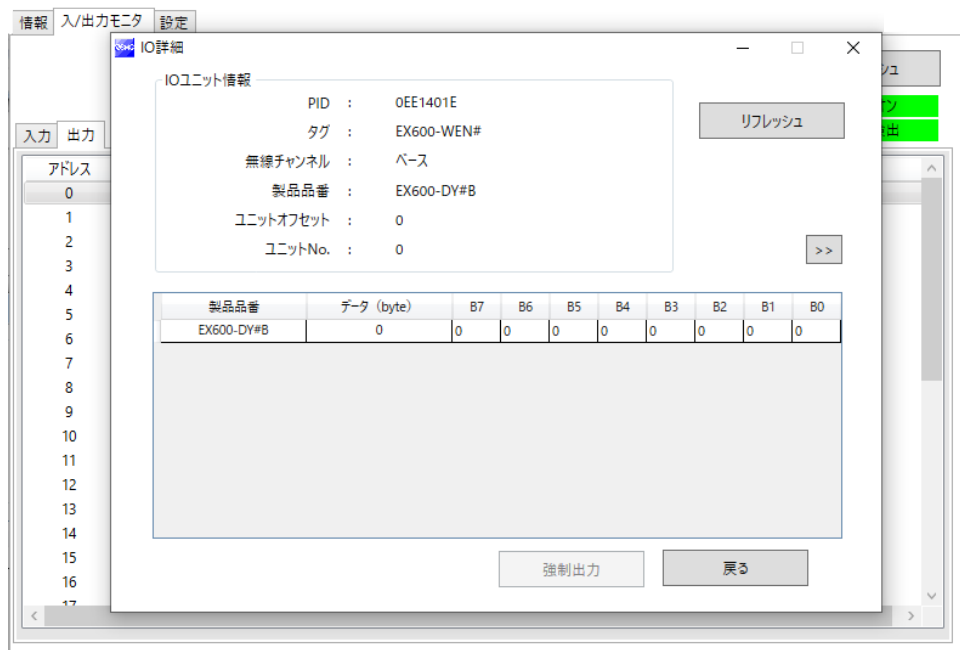
表示	内容
PID	選択中のバルブが接続された無線ベース/リモートのPIDを表示します。
タグ	選択中のバルブが接続された無線ベース/リモートのタグが表示されます。
無線チャンネル	選択中のバルブが接続された無線ベース/リモートのチャンネル名が表示されます。ベースの場合は「ベース」、リモートは「1~127」が表示されます。
製品品番	選択中のバルブが接続された無線ベース/リモートの製品品番が表示されます。
ユニットオフセット	入出力マップ上で選択中のユニットが割り付けられているアドレスの先頭位置を表示します。
ユニット No.	選択中のバルブの割付位置を表示します。 * : 割付位置に関しては、「5.3.2 設定画面エリア」の「1/0 ユニット割付け方向」をご確認ください。

5.2.4.2 IOユニット（デジタル）

デジタル入力ユニットの表示例（品番：EX600-DX※D）



デジタル出力ユニットの表示例（品番：EX600-DY※B）



デジタル入出力ユニットの表示例（品番：EX600-DM※F）



・IO ユニット情報（デジタルユニット）

表示	内容
PID	デジタルユニット（入力、出力、入出力）が接続された無線ベース/リモートのPIDを表示します。
タグ	デジタルユニット（入力、出力、入出力）が接続された無線ベース/リモートのタグが表示されます。
無線チャンネル	デジタルユニット（入力、出力、入出力）が接続された無線ベース/リモートのチャンネル名が表示されます。ベースの場合は「ベース」、リモートは「1～127」が表示されます。
製品品番	デジタルユニット（入力、出力、入出力）の製品品番が表示されます。
ユニットオフセット	入出力マップ上で選択中のユニットが割り付けられているアドレスの先頭位置を表示します。
ユニット No.	デジタルユニット（入力、出力、入出力）の割付位置を表示します。 * : 割付位置に関しては、「5.3.2 設定画面エリア」の「I/O ユニット割付け方向」をご確認ください。

5.2.4.3 IOユニット（アナログ）
アナログ入力ユニット例（品番：EX600-AXA）

IOユニット情報

IO詳細

IOユニット情報

PID : 0B21400A
 タグ : EX600-WEN#
 無線チャンネル : ベース
 製品品番 : EX600-AXA
 ユニットオフセット : 23
 ユニットNo. : 5

リフレッシュ

各チャンネルの入/出力値

CH0: 0.75 V (OK)
 CH1: 3.00 mA (OK)

状態表示:
 エラー無し : (OK)
 エラー有り : (エラー名)

強制出力 戻る

アナログ出力ユニット例（品番：EX600-AYA）

IOユニット情報

IO詳細

IOユニット情報

PID : 0B21400A
 タグ : EX600-WEN#
 無線チャンネル : ベース
 製品品番 : EX600-AYA
 ユニットオフセット : 6
 ユニットNo. : 4

リフレッシュ

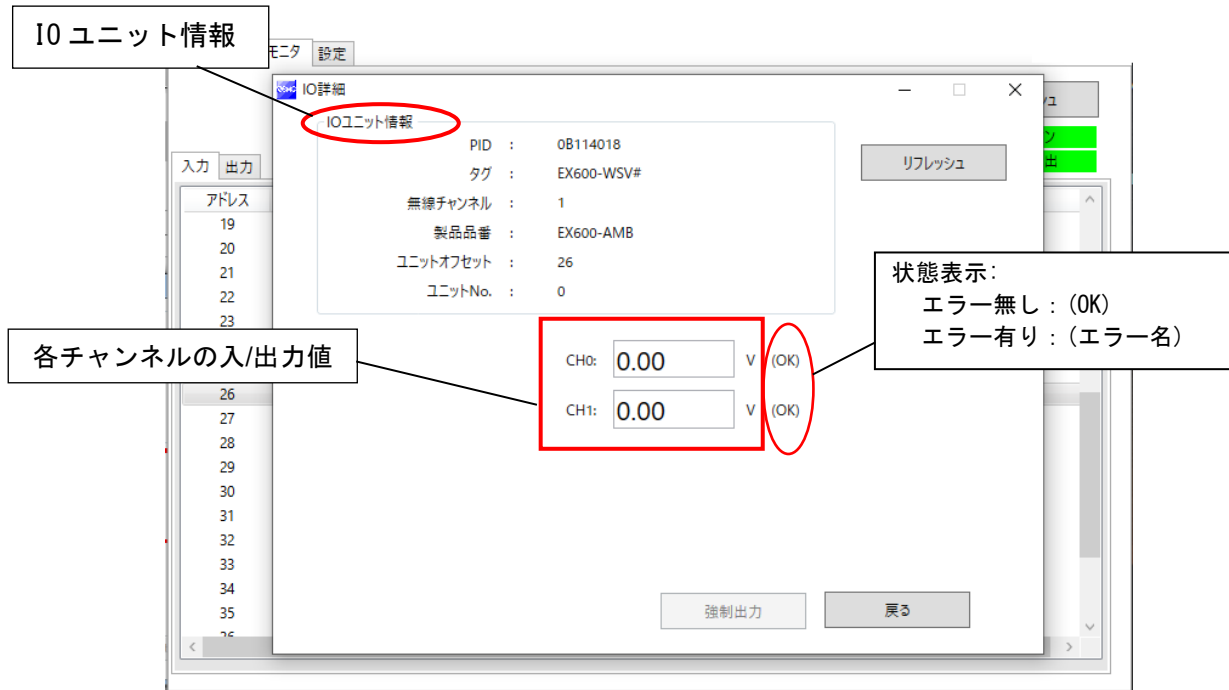
各チャンネルの入/出力値

CH0: 0.75 V (OK)
 CH1: 0.75 V (OK)

状態表示:
 エラー無し : (OK)
 エラー有り : (エラー名)

強制出力 戻る

アナログ入出力ユニット例（品番：EX600-AMB）



・ IO ユニット情報（アナログユニット）

表示	内容
PID	アナログユニット（入力、出力、入出力）が接続された無線ベース/リモートのPIDを表示します。
タグ	アナログユニット（入力、出力、入出力）が接続された無線ベース/リモートのタグが表示されます。
無線チャンネル	アナログユニット（入力、出力、入出力）が接続された無線ベース/リモートのチャンネル名が表示されます。ベースの場合は「ベース」、リモートは「1～127」が表示されます。
製品品番	アナログユニット（入力、出力、入出力）の製品品番が表示されます。
ユニットオフセット	入出力マップ上で選択中のユニットが割り付けられているアドレスの先頭位置を表示します。
ユニット No.	アナログユニット（入力、出力、入出力）の割付位置を表示します。 *：割付位置に関しては、「5.3.2 設定画面エリア」の「I/O ユニット割付け方向」をご確認ください。

・ チャンネルの状態表示（アナログ入力ユニット）

データフォーマット	アナログ表示値
Offset binary、Sign and Magnitude、 2' s Complement	±□□□ mA(電流レンジの場合)
	±□□□ V(電圧レンジの場合)
Scaled	±□□…□

・チャンネルの状態表示（アナログ出力ユニット）

データフォーマット	アナログ表示値
12-Bit-Resolution、 11-Bit-Resolution	±□□□ mA(電流レンジの場合)
	±□□□ V(電圧レンジの場合)
Scaled	±□□…□

・チャンネルの状態表示（アナログ入出力ユニット）

データフォーマット	アナログ表示値
12-Bit-Resolution、 11-Bit-Resolution	±□□□ mA(電流レンジの場合) : 入力値または出力値
	±□□□ V(電圧レンジの場合) : 入力値または出力値
Scaled	±□□…□ : 入力値または出力値

5.3 設定タブ

設定タブでは、現在接続中のユニットの設定を変更することが可能です。「設定項目エリア」と「設定画面エリア」で構成されています。

情報 入/出力モニタ 設定

設定項目:

- ベースユニット設定
- Ethernet設定
- リモートユニット登録
- システム設定

インポート設定 リセット

エクスポート設定

リフレッシュ

電源オン

R/W換出

設定項目

ベースユニット設定

通信切断時出力動作: CLEAR

モジュール入力占有点数: 128 点/16 byte

モジュール出力占有点数: 128 点/16 byte

内パルプ マニホールド 出力占有点数: 32 点/4 byte

無線通信動作: Active

保存

初期値読み出し

製品初期化

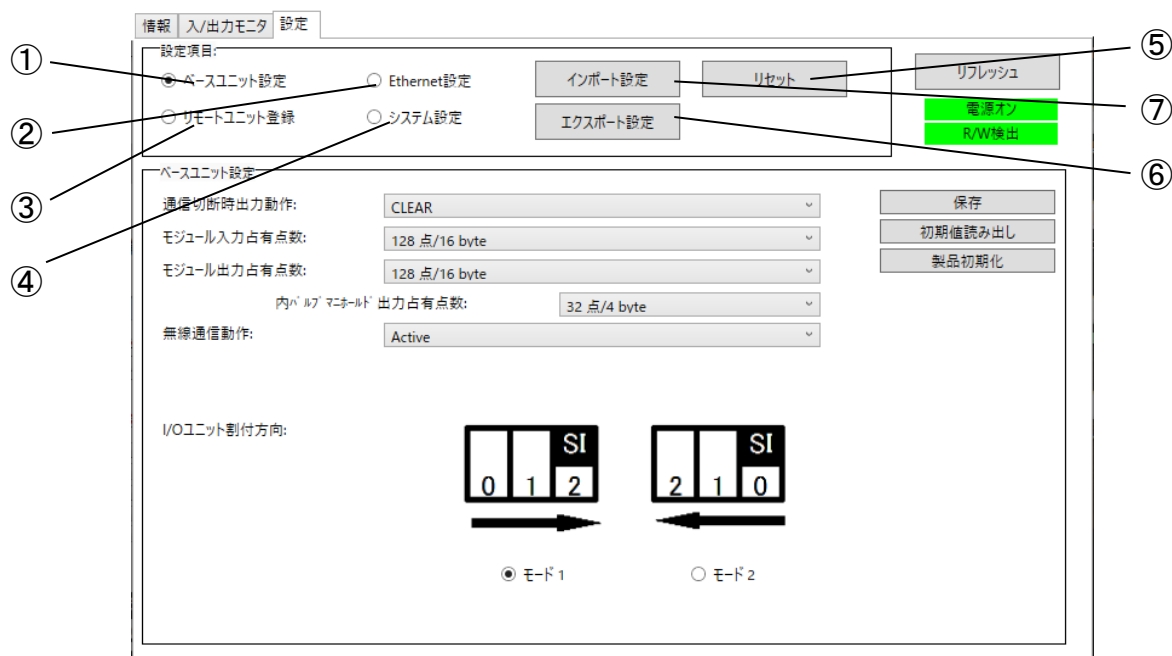
I/Oユニット割付方向:

モード1 モード2

設定画面

5.3.1 設定項目エリア

設定項目エリアは、設定画面エリアの内容を切替えるための4つのラジオボタンと、3つのボタンで構成されています。



・設定画面切替え用ラジオボタン（ベースユニットの場合）

No.	名称	機能
1	ベースユニット設定	ベースユニット設定画面に切替えます。モジュール入/出力占有点数等の設定を行えます。 EXW1 シリーズのベースユニットでは表示されません。
	OPC UA 設定	OPC UA 設定画面に切替えます。セキュリティ等の設定を行います。 OPC UA に対応したベースユニット（EXW1-BENAC1, EXW1-BPNAC1）で表示されます。
2	Ethernet 設定	Ethernet 設定画面に切替えます。IP アドレス等の設定を行います。 EtherNet/IP に対応したベースユニット（EX600-WEN※）で表示されます。
	CC-Link 設定	動作モードの設定などを行います。 CC-Link に対応したベースユニット（EXW1-BMJA※）で表示されます。
3	リモートユニット登録	リモートユニット登録画面に切替えます。無線ベースに無線リモートやダミーリモートの登録を行えます。
4	システム設定	システム設定画面に切替えます。システムの入/出力占有点数の設定等を行えます。

・設定画面切替え用ラジオボタン（リモートユニットの場合）

No.	名称	機能
1	リモートユニット設定	リモートユニット設定画面に切替えます。モジュール入/出力占有点数等の設定を行えます。
2	ペアリング設定	ペアリング設定画面に切替えます。ペアリングモードへの切替えを行います。

・設定項目ボタン

No.	名称	機能説明
5	リセット	パラメータ設定の反映は、無線ユニットの電源投入時に行われるため、電源オン状態でパラメータ設定を反映させるために[リセット]ボタンを使用します。
6	エクスポート設定	無線ユニットの設定を .smc 形式のファイルで PC にエクスポートするためのボタンです。使い方の詳細は、「3.8 設定ファイルの利用」を参照してください。
7	インポート設定	無線ユニットの設定ファイル(.smc 形式)を PC からインポートするためのボタンです。使い方の詳細は、「3.8 設定ファイルの利用」を参照してください。

* : [リセット]ボタンの使用は、無線ユニットが再起動され、Ethernet 通信や無線通信が一時的に切断されますのでご注意ください。

5.3.2 設定画面エリア

①ベースユニット設定

ベースユニット設定の画面を以下に示します。

The screenshot shows a web-based configuration interface. At the top, there are tabs for '情報', '入/出力モニタ', and '設定'. Below the tabs, there are radio buttons for 'ベースユニット設定' (selected), 'リモートユニット登録', 'Ethernet設定', and 'システム設定'. There are also buttons for 'インポート設定', 'エクスポート設定', 'リセット', 'リフレッシュ', '電源オン', and 'R/W検出'. The main content area is titled 'ベースユニット設定' and contains several dropdown menus: '通信切断時出力動作' (CLEAR), 'モジュール入力占有点数' (128 点/16 byte), 'モジュール出力占有点数' (128 点/16 byte), '内パルプ マネージド 出力占有点数' (32 点/4 byte), and '無線通信動作' (Active). At the bottom, there are two diagrams for 'I/Oユニット割付方向'. The first diagram, labeled 'モード1', shows a 3x1 grid of modules with 'SI' on the right and an arrow pointing right. The second diagram, labeled 'モード2', shows a 3x1 grid of modules with 'SI' on the right and an arrow pointing left.

・ベースユニット設定項目

パラメータ名	設定値	初期値	内容
通信切断時出力動作	CLEAR HOLD Software Control	CLEAR	フィールドバス通信が切断された場合の全ての出力動作状態の設定を定義します。 CLEAR：出力をクリア HOLD：出力を現在値で固定 Software Control：ビット単位にて CLEAR/HOLD/SET を設定可能 *：Software Control はマニホールドタイプのみ選択可能です。設定方法の詳細は、「3.7 Software Control」を参照してください。
モジュール入力占有点数	0~128 点 (0~16byte)	128 点/16byte	無線ベースユニットが制御可能な入力点数を設定します。 設定範囲：0~128 点(0~16 byte) 16 点単位で増減可能
モジュール出力占有点数	0~128 点 (0~16byte)	128 点/16byte	無線ベースユニットが制御可能な出力点数を設定します。 設定範囲：0~128 点(0~16 byte) 16 点単位で増減可能 モジュール出力占有点数にはバルブマニホールド出力占有点数が含まれます。
内バルブマニホールド出力占有点数	0~32 点 (0~4 byte)	32 点/4byte	モジュール出力占有点数にて設定した点数からバルブマニホールド出力に割り当てる出力点数を設定します。 バルブマニホールド出力占有点数はモジュール出力占有点数に含まれ、モジュール出力占有点数の設定範囲内で有効点数が制限されます。 設定範囲：0~32 点(0~4 byte) 8 点単位で増減可能
無線通信動作	Active Idle	Active	無線通信の動作状態を定義します。*無線通信動作はリアルタイム更新になります。電源の再投入やリセットは必要ありません。 Active：無線通信が接続可能状態です。 Idle：無線通信を切断します。
I/O ユニット割付方向	モード 1 モード 2	モード 1	無線ベースユニットに接続されている EX600 I/O ユニットのアドレス割付方向を定義します。 モード 1/モード 2 にてアドレスの割付方向が変更されるため入出力マップにご注意ください。 (詳細は、製品取扱説明書の「無線ベースモジュール/リモートモジュールの I/O 割付順序」(50 ページ)を参照してください。) モード 1：エンドプレート側から右方向へ割付け モード 2：無線ユニット側から左方向へ割付け

・ベースユニット設定ボタン

No.	名称	機能説明
1	保存	変更した設定を機器に保存します。設定を反映するためには続けて[リセット]を行ってください。
2	初期値読み出し	現在表示されている画面のデフォルト値を読み出すためのボタンです。使い方の詳細は、「3.9 初期値の読み出し」を確認してください。
3	製品初期化	ユニットの状態を工場出荷時に戻します。使用方法の詳細は、「3.10 製品の初期化」を確認してください。

② Ethernet 設定

Ethernet 設定画面を以下に示します。

EtherNet/IP に対応したベースユニットで表示されます。

The screenshot shows the 'Ethernet設定' (Ethernet Settings) page. At the top, there are tabs for '情報' (Info), '入/出力モニタ' (I/O Monitor), and '設定' (Settings). Under '設定', there are radio buttons for 'ベースユニット設定' (Base Unit Settings), 'Ethernet設定' (Ethernet Settings), and 'リモートユニット登録' (Remote Unit Registration). The 'Ethernet設定' option is selected and highlighted with a red box. Below this, there are buttons for 'インポート設定' (Import Settings), 'リセット' (Reset), 'エクスポート設定' (Export Settings), 'リフレッシュ' (Refresh), '電源オン' (Power On), and 'R/W換出' (R/W Exchange). The main 'Ethernet設定' section is also highlighted with a red box and contains the following fields:

- MACアドレス: (Blank)
- IPアドレス設定モード: マニュアル (Manual)
- IPアドレス: 192, 168, 0, 1
- Port-1 settings: Auto MDI/MDI-X (オート), Duplex (Full Duplex), 通信速度 (オート)
- Port-2 settings: Auto MDI/MDI-X (オート), Duplex (Full Duplex), 通信速度 (オート)

Buttons for '保存' (Save) and '初期値読み出し' (Load Defaults) are located on the right side of the Ethernet settings section.

・無線ユニット（マニホールドタイプ）(EX600-WEN※)

パラメータ名	設定値	初期値	備考
MAC アドレス	-	-	製品の MAC アドレスが表示されます。
IP アドレス設定モード	マニュアル / DHCP / Remote Control	マニュアル	IP アドレスの設定モードの選択を行います。ネットワークの環境に合わせて選択ください。 マニュアル：IP アドレス値を直接入力し、IP アドレスを設定します。 DHCP：DHCP サーバより自動で IP アドレスを設定します。取得した IP アドレスは電源を落とすと失われます。 Remote Control*1：Rockwell Automation が提供する、BOOTP/DHCP Server の Enable DHCP、Disable DHCP コマンド*2に対応するモードです。
IP アドレス	IP アドレス	192.168.0.1	IP アドレスを設定します。(マニュアルモード選択時のみ、IP アドレスが有効になります。)
Auto MDI/MDI-X	オート / MDIX / MDI	オート	ストレートケーブルとクロスケーブルの選択を行います。環境に合わせて設定してください。
Duplex	Full Duplex(全二重) / Half Duplex(半二重)	Full Duplex	Duplex の設定を行います。環境に合わせて設定してください。Speed をオートに設定した場合、Duplex の設定に関わらず自動的に Auto 設定になります。
通信速度	オート / 100 Mbps / 10 Mbps	オート	通信速度の設定を行います。環境に合わせて設定してください。

*1：ソフトウェア Ver 1.1.0 以降対応した機能です。ソフトウェア VerNo.は情報タブ（5.1 情報タブ）に表示されません。

*2：Enable DHCP：BOOTP/DHCP Server から IP アドレスなどの情報を取得することができます。この状態で電源を再投入した場合、再び IP アドレスなどの情報を取得します。

Disable DHCP：BOOTP/DHCP Server から IP アドレスなどの情報を取得しなくなります。この状態で電源を再投入した場合、以前の設定を保持することができます。

・小型無線ユニット (EXW1-BENAC1)

パラメータ名	設定値	初期値	備考
MAC アドレス	-	-	製品の MAC アドレスが表示されます。
IP アドレス設定モード	マニュアル / DHCP / Remote Control	マニュアル	IP アドレスの設定モードの選択を行います。ネットワークの環境に合わせて選択ください。 マニュアル：IP アドレス値を直接入力し、IP アドレスを設定します。 DHCP：DHCP サーバより自動で IP アドレスを設定します。取得した IP アドレスは電源を落とすと失われます。 Remote Control：Rockwell Automation が提供する、BOOTP/DHCP Server の Enable DHCP、Disable DHCP コマンド*1に対応するモードです。
IP アドレス	0.0.0.1-255.255.255.255	192.168.0.1	IP アドレスを設定します。(マニュアルモード選択時のみ、IP アドレスが有効になります。)
サブネット	0.0.0.0-255.255.255.255	255.255.255.0	サブネットを設定します。(マニュアルモード選択時のみ、IP アドレスが有効になります。)
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0-255.255.255.255	0.0.0.0	デフォルトゲートウェイを設定します。(マニュアルモード選択時のみ、IP アドレスが有効になります。)
Auto MDI/MDI-X	オート / MDIX / MDI	オート	ストレートケーブルとクロスケーブルの選択を行います。環境に合わせて設定してください。
Duplex	Full Duplex(全二重) / Half Duplex(半二重)	Full Duplex	Duplex の設定を行います。環境に合わせて設定してください。Speed をオートに設定した場合、Duplex の設定に関わらず自動的に Auto 設定になります。
通信速度	オート / 100 Mbps / 10 Mbps	オート	通信速度の設定を行います。環境に合わせて設定してください。

- *1： Enable DHCP：BOOTP/DHCP Server から IP アドレスなどの情報を取得することができます。
この状態で電源を再投入した場合、再び IP アドレスなどの情報を取得します。
Disable DHCP：BOOTP/DHCP Server から IP アドレスなどの情報を取得しなくなります。
この状態で電源を再投入した場合、以前の設定を保持することができます。

③ CC-Link 設定

CC-Link 設定画面を以下に示します。必要に応じて、
CC-Link に対応したベースユニット（EXW1-BMJA※）で表示されます。

・ CC-Link 設定項目

パラメータ名	設定値	初期値	備考
動作モード	1～8	2	CC-Link Ver、占有局数等の設定
通信速度	156k/625k/2.5M/ 5M/10Mbps	156kbps	
局番	1～64 局	0	設置状況に合わせて設定してください。

(1) 動作モード設定

CC-Link の動作モードを設定します。

設定範囲：1～8

動作モード	登録可能台数	CC-Link 設定			占有エリア	
		CC-Link Ver	拡張サイクリック	占有局数	Bit エリア RX/Ry	Word エリア RWr/RWw
1	15	1.10	1 倍	2	64/64	8/8
2	15	1.10	1 倍	4	128/128	16/16
3	15	2.00	8 倍	2	384/384	64/64
4	15	2.00	8 倍	4	896/896	128/128
5	31	2.00	8 倍	2	384/384	64/64
6	31	2.00	8 倍	4	896/896	128/128
7	63	2.00	8 倍	4	896/896	128/128
8	127	2.00	8 倍	4	896/896	128/128

* bit エリアの最終レジスタ (16bit) はシステム領域に割り当てられるため使用できません。

(2) 通信速度

CC-Link の通信速度を設定します。

設定範囲：156k/625k/2.5M/5M/10Mbps

(3) 局番設定

CC-Link 上の小型無線ベース(リモートデバイス局)に割り当てる局番を設定します。

設定範囲：1～64 局

* 動作モード(占有局数)の選定により、設定可能な範囲が異なります。

* 局番の重複を避けるため、工場出荷状態では局番0(局番エラー状態)になっています。ユニット設置状況に合わせ、局番を設定してください。

④システム設定

システム設定の画面を以下に示します。

情報 入/出力モニタ 設定

設定項目:

- ベースユニット設定
- Ethernet設定
- システム設定
- リモートユニット登録

インポート設定 リセット

エクスポート設定

リフレッシュ

電源オン

R/W検出

システム設定

I/O割付: 固定割付

システム入力点数: 1280 点/160 byte

システム出力点数: 1280 点/160 byte

診断割付: 詳細

リモート登録台数: 15 台

アナログ出力更新時間: 1s

保存

初期値読み出し

・小型無線ベース (EXW1-BMJA※)

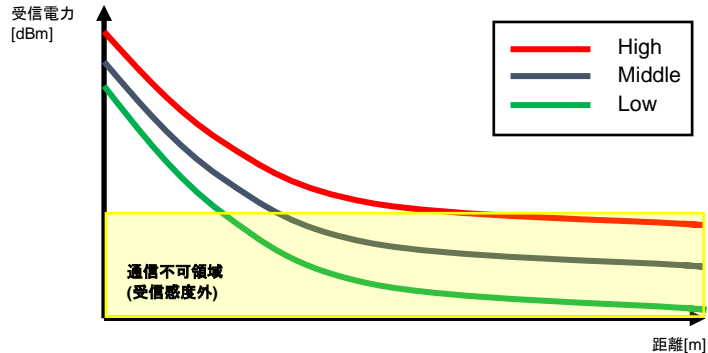
パラメータ	設定値	初期値	備考
I/O 割付	固定割付	固定割付	入出力マップの割付方法を設定します。 * : EXW1-BMJA※では「固定割付」固定です
診断割付	詳細	詳細	Word エリアに割り付ける診断情報を設定します。 設定範囲 : 詳細 詳細 (システム診断+リモート接続/診断/登録情報) * : EXW1-BMJA※では「詳細」固定です * : 詳細は製品取扱説明書の診断マップ割付を参照してください。
アナログ出力更新時間*1	0.1/0.2/0.5/1/2/5/10/30/60 s	1 s	無線リモートに接続されているアナログ出力ユニットのデータ更新時間を設定します。 * アナログ入力更新時間の設定は、無線リモートユニット毎に行います。
上位通信切断時出力動作	Clear/Hold/Individual	Clear	CC-Link 通信が切断された場合の無線システム全体の出力動作を設定します。 CLEAR : 出力をクリア HOLD : 出力を現在値で固定 Individual : 各無線リモートの設定値が有効 (無線システム全体ではありません) * EX600-WEN/WPN/WSV の【通信切断時出力動作】設定の【CLEAR】、【HOLD】は EX600-WEN/WPN/WSV に接続されているバルブ、IO ユニット (EX600-DYP※等) の出力動作設定になります。無線システム全体の出力動作ではない (EXW1-BMJA※と異なる) ことにご注意ください。
無線通信タイムアウト時間	20/40/100/200/500/1,000/2,000/5,000 msec	500 msec	プロトコルが V. 2.0 使用時のみ有効 無線通信 (リトライを含む) が障害物等の要因で成功しなかった場合、設定された時間後に通信失敗と判断し、無線通信が切断されます。その後ベースとリモートの再接続を行います。
無線通信切断時入力情報	Clear/Hold	Hold	無線通信が切断された場合の入力情報を設定します。 CLEAR : 入力をクリア HOLD : 入力を現在値で固定
無線通信動作	Active/Idle	Active	無線通信の動作状態を設定します。 Active : 無線通信出力状態 Idle : 無線通信未出力状態
プロトコル	V. 1.0/V. 2.0	V. 1.0	無線通信のプロトコルを設定します。 * EX600-W シリーズをペアリングする場合は、V. 1.0 に設定する必要があります。 EXW1 シリーズと EX600-W シリーズが混在した無線システムを構築する場合も同様です。詳細は「5.3.2 設定画面エリア」を参照してください。
時刻情報	—	未同期	製品が認識している時刻情報です。イベントログ等のタイムスタンプに使用されます。 「同期」が行われるまでは起動からの時間が表示されます。
時刻同期	—	—	パソコン上の時刻情報を製品に送信し、時刻情報を同期します。イベントログ等のタイムスタンプでパソコンの時刻情報が必要な場合は時刻同期を行ってください。

*1 : 無線リモートに接続されているアナログ入力ユニットのデータ更新時間の設定は、無線リモートユニット毎に設定する必要があります。



- ・プロトコルの初期値は V. 1.0 に設定されていますので、EXW1 シリーズのみで構成された無線システムで、無線通信速度 1Mbps、周波数チャンネル選択機能 (F.C.S.) を使用したい場合は、ペアリングする前にプロトコルを V. 2.0 に変更してください。

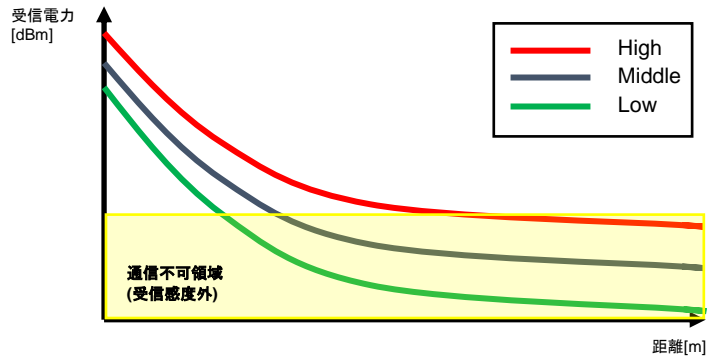
・小型無線ベース (EXW1-BECAC)

パラメータ	設定値	初期値	備考
I/O 割付	自動割付	自動割付	入出力マップの割付方法を設定します。 * : EXW1-BECAC では「自動割付」固定です。
診断割付	なし/簡易/詳細	詳細	入出力マップに割付けられる診断情報の設定を行います。詳細は、製品取扱説明書の「診断割付」(56 ページ)を参照してください。 なし : 診断データなし 簡易 : システム診断 詳細 : システム診断+無線リモート接続/診断/登録情報 * : 詳細は製品取扱説明書の診断マップ割付を参照してください。
リモート登録台数	15/31/63 台	15 台	無線ベースユニットに登録される無線リモートユニットの台数を設定します。 設定された台数分の無線チャンネルが有効となります。
無線通信タイムアウト時間	100/200/500/1,000/2,000/5,000 msec	500 msec	プロトコルが V. 2. 0 使用時のみ有効 無線通信(リトライを含む)が障害物等の要因で成功しなかった場合、設定された時間後に通信失敗と判断し、無線通信が切断されます。その後ベースとリモートの再接続を行います。
無線出力レベル	High/Middle/Low	High	プロトコルが V. 2. 0 使用時のみ有効 無線出力レベルを下げて SMC 無線機器が他の無線機器に与える影響を少なくできます。 本設定はベースおよびペアリングされた無線アダプタ接続のリモートに反映されます。 無線出力 : High > Middle > Low 下図はイメージ図になります。 
無線通信動作	Active/Idle	Active	無線通信の動作状態を設定します。 Active: 無線通信出力状態 Idle : 無線通信未出力状態
プロトコル	V. 1. 0/V. 2. 0	V. 2. 0	無線通信のプロトコルを設定します。 * EX600-W シリーズをペアリングする場合は、V. 1. 0 に設定する必要があります。 EXW1 シリーズと EX600-W シリーズが混在した無線システムを構築する場合も同様です。詳細は「5. 3. 2 設定画面エリア」を参照してください。



- ・プロトコルの初期値は V. 2. 0 に設定されていますので、EX600-W シリーズの無線リモートと合わせて使用する場合は、ペアリングする前にプロトコルを V. 1. 0 に変更してください。

・小型無線ベース (EXW1-BENAC1)

パラメータ	設定値	初期値	備考
I/O 割付	固定割付/ 自動割付	固定割付	入出力マップの割付方法を設定します。
システム入力 点数	16, 128, 256, 512, 768, 1024, 1280, 2048~11264 点 (1024 点単位)	2048 点 /256 byte	無線システム全体が制御可能な入力点数を設定します。 * : I/O 割付で「固定割付」を使用した場合に設定可能です。
システム出力 点数	2, 16, 32, 64, 96, 128, 160, 256~ 1408 バイト (128 バイト単位)	2048 点 /256 byte	無線システム全体が制御可能な出力点数を設定します。 * : I/O 割付で「固定割付」を使用した場合に設定可能です。
診断割付	なし/簡易/詳細	詳細	入出力マップに割付けられる診断情報の設定を行います。詳細は、 製品取扱説明書の「診断割付」(56 ページ)を参照してください。 なし : 診断データなし, 簡易 : システム診断, 詳細 : システム診断+無線リモート接続/診断/登録情報 * : 詳細は製品取扱説明書の診断マップ割付を参照してください。
リモート登録台 数	15/31/63/127 台	15 台	無線ベースユニットに登録される無線リモートユニットの台数を設 定します。 設定された台数分の無線チャンネルが有効となります。
無線通信タイム アウト時間	100/200/500/1,0 00/2,000/5,000 msec	500 msec	プロトコルが V. 2. 0 使用時のみ有効 無線通信(リトライを含む)が障害物等の要因で成功しなかった場 合、設定された時間後に通信失敗と判断し、無線通信が切断されま す。その後ベースとリモートの再接続を行います。
無線出力レベル	High/Middle/Low	High	プロトコルが V. 2. 0 使用時のみ有効 無線出力レベルを下げて SMC 無線機器が他の無線機器に与える影響 を少なくできます。 本設定はベースおよびペアリングされた無線アダプタ接続のリモー トに反映されます。 無線出力 : High > Middle > Low 下図はイメージ図になります。 
無線通信動作	Active/Idle	Active	無線通信の動作状態を設定します。 Active: 無線通信出力状態 Idle : 無線通信未出力状態
プロトコル	V. 1. 0/V. 2. 0	V. 2. 0	無線通信のプロトコルを設定します。 * EX600-W シリーズをペアリングする場合は、V. 1. 0 に設定する必要 があります。 EXW1 シリーズと EX600-W シリーズが混在した無線システムを構築す る場合も同様です。詳細は「5. 3. 2 設定画面エリア」を参照してくだ さい。

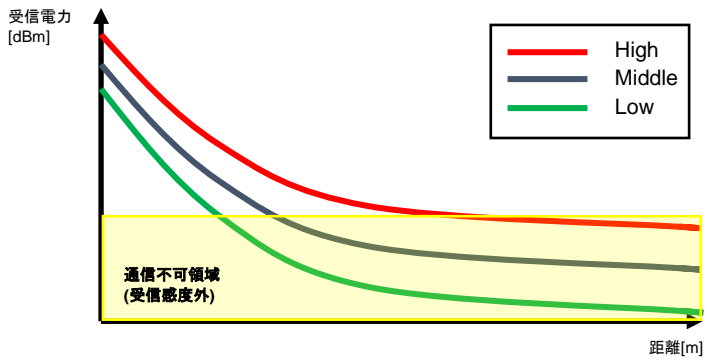
・小型無線ベース（EXW1-BENAC1）（つづき）

パラメータ	設定値	初期値	備考
時刻情報	—	未同期	製品が認識している時刻情報です。イベントログ等のタイムスタンプに使用されます。 「同期」が行われるまでは起動からの時間が表示されます。
時刻同期	—	—	パソコン上の時刻情報を製品に送信し、時刻情報を同期します。イベントログ等のタイムスタンプでパソコンの時刻情報が必要な場合は時刻同期を行ってください。



- ・プロトコルの初期値は V. 2. 0 に設定されていますので、EX600-W シリーズの無線リモートと組合せて使用する場合は、ペアリングする前にプロトコルを V. 1. 0 に変更してください。

・小型無線ベース (EXW1-BPNAC1)

パラメータ	設定値	初期値	備考
I/O 割付	自動割付	自動割付	入出力マップの割付方法を設定します。 * : EXW1-BPNAC1 では「自動割付」固定です。
診断割付	なし/簡易/詳細	詳細	入出力マップに割付けられる診断情報の設定を行います。詳細は、製品取扱説明書の「診断割付」(56 ページ)を参照してください。 なし : 診断データなし, 簡易 : システム診断, 詳細 : システム診断+無線リモート接続/診断/登録情報 * : 詳細は製品取扱説明書の診断マップ割付を参照してください。
リモート登録台数	15/31/63 台	15 台	無線ベースユニットに登録される無線リモートユニットの台数を設定します。 設定された台数分の無線チャンネルが有効となります。
無線通信タイムアウト時間	100/200/500/1,000/2,000/5,000 msec	500 msec	プロトコルが V. 2.0 使用時のみ有効 無線通信(リトライを含む)が障害物等の要因で成功しなかった場合、設定された時間後に通信失敗と判断し、無線通信が切断されます。その後ベースとリモートの再接続を行います。
無線出力レベル	High/Middle/Low	High	プロトコルが V. 2.0 使用時のみ有効 無線出力レベルを下げて SMC 無線機器が他の無線機器に与える影響を少なくできます。 本設定はベースおよびペアリングされた無線アダプタ接続のリモートに反映されます。 無線出力 : High > Middle > Low 下図はイメージ図になります。 
無線通信動作	Active/Idle	Active	無線通信の動作状態を設定します。 Active : 無線通信出力状態 Idle : 無線通信未出力状態
プロトコル	V. 1.0/V. 2.0	V. 2.0	無線通信のプロトコルを設定します。 * EX600-W シリーズをペアリングする場合は、V. 1.0 に設定する必要があります。 EXW1 シリーズと EX600-W シリーズが混在した無線システムを構築する場合も同様です。詳細は「5.3.2 設定画面エリア」を参照してください。
時刻情報	—	未同期	製品が認識している時刻情報です。イベントログ等のタイムスタンプに使用されます。 「同期」が行われるまでは起動からの時間が表示されます。
時刻同期	—	—	パソコン上の時刻情報を製品に送信し、時刻情報を同期します。イベントログ等のタイムスタンプでパソコンの時刻情報が必要な場合は時刻同期を行ってください。



- ・プロトコルの初期値は V. 2.0 に設定されていますので、EX600-W シリーズの無線リモートと組合せて使用する場合は、ペアリングする前にプロトコルを V. 1.0 に変更してください。

・無線ユニット（マニホールタイプ）（EX600-WEN※ / EX600-WPN※など）

パラメータ	設定値	初期値	備考
I/O 割付	固定割付/自動割付	固定割付 (EX600-WEN※) 自動割付 (EX600-WPN※、固定)	I/O 割付は無線ベースユニットに登録されている無線リモートユニットを含めた無線システム全体の I/O 点数の割付を定義します。 自動割付：無線ベースユニットおよび無線リモートユニットに割付けられた全ての I/O 点数を自動で認識し、割付を行います。 (接続された I/O 点数の合計は診断情報、無線ベースおよび登録した無線リモートユニットで設定した I/O 占有点数の合計値となります。) 固定割付：システム入力点数、システム出力点数で設定された I/O 点数に固定されます。 *：EX600-WPN※では「自動割付」固定です
システム入力点数	16, 128~1280 点 (2 byte~160 byte) 128 点 (16 byte) 単位	1280 点/160 byte	無線システム全体が制御可能な入力点数を設定します。 *：I/O 割付で「固定割付」を使用した場合に設定可能です。 *：EX600-WPN※では設定できません。
システム出力点数	16, 128~1280 点 (2 byte~160 byte) 128 点 (16 byte) 単位	1280 点/160 byte	無線システム全体が制御可能な出力点数を設定します。 *：I/O 割付で「固定割付」を使用した場合に設定可能です。 *：EX600-WPN※では設定できません。
診断割付	なし/簡易/詳細	詳細	入出力マップに割付けられる診断情報の設定を行います。詳細は、製品取扱説明書の「診断割付」(56 ページ)を参照してください。 なし：診断データなし 簡易：システム診断 詳細：システム診断+無線リモート接続/診断/登録情報
リモート登録台数	0/15/31/63/127 台 (EX600-WEN※) 0/15/31 台 (EX600-WPN※)	15 台	無線ベースユニットに登録される無線リモートユニットの台数を設定します。 設定された台数分の無線チャンネルが有効となります。
アナログ出力更新時間*1	0.1/0.2/0.5/1/2/5/10/30/60 s	1 s	無線リモートに接続されているアナログ出力ユニットのデータ更新時間を設定します。 *：アナログ入力更新時間の設定は、無線リモートユニット毎に行います。「3.3 リモートユニット設定」を参照してください。 <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;"> <p>入力レベル</p> <p>出力レベル</p> </div> </div>

●プロトコルの設定

無線通信のプロトコルは、下記をご参照ください。

EXW1 シリーズと EX600-W シリーズをペアリングする場合は、V.1.0 に設定する必要があります。
EXW1 シリーズと EX600-W シリーズが混在した無線システムを構築する場合も同様です。

- ・ V.1.0 : EX600-W シリーズと同一の無線通信方式となり、【周波数チャンネル選択機能 (F.C.S.)】は使用できません。無線通信速度は 250kbps となります。
- ・ V.2.0 : EXW1 シリーズのみで構成された無線システムに適用できます。
【上位通信切断時出力動作 Individual 設定】、【周波数チャンネル選択機能 (F.C.S.)】が使用できません。無線通信速度は 1Mbps となります。

下表に組合せを記載しますので、ご確認ください。

組合せ*4		対応機能			
無線ベース	無線リモート	通信距離	プロトコル	周波数チャンネル 選択機能(F.C.S.)	WEB 機能
EXW1	EXW1	最大 100m	V.1.0/V.2.0	○*1	-
EXW1	EXW1+EX600	*2	V.1.0	×	-
EXW1	EX600	最大 10m	V.1.0	×	-
EX600	EXW1	最大 10m	V.1.0	×	○*3
EX600	EXW1+EX600	最大 10m	V.1.0	×	○*3
EX600	EX600	最大 10m	V.1.0	×	○

*1 : プロトコル V.2.0 で使用可能です。

*2 : EXW1 シリーズ間は最大 100m、EXW1 シリーズ-EX600-W シリーズ間は最大 10m になります。

*3 : EX600-WEN/WPN — EXW1-R※間では、設定/モニタ機能に制限があります。

*4 : EX600-W シリーズの組合せは、ご使用製品の取扱説明書を確認ください。



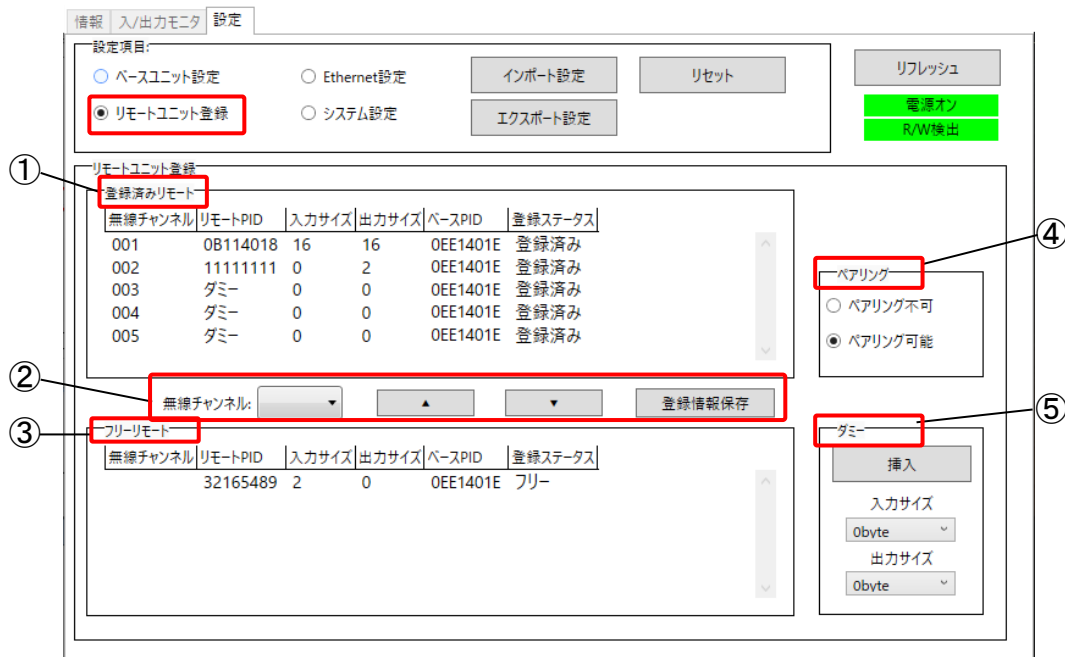
・ **EXW1 シリーズの無線ベースユニットにリモートが登録されていないときのみプロトコルの変更が可能です。**

リモートが登録されている場合は、登録されたリモートを全て登録解除した後に変更をお願いします。

⑤リモートユニット登録

本無線システムでは、他のネットワークの製品と混信せずに通信を確立するために製品ごとに割り振られているPIDをお互いに登録する作業が必要となります。リモートユニット登録画面は「登録済みリモート」、「リモート登録用ボタン」、「フリーリモート」、「ペアリング」、「ダミーリモート」の5項目から構成されます。

*：リモートの登録を行うには電源を投入した状態で行う必要があります。登録手順に関しては、「3.5 ペアリング」を参照してください。



⑤-1 登録済みリモート

登録済みリモートの表示内容と詳細を以下に示します。

無線チャンネル	リモートPID	入力サイズ	出力サイズ	ベースPID	登録ステータス
002	11111111	0	2	0EE1401E	登録済み
004	ダミー	0	0	0EE1401E	登録済み
005	ダミー	0	0	0EE1401E	登録済み
010	32165489	2	0	0EE1401E	登録待ち
011	DDDDDDI	2	2	0EE1401E	登録失敗

・登録済みリモート表示

表示	内容
無線チャンネル	無線リモートが登録された無線ベースのチャンネルを表示します。
リモートPID	無線リモートのPIDを表示します。
入力サイズ	無線リモートの入力サイズを表示します。
出力サイズ	無線リモートの出力サイズを表示します。
ベースPID	登録された無線ベースのPIDを表示します。
登録ステータス	現在の登録状況を表示 (登録情報保存済み⇒「登録済み」、登録情報未保存⇒「登録待ち」、登録失敗⇒「登録失敗」) *：登録が失敗した場合は「登録失敗」と表示されます。もう一度登録作業を行ってください。

⑤-2 リモート登録用ボタン

リモート登録用ボタンはペアリング可能状態でのみ有効となります。

無線チャンネル:

・リモート登録用ボタン表示

表示	内容
無線チャンネル	無線ベースに登録したいチャンネルを選択します。 (登録可能なチャンネルのみ表示されます。)
[▲]	無線リモートを「フリーリモート」から「登録済みリモート」に移動するためのボタンです。 (移動する前に上記無線チャンネルを指定してください。)
[▼]	無線リモートを「登録済みリモート」から外すためのボタンです。 (外した無線リモートは「フリーリモート」に表示されます。)
登録情報保存	「登録待ち」状態のリモートを無線ベースに登録するためのボタンです。 (保存が成功すると「登録済み」表示になります。)

⑤-3 フリーリモート

フリーリモート欄には、ペアリングモード中のリモートユニットでベースに未登録のノードがリスト表示されます。

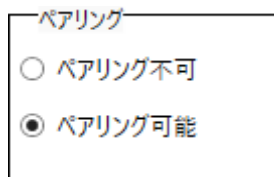
フリーリモート					
無線チャンネル	リモートPID	入力サイズ	出力サイズ	ベースPID	登録ステータス
32165489	2	0	0EE1401E	フリー	

・フリーリモート表示

表示	内容
無線チャンネル	表示される情報はありません。
リモートPID	無線リモートのPIDを表示をします。
入力サイズ	無線リモートの入力サイズを表示をします。
出力サイズ	無線リモートの出力サイズを表示をします。
ベースPID	前回登録されていたベースのPIDを表示をします。
登録ステータス	ステータス「フリー」を表示をします。

④ -4 ペアリング

ペアリングラジオボタンは管理者モード時のみ設定可能となります。電源オフ時でも設定が可能です。



・ペアリングラジオボタン表示

項目	内容
ペアリング不可	非ペアリングモードへの変更ボタンです。また、非ペアリングモード状態にあることを表します。
ペアリング可能	ペアリングモードへの変更ボタンです。また、ペアリングモード状態にあることを表します。

⑤-5 ダミーリモート

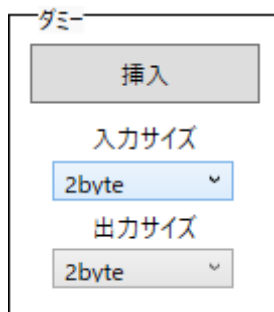
ダミーリモートでは、無線リモートを登録せずに入出力マップ内に登録用の領域確保のみを行えます。システム構築後でもダミーリモートが登録されているエリアに無線リモートユニットを登録することで入出力マップを変更せずに無線リモートユニットが追加可能です。

無線リモートユニットの入出力マップへの割付順序は、無線リモートユニット登録時に設定した無線チャンネルによって登録済みのチャンネルから番号が小さい順に上詰めされます。

その際、無線リモートユニットが登録されていない無線チャンネルは無視されます。

新たに無線リモートユニットの追加を行う場合、無線チャンネルの番号によっては入出力マップの変更が必要となる場合があります。

ダミーリモートの登録は無線ベースユニットのみで可能です。



・ダミーリモートラジオボタン表示

項目	内容
挿入	ダミーリモートを「登録済みリモート」に移動させるためのボタンです。
入力サイズ	ダミーリモートの入力サイズ(0~16byte)を設定します。
出力サイズ	ダミーリモートの出力サイズ(0~16byte)を設定します。

* : ダミーリモートの詳細と登録方法に関しては、「3.6 ダミーリモート」を参照してください。



- ・ダミーリモートの登録はあらかじめ入力/出力点数を設定する必要があります。設定した入力/出力点数と異なる点数を持つ無線リモートユニットを登録した場合、入出力マップの変更が必要となりますのでご注意ください。

⑤-6 FCS 設定 (F. C. S. : Frequency Channel Select)

使用する周波数チャンネルを選択する機能です。プロトコル V. 2. 0 のみ対応となります。システム設定にてプロトコルを V. 2. 0 に設定してください。

配下となるリモートとの通信でプロトコルが混在している場合は、FCS 設定を利用することはできません。FCS 設定を利用するベースには、プロトコル V.2.0 に対応したリモートユニットのみをペアリング登録してください。

* 選択できる周波数チャンネル数は使用国で異なります。詳細は製品取扱説明書をご確認ください。

* 選択しなければデフォルト 79ch で通信を行います。

設定タブのリモートユニット登録画面から、下記手順に従い設定してください。

- (1) 「ペアリング」を [ペアリング不可] に設定します。
ペアリング設定の詳細につきましては、「3.5 ペアリング」を参照してください。
- (2) [FCS 設定] をクリックします。

情報 | 入/出力モニタ | **設定** | イベント | 無線

設定項目:

- CC-Link設定
- リモートユニット登録
- システム設定

インポート設定 | リセット | リフレッシュ

電源オン | R/W検出

リモートユニット登録

登録済みリモート

無線チャンネル	リモートPID	入力サイズ	出力サイズ	ベースPID	登録ステータス	タグ
001	32165489	2	0	13224002	登録済み	EXW1-RDXNE4AE

無線チャンネル: [] [▲] [▼] 登録情報保存

フリーリモート

無線チャンネル	リモートPID	入力サイズ	出力サイズ	ベースPID	登録ステータス	タグ
---------	---------	-------	-------	--------	---------	----

ペアリング

- ペアリング不可
- ペアリング可能

(2) FCS設定

タミー

挿入

入力サイズ

0byte

出力サイズ

0byte

Frequency Channel Select Window が表示されます。



No.	表示	内容
(1)	Read ボタン	現在の設定内容を表示します。
(2)	W-LAN Channel 表示	W-LAN の Channel に対応した周波数を一括で選択できます。 ※上記例の場合 W-LAN Channel : CH. 10 が選択されています。
(3)	W-CH 表示	周波数を 1 チャンネル毎に選択できます。 ※上記例の場合 2419、2426～2428、2446～2468[MHz]が使用しないチャンネルになります。 なお、2446～2468[MHz]は上記(1)の W-LAN Channel : CH.10 に相当します。
(4)	Clear ボタン	デフォルト値(79 個のチャンネルを使用)を表示します。
(5)	Apply ボタン	表示内容を設定に反映します。

・表示色について

色	内容	備考
緑	選択した W-LAN チャンネル (W-LAN Channel 領域) 有効な周波数チャンネル (W-CH 領域)	
黄	アダプタイズチャンネル	無効な周波数チャンネルに設定不可
灰	無効な周波数チャンネル	



- ・W-LAN Channel 選択時、CH 内にアダプタイズチャンネルが含まれる場合、選択できません。選択する場合、製品を初期化または登録リモートを全て削除し、F. C. S. を設定後にペアリングを行ってください。
- ・周波数チャンネル数を 5～7 で使用する場合、隣り合う周波数を 3MHz あける必要があります。
- ・周波数チャンネル数を 8～14 で使用する場合、隣り合う周波数を 2MHz あける必要があります。
- ・周波数チャンネル数を 15 以上で使用する場合、隣り合う周波数を選択できます。

⑥リモートユニット設定

必要に応じて、リモートユニットのパラメータを変更できます。

情報 入/出力モニタ 設定

設定項目:

リモートユニット設定 インポート設定 リセット

ペアリング設定 エクスポート設定

リフレッシュ

電源オン

R/W検出

リモートユニット設定

通信切断時出力動作: CLEAR

モジュール入力占有点数: 128 点/16 byte

モジュール出力占有点数: 128 点/16 byte

内パルブ マニホールド 出力占有点数: 32 点/4 byte

無線通信動作: Active

アナログ入力更新時間: 1s

保存

初期値読み出し

製品初期化

I/Oユニット割付方向:

モード1 モード2

・リモート設定項目

小型無線ユニット (EXW1-RDXNE4※※/ EXW1-RDYNE4※※/ EXW1-RDM※E3※※など)

パラメータ	設定値	初期値	備考
モジュール入力占有点数*	16点(16bit)	16点(16bit)	固定 EXW1-RD※は16点(16bit)固定となります。 *EXW1-RDM※の入力占有点数は16点(16bit)固定ですが、下位8bitのみ使用可能となります。
モジュール出力占有点数*	16点(16bit)	16点(16bit)	固定 EXW1-RD※は16点(16bit)固定となります。 *EXW1-RDM※の出力占有点数は16点(16bit)固定ですが、下位8bitのみ使用可能となります。
無線通信動作	Active/Idle	Active	Idleに設定した場合、無線通信が切断されます。
US1(制御・入力用)電源電圧低下検出	Enable/Disable	Enable	Enableに設定した場合、US1(制御・入力用)電源電圧の低下を検出できます。
US2(出力用)電源電圧低下検知	Enable/Disable	Disable	EXW1-RDY※ EXW1-RDM※のみ Enableに設定した場合、US2(出力用)電源電圧の低下を検出できます。
上位通信切断時出力動作	Clear/Hold	Clear	フィールドバス通信が切断された場合の出力動作を設定します。 CLEAR: 出力をクリア HOLD: 出力を現在値で固定 Individual: 各出力の設定が可能 CLEAR、HOLD、SET: 出力ON
無線通信切断時出力動作	Clear/Hold	Hold	無線通信が切断された場合の出力動作を設定します。 CLEAR: リモート全出力をクリア HOLD: リモート全出力を現在値で固定

無線ユニット（マニホールドタイプ）（EX600-WSV※）

パラメータ	設定値	初期値	備考
通信切断時出力動作	CLEAR/HOLD/Software Control	CLEAR	フィールドバス通信が切断された場合の全ての出力動作状態の設定を定義します。 CLEAR：出力をクリア HOLD：出力を現在値で固定 Software Control：ビット単位にて CLEAR/HOLD/SET を設定可能 *：Software Control はマニホールドタイプのみ選択可能です。 設定方法の詳細は、「3.7 Software Control」を参照してください。
モジュール入力占有点数	0~128点(0~16byte)16点単位	128点/16byte	無線リモートユニットが制御可能な入力点数を設定します。
モジュール出力占有点数	0~128点(0~16byte)16点単位	128点/16byte	無線リモートユニットが制御可能な出力点数を設定します。 モジュール出力占有点数にはバルブマニホールド出力占有点数が含まれます。
内バルブマニホールド出力占有点数	0~32点(0~4byte)8点単位	32点/4byte	モジュール出力占有点数にて設定した点数からバルブマニホールド出力に割り当てる出力点数を設定します。 バルブマニホールド出力占有点数はモジュール出力占有点数に含まれ、モジュール出力占有点数の設定範囲内で有効点数が制限されます。
無線通信動作	Active/Idle	Active	無線通信の動作状態を定義します。 Active：無線通信が接続可能状態です。 Idle：無線通信を切断します
アナログ入力更新時間	0.1/0.2/0.5/1/2/5/10/30/60s(初期値1s)	1s	無線リモートに接続されているアナログ入力ユニットのデータ更新時間を設定します。 アナログ入力の更新時間の設定は、無線リモートユニット毎に行います。
I/Oユニット割付方向	モード1 / モード2	モード1	無線ベースユニットに接続されているEX600 I/Oユニットのアドレス割付方向を定義します。 モード1/モード2にてアドレスの割付方向が変更されるため入出力マップにご注意ください。 (詳細は、製品取扱説明書の「無線ベースモジュール/リモートモジュールのI/O割付順序」(50ページ)を参照してください。) モード1：エンドプレート側から右方向へ割付け モード2：無線ユニット側から左方向へ割付け

⑦ペアリング設定

無線ベースユニットと無線リモートユニット間で無線通信を行うための設定ができます。
無線リモートを無線ベースに登録するためには動作モードをペアリングに変更する必要があります。

The screenshot shows a web interface for device settings. At the top, there are tabs for '情報' (Info), '入/出力モニタ' (Input/Output Monitor), and '設定' (Settings). Below the tabs, there are sections for '設定項目' (Setting Items) and 'ペアリング設定' (Pairing Settings). In the '設定項目' section, 'リモートユニット設定' (Remote Unit Settings) and 'ペアリング設定' (Pairing Settings) are listed. The 'ペアリング設定' section contains a red-bordered box with the following options:

- ペアリング
- ペアリング不可
- ペアリング可能

・ペアリングモード切換え用ラジオボタン

項目	内容
ペアリング不可	非ペアリングモードへの変更ボタンです。また、非ペアリングモード状態にあることを表します。
ペアリング可能	ペアリングモードへの移行ボタンです。また、ペアリングモード状態にあることを表します。

5.4 イベントタブ

無線ベースのイベント情報（エラーなど）が確認できます。

無線

BASE CLEAR EXPORT リフレッシュ

電源オン
R/W検出

タグ: EXW1-BMJABE

Timestamp	Unit	Channel	Error Code
0days 00:00:00	0	0	76
0days 00:00:00	0	0	76
0days 00:00:00	0	0	76
0days 00:00:00	0	0	76
0days 00:06:24	0	0	16
0days 00:00:00	0	0	76
0days 00:00:00	0	0	76
0days 00:00:00	0	0	76
0days 00:00:00	0	0	16
0days 00:00:00	0	0	76
0days 00:00:00	0	0	76

・ イベントタブ表示

No.	表示	内容
(1)	機種選択	無線ベースに登録されたリモートを選択します。
(2)	イベントデータのクリア	保存したイベントデータを削除します
(3)	イベントデータ取出し	イベントデータをテキストファイルで取出すことができます。
(4)	Time stamp	<p>イベントを取得した時刻を表示します。プロトコル V. 2.0 のみ時刻同期した時間が表示されます。</p> <p>* 時刻同期をしていない場合、製品に電源を投入してからの経過時間が表示されます。</p> <p>< EXW1-BMJA# ></p> <p>* 設定タブのシステム設定で時刻同期をする必要があります。</p> <p>< EXW1-BECAC ></p> <p>* EtherCAT のディストリビュート・クロック機能 (Distributed Clocks) で時刻同期をする必要があります。</p> <p>< EXW1-BENAC1 / EXW1-BPNAC1 ></p> <p>* OPC UA のディスカバリーサーバー (Discovery Server) または設定タブのシステム設定で時刻同期をする必要があります。</p>
(5)	Unit	ユニット No. を表示します。
(6)	Channel	無線リモートのチャンネル No. を表示します。
(7)	Error Code	エラーコードを表示します。

●エラーコード

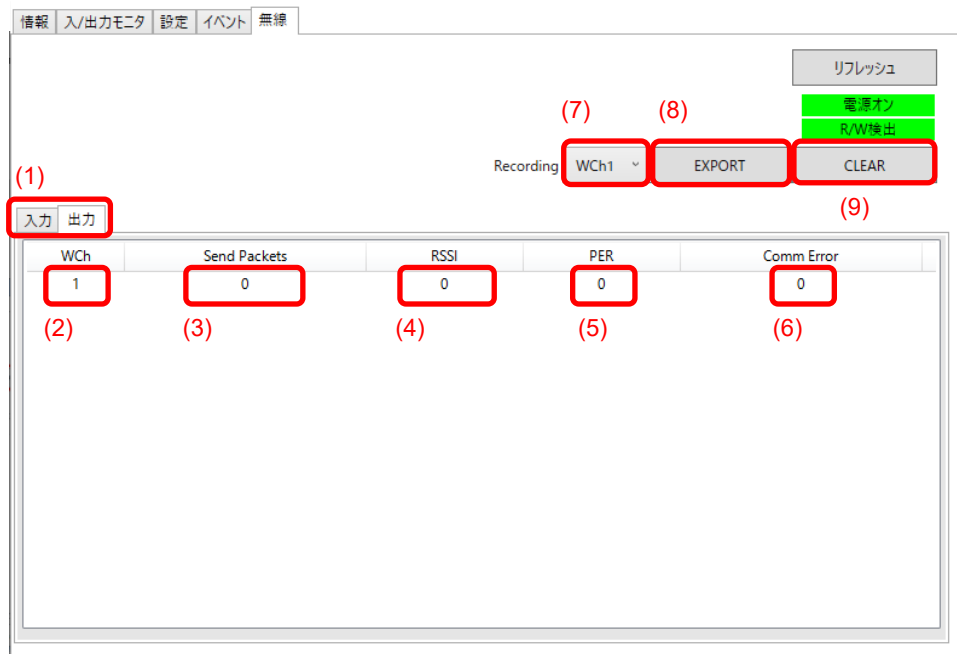
エラーコードに対する内容と診断マップを以下に示します。

Error Code	内容	診断マップ		
		項目	Bit No.	
			EXW1-BMJ	EXW1-BMJ 以外
1	US1 または US2 短絡検知	システム診断 1	6 または 7	
2	レンジ上限検知		3	
3	レンジ下限検知		2	
6	負荷未接続検知		5	
7	ユーザ設定上限検知		1	
8	ユーザ設定下限検知		0	
9	ON/OFF 回数上限検知		4	
16	US1 の電源電圧低下検出		9	1
17	US2 の電源電圧低下検出		8	0
19	ユニット間の接続異常(稼働時)	11	3	
20	ユニット間の接続異常(電源投入時)	12	4	
22	システム異常検知(電源投入時)	14	6	
23	ハードウェア異常検知(稼働時)	15	7	
64	入出力点数設定エラー	システム診断 3	0	
67	無線アダプタ間内部通信異常		3	
70	システム異常検知		6	
71	ハードウェア異常検知		7	
72	システム入出力点数設定エラー	システム診断 4	8	0
73	リモート登録台数設定エラー (無線チャンネル設定範囲外)		9	1
76	ネットワーク設定エラー		12	-
78	無線登録データ破壊		14	6
79	無線用ハードウェア異常検知		15	7
80	I0-Link デバイスエラー検知	診断マップには反映されません		
81	I0-Link デバイス警告検知			
82	I0-Link マスタエラー検知			
83	I0-Link マスタ警告検知			
84	Configuration Assembly エラー			

* 診断マップの詳細については、製品の取扱説明書の“診断マップ詳細”を参照してください。

5.5 無線タブ

無線ログデータが表示されます。



・無線タブ表示

No.	表示	内容
(1)	入力/出力タブ	無線ベースの受信データを入力タブ、送信データを出力タブに表示します。
(2)	WCh	無線チャンネルを表示します。
(3)	Send Packets / Received Packets	送信/受信パケット数を表示します。
(4)	RSSI (Received Signal Strength Indicator)	受信電波強度を表示します。
(5)	PER (Packets Error Rate)	パケットエラーレートを表示します。
(6)	Comm Error (Communication Error)	通信切断回数を表示します。
(7)	無線チャンネルの選択	無線ログデータを取得する無線チャンネルを選択します。
(8)	無線ログデータの取だし	選択した無線チャンネルの無線ログデータを取り出します。無線ログデータは4つのcsvファイルに分けられます。
(9)	無線ログデータのクリア	取得中の無線ログデータをクリアします。

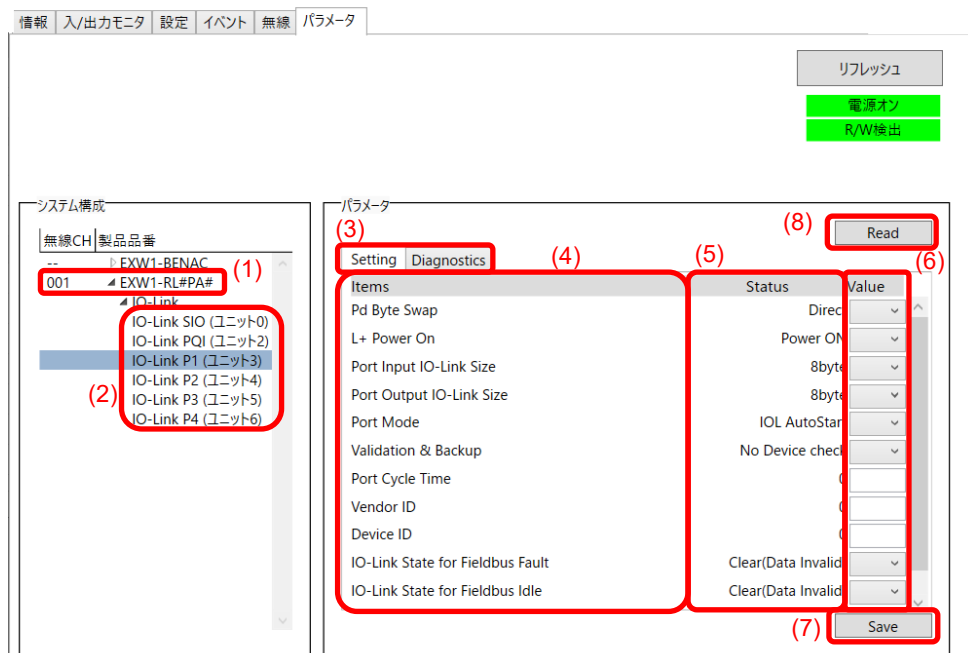
●無線ログデータファイル

無線ログデータは、以下のような4つのcsvファイルに生成されます。

名前	更新日時	種類	サイズ
AllInfo.csv	2021/10/01 15:53	Microsoft Excel CS...	1 KB
RcvRSSI.csv	2021/10/01 15:53	Microsoft Excel CS...	6 KB
Retries.csv	2021/10/01 15:53	Microsoft Excel CS...	1 KB
SndRSSI.csv	2021/10/01 15:53	Microsoft Excel CS...	7 KB

5.6 パラメータタブ

パラメータタブはシステム構成、パラメータの2つのエリアで構成されており、ユニットのパラメータが設定できます。



・パラメータタブ表示

No.	表示	内容
(1)	製品品番	クリックするとパラメータエリアにリモートユニットのパラメータを表示します
(2)	ユニット品番	クリックするとパラメータエリアに選択した I/O ユニットのパラメータを表示します
(3)	Setting / Diagnostics タブ	Setting parameter と Diagnostics parameter の表示切替
(4)	Item	パラメータ名を表示します。
(5)	Status	パラメータの設定内容を表示します。
(6)	Value	変更したいパラメータを入力します。
(7)	Save	Value に入力したパラメータを製品に保存します。 管理者モード時のみ設定可能となります。
(8)	Read	表示されたタブのパラメータを再読み込みします。

6. 無線システムパラメータ一覧

・無線ベースユニット (EX600-WEN※) 設定パラメータ

分類	パラメータ名	設定値	初期値	電源オフ時 設定	備考
ベース ユニット 設定	a) 通信切断時 出力動作	CLEAR/HOLD/Software Control	CLEAR	可	フィールドバス通信が切断時の、出力 動作状態の設定。
	b) モジュール 入力占有 点数	0~128点(0~16バイト) 16点(2バイト)単位で増減	128点/16 byte	可	
	c) モジュール 出力占有 点数	0~128点(0~16バイト) 16点(2バイト)単位で増減	128点/16 byte	可	
	d) 内バルブ マニホールド 出力占有 点数	0~32点(0~4バイト) 8点(1バイト)単位で増減	32点/4 byte	可	バルブマニホールド出力占有点数は、 モジュール出力占有点数に含まれま す。 モジュール出力占有点数の設定範囲内 で有効点数が制限されます。
	e) 無線通信 動作	Active/Idle	Active	可	Idleに設定した場合、無線通信が切 断されます。
	f) I/Oユニット 割付方向	モード1/ モード2	モード1	可	モード1: エンドプレートから右方向へ割付け。 モード2: 無線ユニットから左方向へ割付け。
Ethernet 設定	a) IPアドレス設 定モード	マニュアル / DHCP / Remote Control	マニュアル	可	マニュアル選択時のみ、手動にてIP アドレスの入力が可能です。
	b) Auto MDI/MDI-X	オート/MDI/MDI-X	オート	可	
	c) Duplex	Full Duplex/Half Duplex	Full Duplex	可	
	d) Speed	オート/100 Mbps/10 Mbps	オート	可	
システム 設定	a) I/O割付	固定割付/自動割付	固定割付	可	I/O割付の合計サイズが奇数バイト になる場合、自動的に1バイト追加し 偶数バイトで割付けされます。
	b) システム 入力点数	16, 128~1280点 (2, 16~160バイト) 128点単位で増減	1280点 /160 byte	可	I/O割付が“自動割付”時は設定不可。
	c) システム 出力点数	16, 128~1280点 (2, 16~160バイト) 128点単位で増減	1280点 /160 byte	可	I/O割付が“自動割付”時は設定不可。
	d) 診断割付	なし/簡易/詳細	詳細	可	診断情報が入出力マップの入力デー タの先頭に割付けられます。
	e) リモート 登録台数	0/15/31/63/127台	15台	可	設定された台数分の無線チャンネルが 有効となります。
	f) アナログ出力 更新時間	0.1/0.2/0.5/1/2/5 /10/30/60 s	1s	可	アナログ出力機器のサンプリング周 期を設定できます。
リモート ユニット 登録	a) ペアリング	ペアリング不可/ ペアリング可能	ペアリング不可	可	ペアリング不可: 無線リモート登録不可 (登録済み無線リモートとの無線通 信を実施) ペアリング可能: 無線リモート登録可
	b) リモート ユニット登録	無線リモートユニットの無線 チャンネルへの割当ておよび 登録	リモート 未登録状態	不可	
	c) ダミー リモート	無線チャンネルへ ダミーリモートの追加	ダミーリモート 未設定	不可	詳細設定はダミーリモート登録を参 照。

・無線ベースユニット (EX600-WPN※) 設定パラメータ

分類	パラメータ名	設定値	初期値	電源オフ時 設定	備考
ベース ユニット 設定	a) 通信切断時 出力動作	CLEAR/HOLD/Software Control	CLEAR	可	フィールドバス通信が切断時の、出 力動作状態の設定。
	b) モジュール 入力占有点数	0~128点(0~16バイト) 16点(2バイト)単位で増減	128点/16 byte	可	
	c) モジュール 出力占有点数	0~128点(0~16バイト) 16点(2バイト)単位で増減	128点/16 byte	可	
	d) 内バルブ マニホールド 出力占有点数	0~32点(0~4バイト) 8点(1バイト)単位で増減	32点/4 byte	可	バルブマニホールド出力占有点数 は、モジュール出力占有点数に含ま れます。 モジュール出力占有点数の設定範囲 内で有効点数が制限されます。
	e) 無線通信動作	Active/Idle	Active	可	Idleに設定した場合、無線通信が切 断されます。
	f) I/O ユニット 割付方向	モード1/ モード2	モード1	可	モード1： エンドプレートから右方向へ割付け。 モード2： 無線ユニットから左方向へ割付け。
システム 設定	a) I/O 割付	自動割付	自動割付	可	PROFINET 対応無線ベースの I/O 割付 は自動割付のみ対応。
	b) システム 入力占有点数	—	—	—	I/O 割付が“自動割付”時は設定不可。
	c) システム 出力占有点数	—	—	—	I/O 割付が“自動割付”時は設定不可。
	d) 診断割付	なし/簡易/詳細	詳細	可	診断情報が入出力マップの入力デー タの先頭に割付けられます。
	e) リモート登録 台数	0/15/31 台	15 台	可	設定された台数分の無線チャンネル が有効となります
	f) アナログ出力 更新時間	0.1/0.2/0.5/1/2/5 /10/30/60s	1s	可	アナログ出力機器のサンプリング周 期を設定できます。
リモート ユニット 登録	a) ペアリング	ペアリング不可/ ペアリング可能	ペアリング不可	可	ペアリング不可： 無線リモート登録不可 (登録済み無線リモートとの無線通信 を実施) ペアリング可能： 無線リモート登録可
	b) リモート ユニット登録	無線リモートユニットの無線 チャンネルへの割当ておよび 登録	リモート 未登録状態	不可	
	c) ダミー リモート	無線チャンネルへ ダミーリモートの追加	ダミーリモート 未設定	不可	詳細設定はダミーリモート登録を参 照。

・小型無線ベースユニット (EXW1-BMJA※) 設定パラメータ

分類	パラメータ名	設定値	初期値	電源オフ時設定	備考
CC-Link 設定	a) 動作モード	1~8	2	可	
	b) 通信速度	156k/625k/2.5M/5M/10Mbps	156kbps	可	
	c) 局番	1~64 局	0	可	
システム 設定	a) I/O 割付	固定割付	固定割付	可	「固定割付」固定です。
	b) 診断割付	詳細	詳細	可	「詳細」固定です。
	c) アナログ出力更新時間	0.1/0.2/0.5/1/2/5/10/30/60s	1s	可	
	d) 上位通信切断時出力動作	Clear/Hold/Individual	Clear	可	
	e) 無線通信タイムアウト時間	20/40/100/200/500/1,000/2,000/5,000 msec	500 msec	可	
	f) 無線通信切断時入力情報	Clear/Hold	Hold	可	
	g) 無線通信動作	Active/Idle	Active	可	Idleに設定した場合、無線通信が切断されます。
	h) プロトコル	V.1.0/V.2.0	V.1.0	可	
	i) 時刻情報	—	—	—	
	j) 時刻同期	—	—	—	
リモート ユニット 登録	a) ペアリング	ペアリング不可/ ペアリング可能	ペアリング不可	可	
	b) リモートユニット登録	無線リモートユニットの無線チャンネルへの割当ておよび登録	リモート未登録状態	不可	
	c) ダミーリモート	無線チャンネルへダミーリモートの追加	ダミーリモート未設定	不可	詳細は「3.6 ダミーリモート」を参照。

・小型無線ベースユニット (EXW1-BECAC) 設定パラメータ

分類	パラメータ名	設定値	初期値	電源オフ時設定	備考
システム 設定	a) I/O 割付	自動割付	自動割付	可	「自動割付」固定です。
	b) 診断割付	なし/簡易/詳細	詳細	可	診断情報が入出力マップの入力データの先頭に割付けられます。
	c) リモート登録台数	15/31/63 台	15 台	可	設定された台数分の無線チャンネルが有効となります
	d) 無線通信 タイムアウト時間	100/200/500/1,000/2,000/5,000 msec	500 msec	可	
	e) 無線出力レベル	High/Middle/Low	High	可	
	f) 無線通信動作	Active/Idle	Active	可	Idle に設定した場合、無線通信が切断されます。
	g) プロトコル	V.1.0/V.2.0	V.2.0	可	
リモート ユニット 登録	a) ペアリング	ペアリング不可/ ペアリング可能	ペアリング不可	可	
	b) リモート ユニット登録	無線リモートユニットの無線チャンネルへの割当ておよび登録	リモート 未登録状態	不可	
	c) ダミー リモート	無線チャンネルへ ダミーリモートの追加	ダミーリモート 未設定	不可	詳細は「3.6 ダミーリモート」を参照。
パラメータ タブ ベース Setting	a) Brown-out Detection for US1	Enable / Disable	Enable	不可	
	b) Output State Fieldbus FaultIdle	Clear / Hold / Individual	Clear	不可	
	c) Input State for RF Timeout	Clear / Hold	Hold	不可	

・小型無線ベースユニット (EXW1-BENAC1) 設定パラメータ

分類	パラメータ名		設定値	初期値	電源オフ時設定	備考
システム設定	a)	I/O 割付	固定割付 / 自動割付	固定割付	可	I/O 割付が“自動割付”時は設定不可。
	b)	システム入力点数	16, 128, 256, 512, 768, 1024, 1280, 2048~11264 点 (1024 点単位)	2048 点 /256 byte	可	
	c)	システム出力点数	2, 16, 32, 64, 96, 128, 160, 256~1408 バイト (128 バイト単位)	2048 点 /256 byte	可	
	d)	診断割付	なし/簡易/詳細	詳細	可	診断情報が入出力マップの入力データの先頭に割付けられます。
	e)	リモート登録台数	15/31/63 台/127 台	15 台	可	設定された台数分の無線チャンネルが有効となります
	f)	無線通信タイムアウト時間	100/200/500/1,000/2,000/5,000 msec	500 msec	可	
	g)	無線出力レベル	High/Middle/Low	High	可	
	h)	無線通信動作	Active/Idle	Active	可	Idle に設定した場合、無線通信が切断されます。
	i)	プロトコル	V. 1.0/V. 2.0	V. 2.0	可	
	j)	時刻情報	—	—	—	
	k)	時刻同期	—	—	—	
Ethernet 設定	a)	IP アドレス設定モード	マニュアル / DHCP / Remote Control	マニュアル	可	マニュアル選択時のみ、手動にて IP アドレスの入力が可能です。
	b)	IP アドレス	0.0.0.0 - 255.255.255.255	192.168.0.1	可	
	c)	サブネット マスク	0.0.0.0 - 255.255.255.255	255.255.255.0	可	
	d)	デフォルト ゲートウェイ	0.0.0.0 - 255.255.255.255	0.0.0.0	可	
	e)	Auto MDI/MDI-X	オート/MDI/MDI-X	オート	可	
	f)	Duplex	Full Duplex/Half Duplex	Full Duplex	可	
	g)	Speed	オート/100 Mbps/10 Mbps	オート	可	
リモートユニット登録	a)	ペアリング	ペアリング不可 / ペアリング可能	ペアリング不可	可	
	b)	リモートユニット登録	無線リモートユニットの無線チャンネルへの割当ておよび登録	リモート未登録状態	不可	
	c)	ダミーリモート	無線チャンネルへダミーリモートの追加	ダミーリモート未設定	不可	詳細は「3.6 ダミーリモート」を参照。
OPC UA 設定	a)	Security Mode	Sign & Encrypt / Sign / None	Sign & Encrypt	可	Security Mode において Sign & Encrypt または Sign が選ばれた場合のみ有効
	b)	Security Policy	Basic256Sha256	Enable	Enable	
			Aes128_Sha256_RsaOaep	Enable	Enable	
			Basic256	Enable/Disable	Disable	
			Basic128Rsa15	Enable/Disable	Disable	
c)	Anonymous Login	Enable/Disable	Disable	可		
d)	OPCUA Write Enable	Enable/Disable	Disable	可		
パラメータタブベース Setting	a)	Brown-out Detection for US1	Enable / Disable	Enable	不可	
	b)	Output State Fieldbus FaultIdle	Clear / Hold / Individual	Clear	不可	
	c)	Input State for RF Timeout	Clear / Hold	Hold	不可	

・小型無線ベースユニット (EXW1-BPNAC1) 設定パラメータ

分類	パラメータ名		設定値	初期値	電源オフ時設定	備考	
システム設定	a)	I/O 割付	自動割付	自動割付	可	「自動割付」固定です。	
	b)	診断割付	なし/簡易/詳細	詳細	可	診断情報が入出力マップの入力データの先頭に割付けられます。	
	c)	リモート登録台数	15/31/63 台	15 台	可	設定された台数分の無線チャンネルが有効となります	
	d)	無線通信タイムアウト時間	100/200/500/1,000/2,000/5,000 msec	500 msec	可		
	e)	無線出力レベル	High/Middle/Low	High	可		
	f)	無線通信動作	Active/Idle	Active	可	Idle に設定した場合、無線通信が切断されます。	
	g)	プロトコル	V.1.0/V.2.0	V.2.0	可		
	i)	時刻情報	—	—	—		
	j)	時刻同期	—	—	—		
	リモートユニット登録	a)	ペアリング	ペアリング不可/ペアリング可能	ペアリング不可	可	
b)		リモートユニット登録	無線リモートユニットの無線チャンネルへの割当ておよび登録	リモート未登録状態	不可		
c)		ダミーリモート	無線チャンネルへダミーリモートの追加	ダミーリモート未設定	不可	詳細は「3.6 ダミーリモート」を参照。	
OPC UA 設定	a)	Security Mode	Sign & Encrypt / Sign / None	Sign & Encrypt	可		
	b)	Security Policy	Basic256Sha256	Enable	Enable	可	Security Mode において Sign & Encrypt または Sign が選ばれた場合のみ有効
			Aes128_Sha256_RsaOaep	Enable	Enable		
			Basic256	Enable/Disable	Disable		
			Basic128Rsa15	Enable/Disable	Disable		
c)	Anonymous Login	Enable/Disable	Disable	可			
d)	OPCUA Write Enable	Enable/Disable	Disable	可			
パラメータタブベース Setting	a)	Brown-out Detection for US1	Enable / Disable	Enable	不可		
	b)	Output State Fieldbus FaultIdle	Clear / Hold / Individual	Clear	不可		
	c)	Input State for RF Timeout	Clear / Hold	Hold	不可		

・小型無線リモートユニット（EXW1-RDXNE4※※）設定パラメータ

分類	パラメータ名	設定値	初期値	電源オフ時 設定	備考
リモート ユニット 設定	a) モジュール入力占有点数	16点/2byte	16点/2byte	固定	
	b) モジュール出力占有点数	0点/0byte	0点/0byte	固定	
	c) 無線通信動作	Active/Idle	Active	可	Idleに設定した場合、無線通信が切 断されます。
	d) 制御/入力用（US1） 電源電圧低下検出	Enable/Disable	Enable	可	
ペア リング 設定	a) ペアリング	ペアリング不可/ ペアリング可能	ペアリング可能	可	ペアリング不可： 無線リモート登録不可 （登録済み無線リモートとの無線通信 を実施） ペアリング可能： 無線リモート登録可
パラメータ タブ リモート	a) Brown-out Detection for US1	Enable/Disable	Enable	不可	
パラメータ タブ DITIGAL INPUT	a) Short Circuit Detection(Power)	Enable/Disable	Enable	不可	
	b) Inrush Current Filter	Enable/Disable	Enable	不可	
	c) Input Filtering Time	0.1/1.0/10/20ms	1.0ms	不可	
	d) Input Hold Time	1.0/15/100/200ms	15 ms	不可	
	e) Ch 7-0: ON/OFF Counter Limit Detection	0x00-0xFF	0x00	不可	1:エラーを発生します。 0:エラーを発生しません。 Bit0: チャンネル 0 : Bit7: チャンネル 7
	f) Ch 15-8: ON/OFF Counter Limit Detection	0x00-0xFF	0x00	不可	1:エラーを発生します。 0:エラーを発生しません。 Bit0: チャンネル 8 : Bit7: チャンネル 15
	g) Ch# Counter Limit Value (1-65000k)	1k-65000k	65000	不可	設定される回数は、 設定値 x1000 回になります。

・小型無線リモートユニット（EXW1-RDXNE4※※）診断パラメータ

分類	パラメータ名	表示範囲	備考
パラメータ グループ DIGITAL INPUT	a) Ch #:ON/OFF Counter Value	0 - 4294967295 (0 to 0xFFFFFFFF) Clr (Clear)	各チャンネルの ON/OFF 回数 入力機器の ON/OFF 動作回数を 0 にします。
	b) Ch 7-0:Exceeded ON/OFF Counter Limit ON/OFF 動作回数上限検知	0x00-0xFF	0: 診断なし 1: 診断あり Bit0: チャンネル 0 異常検知 : Bit7: チャンネル 7 異常検知
	c) Ch 15-8:Exceeded ON/OFF Counter Limit ON/OFF 動作回数上限検知	0x00-0xFF	0: 診断なし 1: 診断あり Bit0: チャンネル 8 異常検知 : Bit7: チャンネル 15 異常検知
	d) Ch 7-0:Short Circuit Detection(Input) 短絡検知	0x00-0xFF	0: 診断なし 1: 診断あり Bit0: チャンネル 0 異常検知 : Bit7: チャンネル 7 異常検知
	e) Ch 15-8: Short Circuit Detection(Input) 短絡検知	0x00-0xFF	0: 診断なし 1: 診断あり Bit0: チャンネル 8 異常検知 : Bit7: チャンネル 15 異常検知

・小型無線リモートユニット（EXW1-RDYNE4※※）設定パラメータ

分類	パラメータ名	設定値	初期値	電源オフ時 設定	備考
リモート ユニット 設定	a) モジュール入力占有点数	0点/0byte	0点/0byte	固定	
	b) モジュール出力占有点数	16点/2byte	16点/2byte	固定	
	c) 無線通信動作	Active/Idle	Active	可	Idleに設定した場合、無線通信が切 断されます。
	d) 制御/入力用（US1） 電源電圧低下検出	Enable/Disable	Enable	可	
	e) 出力用（US2） 電源電圧低下検出	Enable/Disable	Disable	可	
	f) 上位通信切断時出力動作	Clear/Hold/ Individual	Clear	可	フィールドバス通信が切断された場合 の出力動作の設定
	g) 無線通信切断時出力動作	Clear/Hold	Hold	可	無線通信が切断された場合の出力動作 を設定
ペア リング 設定	a) ペアリング	ペアリング不可/ ペアリング可能	ペアリング可能	可	ペアリング不可： 無線リモート登録不可 (登録済み無線リモートとの無線通信を 実施) ペアリング可能： 無線リモート登録可
パラメータ タブ リモート	a) Brown-out Detection for US1	Enable/Disable	Enable	不可	US1 電源 電圧低下検出
	b) Brown-out Detection for US2	Enable/Disable	Disable	不可	US2 電源 電圧低下検出
	c) Output State Fieldbus FaultIdle ※	Clear/Hold /Individual	Clear	不可	プロトコル V.1.0 では非表示となり、 「リモート設定」>「上位通信切断時 出力動作」の設定が適用されます。
	d) Output State for RF Timeout ※	Clear/Hold /Individual	Hold	不可	プロトコル V.1.0 では非表示となり、 「リモート設定」>「無線通信切断時 出力動作」の設定が適用されます。

・小型無線リモートユニット（EXW1-RDYNE4※※）設定パラメータ（つづき）

分類	パラメータ名	設定値	初期値	電源オフ時 設定	備考
パラメータ タブ DITIGAL OUTPUT	a) Short Circuit Detection(Output)	Enable/Disable	Enable	不可	
	b) Restart After ShortCircuit	Auto/Manual	Manual	不可	
	c) Ch 7-0: ON/OFF Counter Limit Detection	0x00-0xFF	0x00	不可	1:エラーを発生します。 0:エラーを発生しません。 Bit0: チャンネル 0 : Bit7: チャンネル 7
	d) Ch 15-8: ON/OFF Counter Limit Detection	0x00-0xFF	0x00	不可	1:エラーを発生します。 0:エラーを発生しません。 Bit0: チャンネル 8 : Bit7: チャンネル 15
	e) Ch 7-0: Open Circuit Detection	0x00-0xFF	0x00	不可	1:エラーを発生します。 0:エラーを発生しません。 Bit0: チャンネル 0 : Bit7: チャンネル 7
	f) Ch 15-8: Open Circuit Detection	0x00-0xFF	0x00	不可	1:エラーを発生します。 0:エラーを発生しません。 Bit0: チャンネル 8 : Bit7: チャンネル 15
	g) Ch 7-0: Hold State for Fieldbus Fault	0x00-0xFF	0xFF	不可	0:出力を保持します。 1:出力設定に依存します。 Bit0: チャンネル 0 : Bit7: チャンネル 7
	h) Ch 15-8: Hold State for Fieldbus Fault	0x00-0xFF	0xFF	不可	0:出力を保持します。 1:出力設定に依存します。 Bit0: チャンネル 8 : Bit7: チャンネル 15
	i) Ch 7-0: Output State for Fieldbus Fault	0x00-0xFF	0x00	不可	0:出力を OFF します。 1:出力を強制 ON します。 Bit0: チャンネル 0 : Bit7: チャンネル 7
	j) Ch 15-8: Output State for Fieldbus Fault	0x00-0xFF	0x00	不可	0:出力を OFF します。 1:出力を強制 ON します。 Bit0: チャンネル 8 : Bit7: チャンネル 15

・小型無線リモートユニット（EXW1-RDYNE4※※）設定パラメータ（つづき）

分類	パラメータ名	設定値	初期値	電源オフ時 設定	備考
パラメータ タブ DIGITAL OUTPUT	k) Ch 7-0: Hold State for Fieldbus Idel	0x00-0xFF	0xFF	不可	0:出力を保持します。 1:出力設定に依存します。 Bit0:チャンネル 0 : Bit7:チャンネル 7
	l) Ch 15-8: Hold State for Fieldbus Idel	0x00-0xFF	0xFF	不可	0:出力を保持します。 1:出力設定に依存します。 Bit0:チャンネル 8 : Bit7:チャンネル 15
	m) Ch 7-0: Output State for Fieldbus Idel	0x00-0xFF	0x00	不可	0:出力を OFF します。 1:出力を強制 ON します。 Bit0:チャンネル 0 : Bit7:チャンネル 7
	n) Ch 15-8: Output State for Fieldbus Idel	0x00-0xFF	0x00	不可	0:出力を OFF します。 1:出力を強制 ON します。 Bit0:チャンネル 8 : Bit7:チャンネル 15
	o) Ch 7-0: Hold State for RF TimeOut	0x00-0xFF	0x00	不可	プロトコル V.2.0 のみ対応となります。 0:出力を保持します。 1:出力設定に依存します。 Bit0:チャンネル 0 : Bit7:チャンネル 7
	p) Ch 15-8: Hold State for RF TimeOut	0x00-0xFF	0x00	不可	プロトコル V.2.0 のみ対応となります。 0:出力を保持します。 1:出力設定に依存します。 Bit0:チャンネル 8 : Bit7:チャンネル 15
	q) Ch 7-0: Output State for RF TimeOut	0x00-0xFF	0x00	不可	プロトコル V.2.0 のみ対応となります。 0:出力を OFF します。 1:出力を強制 ON します。 Bit0:チャンネル 0 : Bit7:チャンネル 7
	r) Ch 15-8: Output State for RF TimeOut	0x00-0xFF	0x00	不可	プロトコル V.2.0 のみ対応となります。 0:出力を OFF します。 1:出力を強制 ON します。 Bit0:チャンネル 8 : Bit7:チャンネル 15
	s) Ch# Counter Limit Value (1-65000k)	1-65000	65000	不可	設定される回数は、 設定値 x1000 回になります。

・小型無線リモートユニット（EXW1-RDYNE4※※）診断パラメータ

分類	パラメータ名	表示範囲	備考
パラメータ タブ DIGITAL OUTPUT	a) Ch #:ON/OFF Counter Value	0 - 4294967295 (0 to 0xFFFFFFFF) Clr (Clear)	各チャンネルの ON/OFF 回数 入力機器の ON/OFF 動作回数を 0 にします。
	b) Ch 7-0:Exceeded ON/OFF Counter Limit ON/OFF 動作回数上限検知	0x00-0xFF	0: 診断なし 1: 診断あり Bit0: チャンネル 0 異常検知 : Bit7: チャンネル 7 異常検知
	c) Ch 15-8:Exceeded ON/OFF Counter Limit ON/OFF 動作回数上限検知	0x00-0xFF	0: 診断なし 1: 診断あり Bit0: チャンネル 8 異常検知 : Bit7: チャンネル 15 異常検知
	d) Ch 7-0:Open Circuit Detection 断線検知	0x00-0xFF	0: 診断なし 1: 診断あり Bit0: チャンネル 0 異常検知 : Bit7: チャンネル 7 異常検知
	e) Ch 15-8:Open Circuit Detection 断線検知	0x00-0xFF	0: 診断なし 1: 診断あり Bit0: チャンネル 8 異常検知 : Bit7: チャンネル 15 異常検知
	f) Ch 7-0:Short Circuit Detection (Output) 短絡検知	0x00-0xFF	0: 診断なし 1: 診断あり Bit0: チャンネル 0 異常検知 : Bit7: チャンネル 7 異常検知
	g) Ch 15-8: Short Circuit Detection (Output) 短絡検知	0x00-0xFF	0: 診断なし 1: 診断あり Bit0: チャンネル 8 異常検知 : Bit7: チャンネル 15 異常検知

・小型無線リモートユニット（EXW1-RDM※E3※※）設定パラメータ

分類	パラメータ名	設定値	初期値	電源オフ時 設定	備考
リモート ユニット 設定	a) モジュール入力占有点数	16点/2byte	16点/2byte	固定	
	b) モジュール出力占有点数	16点/2byte	16点/2byte	固定	
	c) 無線通信動作	Active/Idle	Active	可	Idleに設定した場合、無線通信が切 断されます。
	d) 制御/入力用（US1） 電源電圧低下検出	Enable/Disable	Enable	可	
	e) 出力用（US2） 電源電圧低下検出	Enable/Disable	Disable	可	
	f) 上位通信切断時出力動作	Clear/Hold/ Individual	Clear	可	フィールドバス通信が切断された場合 の出力動作の設定
	g) 無線通信切断時出力動作	Clear/Hold	Hold	可	無線通信が切断された場合の出力動作 を設定
ペア リング 設定	a) ペアリング	ペアリング不可/ ペアリング可能	ペアリング可能	可	ペアリング不可： 無線リモート登録不可 (登録済み無線リモートとの無線通信を 実施) ペアリング可能： 無線リモート登録可
パラメータ タブ リモート ユニット	a) Brown-out Detection for US1	Enable/Disable	Enable	不可	US1 電源 電圧低下検出
	b) Brown-out Detection for US2	Enable/Disable	Disable	不可	US2 電源 電圧低下検出
	c) Output State Fieldbus FaultIdle ※1	Clear/Hold /Individual	Clear	不可	プロトコル V.1.0 では非表示となり、 「リモート設定」>「上位通信切断時 出力動作」の設定が適用されます。
	d) Output State for RF Timeout ※1	Clear/Hold /Individual	Hold	不可	プロトコル V.1.0 では非表示となり、 「リモート設定」>「無線通信切断時 出力動作」の設定が適用されます。
パラメータ タブ DIGITAL INPUT	a) Short Circuit Detection(Power)	Enable/Disable	Enable	不可	
	b) Inrush Current Filter	Enable/Disable	Enable	不可	
	c) Input Filtering Time	0.1/1.0/10/20ms	1.0ms	不可	
	d) Input Hold Time	1.0/15/100/200ms	15 ms	不可	
	e) Ch 7-0: ON/OFF Counter Limit Detection	0x00-0xFF	0x00	不可	1:エラーを発生します。 0:エラーを発生しません。 Bit0:チャンネル 0 : Bit7:チャンネル 7
	g) Ch# Counter Limit Value (1-65000k)	1-65000	65000	不可	設定される回数は、 設定値 x1000 回になります。

※1 V01.0 では表示されない

・小型無線リモートユニット (EXW1-RDM※E3※※) 設定パラメータ (つづき)

分類	パラメータ名	設定値	初期値	電源オフ時 設定	備考
パラメータ タブ DIGITAL OUTPUT	a) Short Circuit Detection(Output)	Enable/Disable	Enable	不可	
	b) Restart After ShortCircuit	Auto/Manual	Manual	不可	
	c) Ch 7-0: ON/OFF Counter Limit Detection	0x00-0xFF	0x00	不可	1:エラーを発生します。 0:エラーを発生しません。 Bit0: チャンネル 0 : Bit7: チャンネル 7
	d) Ch 7-0: Open Circuit Detection	0x00-0xFF	0x00	不可	1:エラーを発生します。 0:エラーを発生しません。 Bit0: チャンネル 0 : Bit7: チャンネル 7
	e) Ch 7-0: Hold State for Fieldbus Fault	0x00-0xFF	0xFF	不可	0:出力を保持します。 1:出力設定に依存します。 Bit0: チャンネル 0 : Bit7: チャンネル 7
	f) Ch 7-0: Output State for Fieldbus Fault	0x00-0xFF	0x00	不可	0:出力を OFF します。 1:出力を強制 ON します。 Bit0: チャンネル 0 : Bit7: チャンネル 7
	g) Ch 7-0: Hold State for Fieldbus Idel	0x00-0xFF	0xFF	不可	0:出力を保持します。 1:出力設定に依存します。 Bit0: チャンネル 0 : Bit7: チャンネル 7
	h) Ch 7-0: Output State for Fieldbus Idel	0x00-0xFF	0x00	不可	0:出力を OFF します。 1:出力を強制 ON します。 Bit0: チャンネル 0 : Bit7: チャンネル 7
	i) Ch 7-0: Hold State for RF TimeOut	0x00-0xFF	0x00	不可	プロトコル V. 2. 0 のみ対応となります。 0:出力を保持します。 1:出力設定に依存します。 Bit0: チャンネル 0 : Bit7: チャンネル 7
	j) Ch 7-0: Output State for RF TimeOut	0x00-0xFF	0x00	不可	プロトコル V. 2. 0 のみ対応となります。 0:出力を OFF します。 1:出力を強制 ON します。 Bit0: チャンネル 0 : Bit7: チャンネル 7
	k) Ch# Counter Limit Value (1-65000k)	1-65000	65000	不可	設定される回数は、 設定値 x1000 回になります。

・小型無線リモートユニット (EXW1-RDM※E3※※) 診断パラメータ

分類	パラメータ名	表示範囲	備考
パラメータ グループ DIGITAL INPUT	a) Ch #:ON/OFF Counter Value	0 - 4294967295 (0 to 0xFFFFFFFF)	各チャンネルの ON/OFF 回数
		Clr (Clear)	入力機器の ON/OFF 動作回数を 0 にします。
	b) Ch 7-0:Exceeded ON/OFF Counter Limit ON/OFF 動作回数上限検知	0x00-0xFF	0: 診断なし 1: 診断あり Bit0: チャンネル 0 異常検知 : Bit7: チャンネル 7 異常検知
		d) Ch 7-0:Short Circuit Detection(Input) 短絡検知	0x00-0xFF
パラメータ グループ DIGITAL OUTPUT	a) Ch #:ON/OFF Counter Value		0 - 4294967295 (0 to 0xFFFFFFFF)
		Clr (Clear)	入力機器の ON/OFF 動作回数を 0 にします。
	b) Ch 7-0:Exceeded ON/OFF Counter Limit ON/OFF 動作回数上限検知	0x00-0xFF	0: 診断なし 1: 診断あり Bit0: チャンネル 0 異常検知 : Bit7: チャンネル 7 異常検知
		c) Ch 7-0:Open Circuit Detection 断線検知	0x00-0xFF
d) Ch 7-0:Short Circuit Detection(Output) 短絡検知	0x00-0xFF		0: 診断なし 1: 診断あり Bit0: チャンネル 0 異常検知 : Bit7: チャンネル 7 異常検知

・無線リモートユニット (EXW1-RLAPA8C(ClassA)) 設定パラメータ

分類	パラメータ名	設定値	初期値	電源オフ時 設定	備考
パラメータ タブ リモート ユニット	a) Brown-out Detection for US1	Enable/Disable	Enable	不可	US1 電源 電圧低下検出
	b) Short Circuit Detection (L+, C/Q)	Enable/Disable	Enable	不可	短絡検知 ・ L+電源 (US1) ・ C/Q 信号 (US1) ・ P24 電源 (US2)
	c) AD Update time	100-60000	500ms	不可	I0-Link Process data の入力更新時間
	d) Output State Fieldbus FaultIdle	Clear/Hold /Individual	Clear	不可	
	e) Output State for RF Timeout	Clear/Hold /Individual	Hold	不可	
パラメータ タブ I0-Link S10	a) Ch 7-0: Hold State for Fieldbus Fault	0x00-0xFF	0xFF	不可	0:出力を保持します。 1:出力設定に依存します。 Bit0 : P1 Bit1 : P2 Bit2 : P3 Bit3 : P4 Bit4-7 : Reserved
	b) Ch 7-0: Output State for Fieldbus Fault	0x00-0xFF	0x00	不可	0:出力を OFF します。 1:出力を強制 ON します。 Bit0 : P1 Bit1 : P2 Bit2 : P3 Bit3 : P4 Bit4-7 : Reserved
	c) Ch 7-0: Hold State for Fieldbus Idle	0x00-0xFF	0xFF	不可	0:出力を保持します。 1:出力設定に依存します。 Bit0 : P1 Bit1 : P2 Bit2 : P3 Bit3 : P4 Bit4-7 : Reserved
	d) Ch 7-0: Output State for Fieldbus Idle	0x00-0xFF	0x00	不可	0:出力を OFF します。 1:出力を強制 ON します。 Bit0 : P1 Bit1 : P2 Bit2 : P3 Bit3 : P4 Bit4-7 : Reserved
	e) Ch 7-0: Hold State for RF TimeOut	0x00-0xFF	0x00	不可	0:出力を保持します。 1:出力設定に依存します。 Bit0 : P1 Bit1 : P2 Bit2 : P3 Bit3 : P4 Bit4-7 : Reserved
	f) Ch 7-0: Output State for RF TimeOut	0x00-0xFF	0x00	不可	0:出力を OFF します。 1:出力を強制 ON します。 Bit0 : P1 Bit1 : P2 Bit2 : P3 Bit3 : P4 Bit4-7 : Reserved

・無線リモートユニット (EXW1-RLAPA8C(ClassA)) 設定パラメータ (つづき)

分類	パラメータ名	設定値	初期値	電源オフ時設定	備考
パラメータ タブ IO-Link P#	a) Pd Byte swap	Direct / Swap 16 bit / Swap 32 bit / Swap all	Direct	不可	上位通信と IO-Link マスタ間で送受信するプロセスデータのバイト順序を並べ替える
	b) L+ Power On	Power ON / 1 : Power OFF	Power ON	不可	L+の電源制御 IO-Link P1/P2 のみ設定可
	c) Port Input IO-Link Size	プロトコル V. 2.0 の場合 0~32 バイト (2 バイト) 単位	P1、P2 : 16byte P3、P4 : 0byte	不可	
		プロトコル V. 1.0 の場合 0~14 バイト (2 バイト) 単位	P1 : 8byte P2 : 6byte P3、P4 : 0byte		
	d) Port Output IO-Link Size	プロトコル V. 2.0 の場合 0~32 バイト (2 バイト) 単位	P1、P2 : 16byte P3、P4 : 0byte	不可	
		プロトコル V. 1.0 の場合 0~14 バイト (2 バイト) 単位	P1 : 8byte P2 : 6byte P3、P4 : 0byte		
	e) PortMode*1	Deactivated /IOL_Manual /IOL_Autostart /DI C/Q /DO C/Q	P1、P2 : IOL_Autostart P3、P4 : Deactivated	不可	
	f) Validation&Backup*1	No Device Check /Type compatible Device V1.0 /Type compatible Device V1.1 /Type compatible Device V1.1, Backup+Restore /Type compatible Device V1.1, Restore	No Device Check	不可	
	g) PortCycleTime*1	0~191	0	不可	0 : As fast as possible 1~3 : 0.4ms 4~63 : 0.4~6.3 ms (0.1 ms 毎) 64~127 : 6.4~31.6 ms (0.4 ms 毎) 128~191 : 32~132.8 ms (1.6 ms 毎)
	h) VendorID*1	0~65535	0	不可	IO-Link デバイス照合機能有効時に使用するベンダーID を設定
	i) DeviceID*1	0~16777215	0	不可	IO-Link デバイス照合機能有効時に使用するデバイス ID を設定
	j) IO-Link State for Fieldbus Fault	Clear (Data Valid) / Clear (Data Invalid) / Hold	Clear / PD Out invalid	不可	Clear / PD Out valid : プロセスデータ出力は有効のまま、出力を全点 OFF する
	k) IO-Link State for Fieldbus Idle	Clear (Data Valid) / Clear (Data Invalid) / Hold	Clear / PD Out invalid	不可	Clear / PD Out invalid : プロセスデータ出力は有効のまま、IO-Link マスタが最後に受信したプロセスデータ出力の値を保持する
l) IO-Link State for RF Timeout	Clear (Data Valid) / Clear (Data Invalid) / Hold	Clear / PD Out invalid	不可	Hold : プロセスデータ出力を無効にし、出力を全点 OFF する	

*1 : パラメータを変更すると IO-Link デバイスを再接続します。必ず設備非稼働時にパラメータを変更してください。

・無線リモートユニット (EXW1-RLBPA7C(ClassB)) 設定パラメータ

分類	パラメータ名	設定値	初期値	電源オフ時 設定	備考
パラメータ タブ リモート ユニット	a) Brown-out Detection for US1	Enable/Disable	Enable	不可	US1 電源 電圧低下検出
	b) Brown-out Detection for US2	Enable/Disable	Disable	不可	US2 電源 電圧低下検出
	c) Short Circuit Detection (L+, C/Q)	Enable/Disable	Enable	不可	短絡検知 ・ L+電源 (US1) ・ C/Q 信号 (US1) ・ P24 電源 (US2)
	d) AD Update Time	100-60000	500ms	不可	I0-Link Process data の入力更新時間
	e) Output State Fieldbus FaultIdle	Clear/Hold /Individual	Clear	不可	
	f) Output State for RF Timeout	Clear/Hold /Individual	Hold	不可	
パラメータ タブ I0-Link S10	a) Ch 7-0: Hold State for Fieldbus Fault	0x00-0xFF	0xFF	不可	0:出力を保持します。 1:出力設定に依存します。 Bit0 : P1 Bit1 : P2 Bit2 : P24 Bit3-7 : Reserved
	b) Ch 7-0: Output State for Fieldbus Fault	0x00-0xFF	0x00	不可	0:出力を OFF します。 1:出力を強制 ON します。 Bit0 : P1 Bit1 : P2 Bit2 : P24 Bit3-7 : Reserved
	c) Ch 7-0: Hold State for Fieldbus Idle	0x00-0xFF	0xFF	不可	0:出力を保持します。 1:出力設定に依存します。 Bit0 : P1 Bit1 : P2 Bit2 : P24 Bit3-7 : Reserved
	d) Ch 7-0: Output State for Fieldbus Idle	0x00-0xFF	0x00	不可	0:出力を OFF します。 1:出力を強制 ON します。 Bit0 : P1 Bit1 : P2 Bit2 : P24 Bit3-7 : Reserved
	e) Ch 7-0: Hold State for RF TimeOut	0x00-0xFF	0x00	不可	0:出力を保持します。 1:出力設定に依存します。 Bit0 : P1 Bit1 : P2 Bit2 : P24 Bit3-7 : Reserved
	f) Ch 7-0: Output State for RF TimeOut	0x00-0xFF	0x00	不可	0:出力を OFF します。 1:出力を強制 ON します。 Bit0 : P1 Bit1 : P2 Bit2 : P24 Bit3-7 : Reserved

・無線リモートユニット (EXW1-RLBPA7C(ClassB)) 設定パラメータ (つづき)

分類	パラメータ名	設定値	初期値	電源オフ時設定	備考
パラメータタブ IO-Link P#	a) Pd Byte swap	Direct / Swap 16 bit / Swap 32 bit / Swap all	Direct	不可	上位通信と IO-Link マスタ間で送受信するプロセスデータのバイト順序を並べ替える
	b) L+ Power On	Power ON / 1 : Power OFF	Power ON	不可	L+の電源制御
	c) Port Input IO-Link Size	プロトコル V. 2.0 の場合 0~32 バイト (2 バイト) 単位	P1、P2 : 16byte	不可	
		プロトコル V. 1.0 の場合 0~14 バイト (2 バイト) 単位	P1 : 8byte P2: 6byte		
	d) Port Output IO-Link Size	プロトコル V. 2.0 の場合 0~32 バイト (2 バイト) 単位	P1、P2 : 16byte	不可	
		プロトコル V. 1.0 の場合 0~14 バイト (2 バイト) 単位	P1 : 8byte P2: 6byte		
	e) PortMode*1	Deactivated /IOL_Manual /IOL_Autostart /DI C/Q /DO C/Q	P1、P2 : IOL_Autostart	不可	
	f) Validation&Backup*1	No Device Check /Type compatible Device V1.0 /Type compatible Device V1.1 /Type compatible Device V1.1, Backup+Restore /Type compatible Device V1.1, Restore	No Device Check	不可	
	g) PortCycleTime*1	0~191	0	不可	0 : As fast as possible 1~3 : 0.4ms 4~63 : 0.4~6.3 ms (0.1 ms 毎) 64~127 : 6.4~31.6 ms (0.4 ms 毎) 128~191 : 32~132.8 ms (1.6 ms 毎)
	h) VendorID*1	0~65535	0	不可	IO-Link デバイス照合機能有効時に使用するベンダーID を設定
	i) DeviceID*1	0~16777215	0	不可	IO-Link デバイス照合機能有効時に使用するデバイス ID を設定
	j) IO-Link State for Fieldbus Fault	Clear (Data Valid) / Clear (Data Invalid) / Hold	Clear / PD Out invalid	不可	Clear / PD Out valid : プロセスデータ出力は有効のまま、出力を全点 OFF する
k) IO-Link State for Fieldbus Idle	Clear (Data Valid) / Clear (Data Invalid) / Hold	Clear / PD Out invalid	不可	Clear / PD Out invalid : プロセスデータ出力は有効のまま、IO-Link マスタが最後に受信したプロセスデータ出力の値を保持する	
l) IO-Link State for RF Timeout	Clear (Data Valid) / Clear (Data Invalid) / Hold	Clear / PD Out invalid	不可	Hold : プロセスデータ出力を無効にし、出力を全点 OFF する	

*1 : パラメータを変更すると IO-Link デバイスを再接続します。必ず設備非稼働時にパラメータを変更してください。

・小型無線リモートユニット (EXW1-RLAPA8C(ClassA) / EXW1-RLBPA7C(ClassB)) 診断パラメータ

分類	パラメータ名	表示範囲	備考
パラメータ タブ IO-Link P#	a) PortStatusInfo	NO_DEVICE、 DEACTIVATED、 PORT_DIAG PREOPERATE、 OPERATE、 DI_C/Q、 DO_C/Q	-
	b) PortQualityInfo	0x00-0xFF	0: プロセスデータ valid 1: プロセスデータ invalid Bit0: input Bit1: output Bit2-7: Reserved
	c) RevisionID	0x00-0xFF	IO-Link デバイスの IO-Link バージョン
	d) TransmissionRate	NOT_DETECTED、 COM1、 COM2、 COM3	通信速度
	e) MasterCycleTime	0-255	実際のサイクルタイム値 0: As fast as possible 1~3: 0.4ms 4~63: 0.4~6.3 ms (0.1 ms 毎) 64~127: 6.4~31.6 ms (0.4 ms 毎) 128~191: 32~132.8 ms (1.6 ms 毎) 192~255: 132.8 ms
	f) InputDataLength	0-32	プロセス入力データ長
	g) OutputDataLength	0-32	プロセス出力データ長
	h) VendorID	0~65535	接続されている IO-Link デバイスのベンダーID
	i) DeviceID	0~16777215	接続されている IO-Link デバイスのデバイス ID

・無線リモートユニット (EXA1-20-SA/EXA1-30-SA/EXA1-40-SA/EXA1-60-SA) 設定パラメータ

分類	パラメータ名	設定値	初期値	電源オフ時設定	備考	
パラメータ タブ リモート ユニット	a) Brown-out Detection for US1	Enable/Disable	Enable	不可	US1 電源 電圧低下検出	
	b) Communication failure	Clear/Hold	Hold	不可		
	c) Short Circuit Detection (L+, C/Q)	Enable/Disable	Enable	不可		
	d) AD Update Time	100-60000	500ms	不可		
パラメータ タブ HUB	a) ParameterEnable/Disable	Enable/Disable	Enable	不可		
	b) OperationPressure	0-1050	400	不可		
	c) StandbyPressure	0-1050	200	不可		
	d) SoftStartTime	0-1500	0	不可		
	e)	StandbyFlowRate (Threshold) (20)	5-525	25	不可	EXA1-20-SA
		StandbyFlowRate (Threshold) (30)	10-1050	50	不可	EXA1-30-SA
		StandbyFlowRate (Threshold) (40)	20-2100	100	不可	EXA1-40-SA
		StandbyFlowRate (Threshold) (60)	40-4200	200	不可	EXA1-60-SA
	f)	StandbyFlowRate (Hysteresis) (20)	0-520	50	不可	EXA1-20-SA
		StandbyFlowRate (Hysteresis) (30)	0-1040	100	不可	EXA1-30-SA
		StandbyFlowRate (Hysteresis) (40)	0-2080	200	不可	EXA1-40-SA
		StandbyFlowRate (Hysteresis) (60)	0-4100	400	不可	EXA1-60-SA
	g) StandbyOnDelay	0-9999	600	不可		
	h) StandbyOffDelay	0-9999	0	不可		
	i) IsolationEnable/Disable	Enable/Disable	Disable	不可		
	j) IsolationDelay	0-9999	3600	不可		
	k) EnergySavingMode	AMS/Operation/Standby/Isolation	AMS	不可		
	l) Pin (SecurityCodeUsed/NotUsed)	Unused/Used	Unused	不可		
	m) PinCode (SecurityCodeSetting)	0-999	0	不可		
	n) DeviceAccessLockFor PF3A	Key lock release, DS unlock / Key lock, DS unlock	Key lock release, DS unlock	不可		
o) L+ Power ON AMS ITV	Power ON / Power OFF	Power ON	不可			
p) L+ Power ON AMS Standby/VP	Power ON / Power OFF	Power ON	不可			
q) DeviceAccessLockFor ITV	Key lock release, DS unlock / Key lock, DS unlock	Key lock release, DS unlock	不可			

・無線リモートユニット (EXA1-20-SA/EXA1-30-SA/EXA1-40-SA/EXA1-60-SA) 設定パラメータ

分類	パラメータ名	設定値	初期値	電源オフ時設定	備考
パラメータ タブ IO-Link	a) Pd Byte swap	Direct / Swap 16 bit / Swap 32 bit / Swap all	Direct	不可	上位通信と IO-Link マスタ間で送受信するプロセスデータのバイト順序を並べ替える
	b) L+ Power On	Power ON / 1 : Power OFF	Power ON	不可	L+の電源制御
	c) PortMode* ¹	Deactivated /IOL_Manual /IOL_Autostart /DI C/Q /DO C/Q	P1、P2 : IOL_ Autostart	不可	
	d) Validation&Backup* ¹	No Device Check /Type compatible Device V1.0 /Type compatible Device V1.1 /Type compatible Device V1.1, Backup+Restore /Type compatible Device V1.1, Restore	No Device Check	不可	
	e) PortCycleTime* ¹	0-191	0	不可	0 : As fast as possible 1~3 : 0.4ms 4~63 : 0.4~6.3 ms (0.1 ms 毎) 64~127 : 6.4~31.6 ms (0.4 ms 毎) 128~191 : 32~132.8 ms (1.6 ms 毎)
	f) VendorID* ¹	0~65535	0	不可	IO-Link デバイス照合機能有効時に使用するベンダーID を設定
	g) DeviceID* ¹	0~16777215	0	不可	IO-Link デバイス照合機能有効時に使用するデバイス ID を設定

*1 : パラメータを変更すると IO-Link デバイスを再接続します。必ず設備非稼働時にパラメータを変更してください。

・無線リモートユニット (EXA1-20-SA/EXA1-30-SA/EXA1-40-SA/EXA1-60-SA) 診断パラメータ

分類	パラメータ名	表示範囲	備考
パラメータ タブ HUB	a) Accumulated Flow Reset	Clr (Clear)	積算流量をリセットします
	b) AR/ITV Active Mode	ITV / AR	動作中の調圧方法

・無線リモートユニット（マニホールドタイプ）（EX600-WSV※）設定パラメータ

分類	パラメータ名	設定値	初期値	電源オフ時設定	備考
リモートユニット設定	a) 通信切断時出力動作	CLEAR/HOLD/Software Control	CLEAR	可	フィールドバス通信が切断時の、出力動作状態の設定。
	b) モジュール入力占有点数	0~128点(0~16バイト) 16点(2バイト)単位で増減	128点/16byte	可	
	c) モジュール出力占有点数	0~128点(0~16バイト) 16点(2バイト)単位で増減	128点/16byte	可	
	d) 内バルブマニホールド出力占有点数	0~32点(0~4バイト) 8点(1バイト)単位で増減	32点/4byte	可	バルブマニホールド出力占有点数は、モジュール出力占有点数に含まれます。 モジュール出力占有点数の設定範囲内で有効点数が制限されます。
	e) 無線通信動作	Active/Idle	Active	可	Idleに設定した場合、無線通信が切断されます。
	f) アナログ入力更新时间	0.1/0.2/0.5/1/2/5 /10/30/60s	1s	可	アナログ入力機器のサンプリング周期を設定できます。
	g) I/Oユニット割付方向	モード1/ モード2	モード1	可	モード1： エンドプレートから右方向へ割付け。 モード2： 無線ユニットから左方向へ割付け。
ペアリング設定	a) ペアリング	ペアリング不可/ ペアリング可能	ペアリング不可	可	ペアリング不可： 無線リモート登録不可 (登録済み無線リモートとの無線通信を実施) ペアリング可能： 無線リモート登録可

・無線ベースユニットおよび無線リモートユニットの共通パラメータ

分類	パラメータ名	設定値	初期値	電源オフ時設定	備考
情報	TAG	最大 15 文字	製品品番 (EX600-WEN*) (EX600-WPN*) (EX600-WSV*) (EXW1-BMJA*) (EXW1-BECAC) (EXW1-BENAC1) (EXW1-BPNAC1) (EXW1-RDXNE4*) (EXW1-RDYNE4*) (EXW1-RDM*E3) (EXW1-RLAPA8C) (EXW1-RLBPA7C)	可	入力可能文字は ASCII コードに対応する半角英数(アルファベット・数字・記号) 半角カナは入力不可

7. こんなときは

トラブル No.	トラブル現象	トラブル内容推定要因	原因の調査方法と対策
1	リフレッシュボタンを押しても無線ベース/リモートユニットの情報を読み取れない。	<ol style="list-style-type: none"> 1. NFC リーダ/ライタが無線ベース/リモートユニットのアンテナ部から外れている可能性があります。 2. PC が NFC リーダ/ライタを認識していない可能性があります。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 : NFC アンテナの中心(○の部分)に NFC リーダ/ライタが設置されるよう調整してください。 2-1 : PC の USB 端子から NFC リーダ/ライタを一度抜き再接続してください。 2-2 : Windows のデバイスマネージャーの「NFC Port/PaSoRi」のドライバをアンインストールし再度インストールしてください。 2-3 : NFC リーダ/ライタ接続ドライバ NFC ポートソフトウェアを再度インストールし直してください。
2	管理者モードでログインしたにも関わらず、I/O 設定やペアリング設定が行えない。	<p>モニタモードに切り替わっている可能性があります。I/O コンフィグレータ上でマウスを動かさず 300(秒)が経過すると、自動的にモニタモードに変更されます。</p>	<p>再度管理者モードでログインしてください。</p>
3	パスワードを忘れた。	-	<p>マスタキーを入力することによりパスワードを削除してください。 詳細は、「2.4 モニタモードと管理者モード」を参照してください。</p>
4	無線リモートユニットを無線ベースユニットに登録したが、情報タブで確認したところ、通信エラーとなった。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 無線ベースとリモート間で電波が届いていない可能性があります。 2. 無線リモートの登録後に無線リモートの設定を変更した可能性があります。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. LED 表示をご確認ください。 2. 一度ペアリングを解除していただき、再度ペアリングを行ってください。
5	無線ベース(リモート)ユニット設定やシステム設定で設定パラメータの変更を行ったが、変更状態が反映されていない。	<p>設定パラメータの保存を行った後に「リセット」を行っていない可能性があります。</p>	<p>電源の再投入か「リセット」ボタンをクリックしてください。</p>
6	強制出力モードでアナログ出力ユニットの電圧(電流)値を数値で指定したが、正しい値が出力されていない。	<ol style="list-style-type: none"> 1. レンジ範囲外で設定した可能性があります。 2. アナログフォーマットとしてスケール変換を選択している可能性があります。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. レンジ範囲内の値を入力するか、ユニットの設定を WEB にて変更してください。 2. 16 進数で設定する必要があります。詳細は、EX600 アナログ取扱説明書をご確認ください。

トラブル No.	トラブル現象	トラブル内容推定要因	原因の調査方法と対策
7	強制出力モードに変更することができない。	1. 上位ユニットと接続している可能性があります。 2. モニタモードになっている可能性があります。	1. 上位ユニットとの接続を切断してください。 2. 管理者モードでログインしてください。
8	無線リモートユニットが設定した入出力サイズで動作していない。	無線リモートが登録した際の入出力サイズで動作している可能性があります。	無線リモートは無線ベースに登録時の入出力サイズが反映された状態になります。無線ベースから無線リモートの入/出力サイズを確認していただき、異なる場合は再度登録を行ってください。
9	エラーが出ているがエラーの発生場所とエラーの内容がわからない。	-	まずは無線ベースの情報タブからシステム構成を確認し、エラーが出ているユニットを特定してください。次にユニットの詳細情報から診断情報を確認すればエラーの内容が特定できます。各ユニットの詳細情報と診断情報に関しては、「5.1 情報タブ」を参照してください。
10	リモート登録時にフリーリモートが表示されません。	1. 無線リモートがペアリングモードになっていない可能性があります。 2. 既に登録している無線リモートの可能性があります。 3. 他の無線ベースがペアリングモードになっている可能性があります。	1. 無線リモートが登録モードになっているか確認してください。 2. 既に登録している無線リモートの場合は、一度削除して登録する必要があります。 3. 他の無線ベースがペアリングモードになっている場合はそちらに無線リモートが表示されることがあります。ペアリングモードの無線ベースを1台にしてください。

8. 仕様・技術情報・補足情報

8.1 用語集

	用語	定義
C	CC-Link	三菱電機株式会社によって開発されたオープンネットワークです。Control & Communication Link の略称です。
D	DHCP	TCP/IP ネットワークにつながっている個々の機器に対して、IP アドレスなどネットワークを利用するために登録が必要な情報を、自動的に設定するプロトコルです。
I	IP アドレス	ネットワークに接続された機器を識別するために割り振られる 32 ビットの数字列です。
	I/O コンフィグレータ (NFC 版)	NFC リーダ/ライタを経由し、PC から直接無線ユニットの無線システム、パラメータを設定、可視化、監視を行うことができるアプリケーションです。
M	MAC アドレス	Ethernet に接続するすべての機器が持つ固有番号です。
N	NFC	Near Field Communication (近距離非接触無線通信) の略。NFC リーダ/ライタを介し、I/O コンフィグレータ (NFC 版) を使用して無線ベース/リモートへのアクセスが可能です。
P	PID	Product ID の略。無線ユニット (ベース/リモートユニット) を識別するために割り振られる 32 ビットの数字列です。
	PLC	Programmable Logic Controller の略。論理演算や順序操作、算術演算などのプログラムに従って、逐次制御を行うコントローラです。
R	Remote Control	Rockwell Automation が提供する、BOOTP/DHCP Server のコマンドに対応するモードです。Gateway address, Subnet Mask を任意の値に設定が可能です。
あ	インポート	PC のファイルに保存されている無線ユニットの設定値を無線ユニットへ転送し、反映させる機能です。
	エクスポート	無線ユニットの設定値を PC のファイルに保存する機能です。
か	管理者モード	I/O コンフィグレータ (NFC 版) の管理者権限を持つモードです。無線ベース/リモートの設定が可能となります。
さ	出力点数	出力機器 (バルブ、ランプ、モータスタータなど) を動作させることが出来る点数です。
	全二重	双方向で同時に送受信できる通信方式です。
た	断線検知	入力機器や出力機器、あるいはその配線が断線したことを検知する診断機能です。
	短絡検知	出力または電源のプラスラインがグラウンドラインなどと短絡して、過電流が発生したことを検知する診断機能です。
	短絡保護	出力または電源のプラスラインがグラウンドラインなどと短絡して、過電流が発生した場合、内部回路の破壊を防ぐ機能です。
	ダミーリモート	入出力マップにダミーリモートを登録することができます。システム構築後に無線リモートを追加する際、ダミーリモートと無線リモートを置き換えることで入出力マップを変更せず無線リモートの登録が可能となります。
に	入出力マップ	無線ベース/リモートに接続されている I/O ユニットの入出力情報を表示します。
	入力点数	入力機器 (センサ、スイッチなど) から情報を受け取れる点数です。
は	半二重	双方向通信を行う場合、送受信を交互に行う通信方式です。
	フィールドバス	工場などで稼働している現場機器 (測定器、操作器) と PLC 間の信号のやり取りをデジタル通信にて行う規格です。
	ペアリング	無線ベースユニットに、接続可能な無線リモートユニットの PID (Product ID) を登録すること。初期設定時に登録し、登録後無線システムが動作します。

	用語	定義
ま	マニホールド	多岐体。集合体。
	無線チャンネル	無線ベースユニットに接続された無線リモートユニットの識別番号です。
	無線ベース	無線リモートと入力または出力データの無線通信を行うユニットです。また、PLC と接続され入力または出力データの通信を行います。
	無線リモート	無線ベースと入力または出力データの無線通信を行うユニットです。
	無線ユニット	無線通信を行うユニットで、無線ベースユニットおよび無線リモートユニットの総称です。
	モジュール	無線ベース/リモートに I/O ユニットおよびバルブマニホールドを接続した総称をモジュールと呼びます。
	モジュール入出力占有点数	モジュールの制御可能入出力点数です。
	モニタモード	I/O コンフィグレータ (NFC 版) のモニタ権限を持つモードです。無線ベース/リモートの設定値の確認ができますが設定はできません。
ら	リセットボタン	I/O コンフィグレータ (NFC 版) にて無線ベース/リモートの設定後電源を再投入することなく、無線ベース/リモート設定を反映するためのボタンです。電源を再投入することでも設定が切り替わります。
	リフレッシュボタン	I/O コンフィグレータ (NFC 版) にて、無線ベース/リモートの最新の設定情報を表示するためにクリックするボタンです。

改訂履歴

リビジョン No.	対応機種	アップデート内容
2.0.0	EX600-WEN※ EX600-WSV※	初版
2.1.0	EX600-WPN※ EX600-WSV※	EX600-WPN※対応バージョン
2.2.0	EX600-WEN※ EX600-WPN※ EX600-WSV※	EX600-WEN※、EX600-WPN※共通バージョン 対応 NFC リーダ/ライター追加
2.6.0	EX600-WEN※ EX600-WPN※ EX600-WSV※	Ethernet 設定に Remote Control 機能を追加 無線ユニットの名称変更
2.9.0	EX600-WEN※ EX600-WPN※ EX600-WSV※ EXW1-RDXNE4※ EXW1-RDYNE4※ EXW1-RDM※E3 EXW1-BMJA※	EXW1 シリーズを追加
2.10.0	EX600-WEN※ EX600-WPN※ EX600-WSV※ EXW1-RDXNE4※ EXW1-RDYNE4※ EXW1-RDM※E3 EXW1-BMJA※ EXW1-BECAC	EXW1 シリーズ EXW1-BECAC を追加
2.11.0	EX600-WEN※ EX600-WPN※ EX600-WSV※ EXW1-RDXNE4※ EXW1-RDYNE4※ EXW1-RDM※E3 EXW1-BMJA※ EXW1-BECAC EXW1-RL※	EXW1 シリーズ EXW1-RLAPA8C、EXW1-RLBPA7C を追加 パラメータタブを追加
2.12.0	EX600-WEN※ EX600-WPN※ EX600-WSV※ EXW1-RDXNE4※ EXW1-RDYNE4※ EXW1-RDM※E3 EXW1-BMJA※ EXW1-BECAC EXW1-BENAC1 EXW1-BPNAC1 EXW1-RL※	EXW1 シリーズ EXW1-BENAC1、EXW1-BPNAC1 を追加 パラメータタブの対応ユニット追加 (EXW1-RD※他) OPC UA 設定を追加

改訂履歴

A 版：記載内容変更[2018年8月]
B 版：記載内容追加[2018年9月]
C 版：記載内容追加[2019年1月]
D 版：記載内容追加[2019年9月]
E 版：記載内容追加[2022年3月]
F 版：記載内容追加[2023年7月]
G 版：記載内容追加[2023年12月]
H 版：記載内容追加[2024年2月]

SMC株式会社 お客様相談窓口

URL <https://www.smcworld.com>



0120-837-838

受付時間/9:00~12:00 13:00~17:00【月~金曜日、祝日、会社休日を除く】

⑩ この内容は予告なしに変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

EtherCAT® is a registered trademark and patented technology, licensed by Beckhoff Automation GmbH, Germany.

EtherNet/IP® is a registered trademark of ODVA, Inc.

© SMC Corporation All Rights Reserved



No. EX※※-0MV0016-H